Canon

Mk1500
CABLE ID PRINTER

取扱説明書

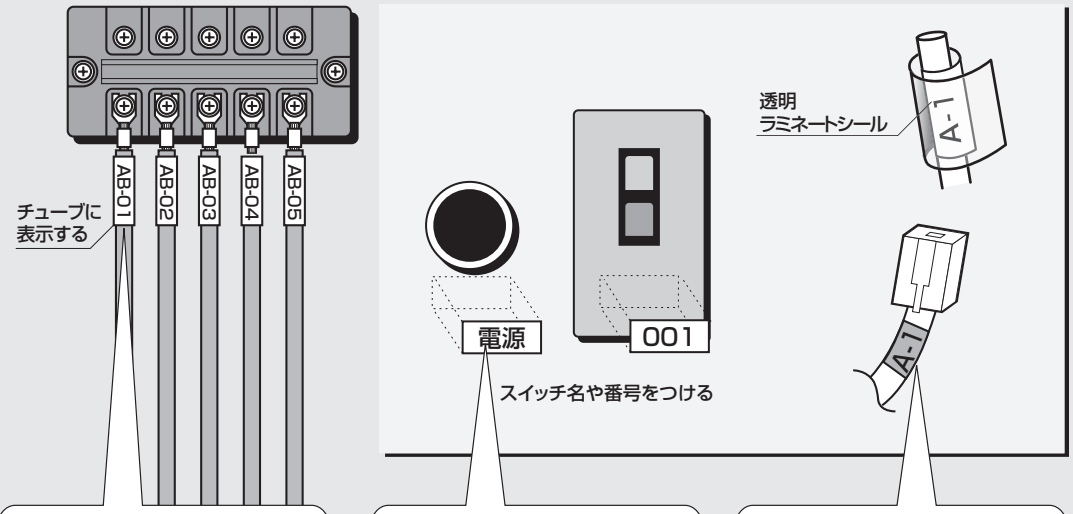


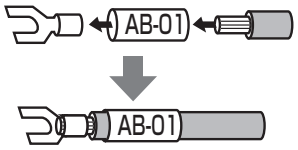
ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでもご使用できるように大切に保管してください。

電設現場で大活躍 !!
Mk1500 は、こんな機械です。

配電盤のフタを開けると、端子台やブレーカをはじめとしてさまざまなスイッチがぎっしり。さらに、こうした装置と装置の間を縫うように多くのケーブルも配線されています。それぞれのケーブルや装置に記号や番号を表示しておかないと、メンテナンス作業も一苦労。そこでチューブに文字を印字してケーブルに取り付けたり、ラベルに記号を印刷してスイッチに貼りつけたりする方法が電設現場では一般的に行われています。
Mk1500はこうした印字作業をするためのプリンタです。

おもな特長





高品質印字がラクラク
チューブに文字を印字する

「AB-01」「20V」のようにそのケーブルが持つ意味をチューブに直接印字できます。チューブは市販品が使えるのでとても経済的。4mmI.D.Stripにも対応しています。

スッキリ見やすいスイッチに
ラベルに文字を印字する

Mk1500はチューブのほかにラベルテープと呼ばれるシールに文字を印字することもできます。これによって、ケーブルチューブに印字した記号に対応したものを装置にも貼りつけることができ、作業の能率がアップします。

印字部とラミネート部が一体に
ラップアラウンドテープ

印字面を透明フィルムでラミネートするので、文字がかすれて見づらくなることがありません。すでに配線されたケーブルにも後から貼りつけることができます。

1

小型で持ち運びが自由自在

幅２５０mm×奥行３００mm×高さ８５mmのコンパクトサイズに加え、重さも２ｋｇと携帯性を第一に考えた軽量設計です。電設現場への持ち運びもラクラク。作業効率が大幅にアップします。

2

さまざまな印字媒体に対応

市販のチューブ、ラベルテープ*、ラップアラウンドテープ*、4 mm I.D. Strip*の印字媒体に文字を印字することができます。
*本機専用カセット

3

低温環境でも鮮明印刷

５℃という低温環境でも「チューブウォーマ*」を装着して鮮明な印刷ができます。
*オプション

4

ハンディタイプとは思えない多彩な機能

文字サイズをはじめ、文字間隔や余白の設定、ファイルの保存など、軽量機とは思えないほど多くの機能を搭載しています。

目次

マークについて…… 4

お客様へのお願い…… 4

⚠安全にお使いいただくために…… 5

まず使ってみよう…… 10

Part 1
お使いになるまえに
（準備編）

1-1

各部の名称とはたらき…… 16

■本体…… 16
■液晶ディスプレイ…… 18
■キーボード…… 19

1-2 ＡＣアダプタをセットする…… 21

Part 2
基本的な操作

2-1 チューブ、透明チューブに印字する…… 24

準備1 カセットをセットする…… 24
準備2 チューブをセットする…… 26
準備3 電源スイッチをＯＮにする…… 27
操作1 文字を入力する…… 28
操作2 印刷する…… 32

2-2 ラベルテープ、4mm I.D.Stripに印字する…… 33

準備1 カセットをセットする…… 33
準備2 電源スイッチをＯＮにする…… 36
操作1 文字を入力する…… 37
操作2 印刷する…… 40

2-3 ラップアラウンドテープに印字する…… 41

準備1 カセットをセットする…… 41
準備2 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットする…… 42
準備3 電源スイッチをＯＮにする…… 43
操作1 文字を入力する…… 44
操作2 印刷する…… 45

Part 3
文字の入力

3-1 文字入力のまえに…… 48
■入力モードを理解しよう…… 48
■入力モードを切り換える…… 48
■[Shift]のはたらき…… 49

3-2 ひらがなを入力する…… 50
■ローマ字入力のとき…… 50
■かな入力のとき…… 51

3-3 カタカナを入力する…… 52
■ローマ字入力のとき…… 52
■かな入力のとき…… 53

3-4 英数字を入力する…… 54
■英数字を入力する…… 54

3-5 漢字を入力する…… 55
■ローマ字入力のとき…… 55
■区点コード入力のとき…… 58

3-6 記号を入力する…… 60
■記号を入力する…… 60

3-7 文字の削除、ページ編集、カーソルの移動… 62
■文字を削除、変更する…… 62
■入力した文字データをすべて消去する… 63
■新規ページ作成…… 64
■ページの挿入…… 64
■ページの削除…… 65
■カーソルの移動…… 65

Part 4
一歩進んだ操作

4-1 文字や行数を変える…… 68
■文字の大きさを変える…… 68
■文字と文字の間隔を変える…… 69
■6と9に下線をつける…… 70
■文字に枠をつける…… 71
■2行で印字する…… 72

4-2 文字データの保存、呼び出し、削除… 75
■ファイル…… 75
■文字データを保存する…… 76
■文字データを呼び出す…… 78
■文字データを削除する…… 79

4-3 いろいろな印刷…… 80
■印刷本数（枚数）…… 80
■印刷の向きを変える…… 82
■カット長や文字配置を変える…… 84
■特定のページを複数印刷する（連続印刷）…… 86
■連番を持つ文字データを入力して作成する（連番印刷）…… 88
■印字開始位置と縦位置を微調整する… 91
■印字濃度を調整する…… 93

4-4 カットのしかたを変える…… 94
■半切りと全切り…… 94
■半切りをしない…… 94

4-5 その他の操作…… 96
■印字媒体を取り出す…… 96
■ディスプレイの表示濃度を変える… 98
■すべての設定を初期値に戻す…… 99
■印刷速度を速くする…… 100

Part 5
メンテナンス

5-1 チューブやラベルテープが詰まったら… 102
■搬送エラーの対処
（搬送エラーメッセージ表示あり）…… 102
■その他の詰まり対処
（搬送エラーメッセージ表示なし）…… 104
■チューブやラベルテープが
排出/搬送されないとき…… 106

5-2 カッタが切れにくくなったら……107
■カットの深さを変える…… 107

5-3 カッタを交換する…… 109

5-4 カセットを交換する…… 112
■リボンカセットを交換する…… 112
■チューブやラベルテープカセットを交換する…… 113

5-5 お手入れ…… 114
■本体の清掃…… 114
■搬送ローラの清掃…… 114
■印字ヘッドの清掃…… 115
■チューブクリーナの清掃/交換…… 115

Part 6
付録

6-1 消耗品とオプション…… 118
■消耗品…… 118
■オプション…… 119

6-2 エラーメッセージ一覧表…… 120

6-3 こんなときには…… 122

6-4 ローマ字／かな入力表…… 124

6-5 記号一覧表…… 125

6-6 区点コード表…… 126

6-7 機能一覧…… 138

6-8 おもな仕様…… 139

マークについて

本書で使われているマークはつぎのような意味です。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、本機が壊れたり他の製品に損害が出たりする可能性がある注意事項が書かれています。必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

参考 操作の参考になることや補足説明が書かれています。

Memo 操作の手順に対する補足説明が書かれています。

操作の参考となるページが書かれています。表示されているページをごらんください。

[ ] キーボードの [!あ / 1あ] を押すことを意味します。

お客様へのお願い

- 本書に記載されている一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本プリンターでお客様の不適当な使用により生じた損害、または改造・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本プリンターで作成・保存したデータは、パソコンなど他の記憶装置等にバックアップすることができません。故障・修理・検査等に起因したデータの消失、および逸失利益などで生じた損害につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不備な点や記載もれ、また、お気づきの点がありましたらお求めの販売店までご連絡ください。

- Canon、Canonロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- 電波障害規制について

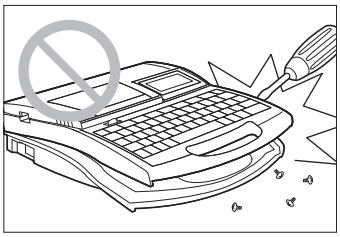
  この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

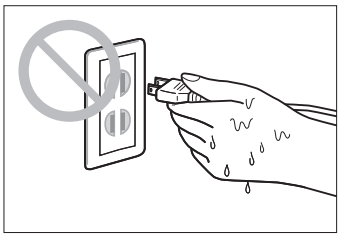
⚠ 警告

分解や改造をしないで



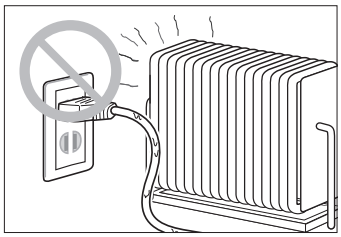
本機を分解や改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。

濡れた手で触らないで



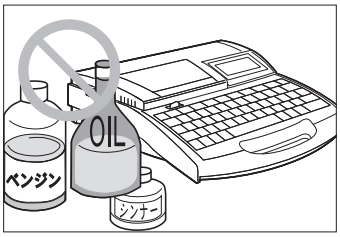
手が濡れた状態で電源プラグなどを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

熱器具のそばに置かないで



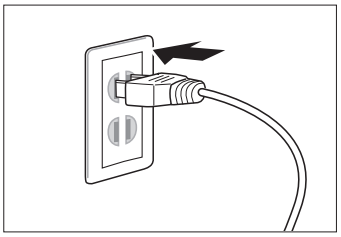
本体やＡＣアダプタ、電源コードのそばに熱器具を置かないでください。本体やコードが溶けて火災や感電の原因になります。

シンナーのそばに置かないで



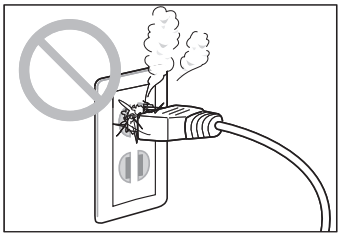
アルコールやシンナーなど引火性溶剤の近くに置かないでください。溶剤が内部の電気部品に触れると火災の原因になります。

電源プラグは確実に差し込んで



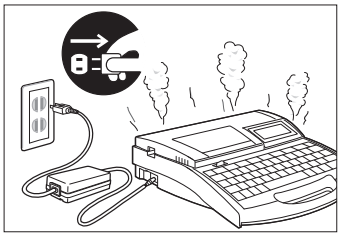
電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。電源プラグの歯に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

電源プラグは常にキレイに



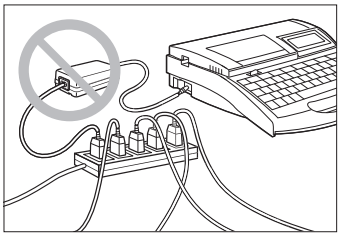
電源プラグは定期的に清掃してください。ホコリや汚れ、油煙などが付着した状態で長時間使用すると、ホコリが湿気を吸って絶縁不良による火災の原因になります。

異常状態のまま使わないで



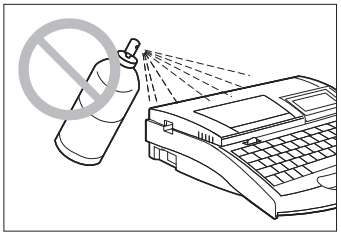
万一、煙が出たり、異臭がするときは異常です。すぐに電源スイッチをＯＦＦにし、電源コンセントから電源プラグを抜いて、お求めの販売店までご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。

タコ足配線などをしないで



二股ソケットなどを使ってタコ足配線をしないでください。また電源コードを束ねたり、結んだりしたまま通電しないでください。火災や感電の原因になります。

スプレーなどは使わないで



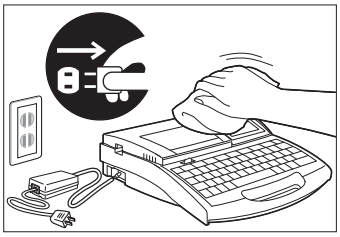
本機のそばで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気製品に触れて、火災や感電の原因になります。

シンナーなどで拭かないで



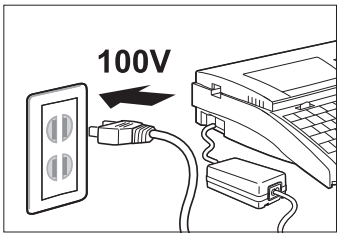
本体を拭くときは、水にしめらせて固くしぼったガーゼを使用し、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。溶剤が内部の電気部品に触れて火災や感電の原因になります。

お手入れのときは電源をＯＦＦにして



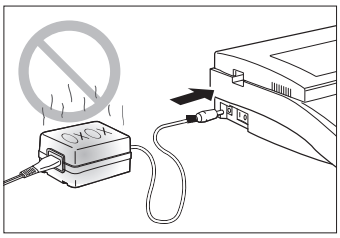
清掃するときは電源スイッチをＯＦＦにし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。万が一電源スイッチが入って本体が動作するとケガの原因になります。

ＡＣ１００Ｖの電源を使って



表示された以外の電源電圧で使用しないでください。ＡＣ１００Ｖの電源電圧でご使用ください。火災や感電、故障の原因になることがあります。また、本機は国内仕様です。日本国内でのみお使いください。

付属のＡＣアダプタ・コード以外は使わないで



付属のＡＣアダプタ・電源コード以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、付属のＡＣアダプタ・電源コードは本製品以外の製品に使用しないでください。火災や感電の原因になります。（Ｎ１４５８４）

近くに雷が発生したときは電源プラグを抜いて

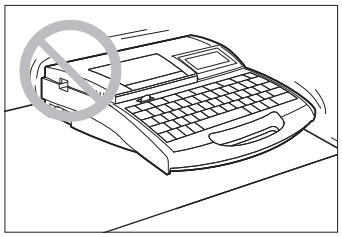
近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災や感電、故障の原因となります。

ＡＣアダプタ、コードは傷つけないで

ＡＣアダプタや電源コードを傷つける、引っ張る、加工するなどのことはしないでください。また、ＡＣアダプタや電源コードに重いものをのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因となります。

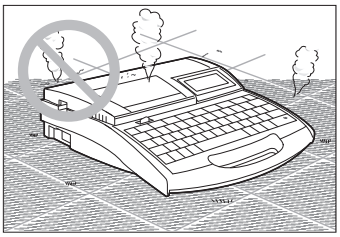
⚠ 注意

不安定な場所に置かないで



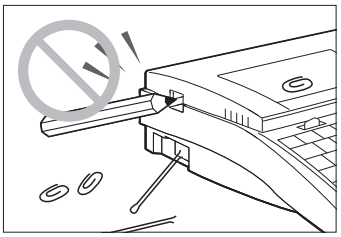
不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、故障やケガの原因になることがあります。

じゅうたんの上に置かないで



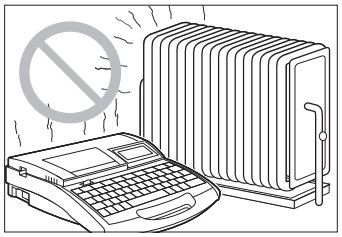
じゅうたんやカーペットなどの上に置かないでください。繊維やホコリが内部に入り込み、火災の原因になることがあります。

異物を入れないで



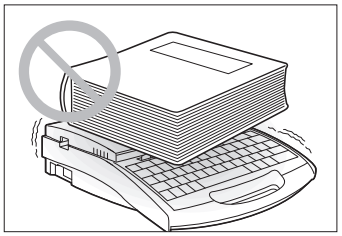
ＡＣアダプタの差込口やカッタ部、製品内部にはクリップやホチキスの針などの金属片を落としたり異物を入れたりしないようにしてください。火災、感電、故障やケガの原因になることがあります。

湿度やホコリに注意して



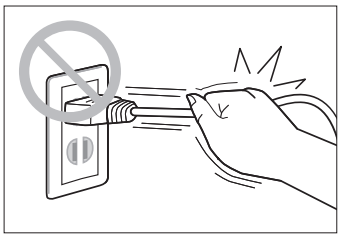
高温高湿の場所、ホコリの多いところ、直射日光の当たる場所、火気の近くでは使用（または保管）しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
必ず保管環境・動作環境をお守りください。
動作環境：
　温度：15～32.5℃
　湿度：10～85％
保管環境：
　温度：5～35℃
　湿度：10～90％

重いものや金属物などを置かないで



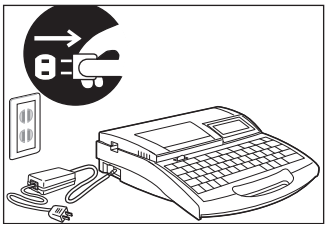
本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因になることがあります。また、アクセサリーなどの金属物や、コップなど水や液体が入った容器を置かないでください。製品内部の電気部品などに接触すると、ショートして火災や感電の原因になることがあります。

電源プラグの扱いはていねいに



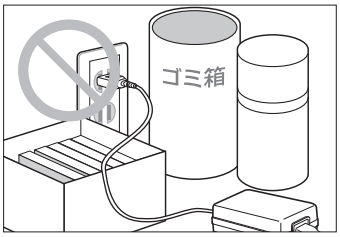
電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持ってまっすぐに抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。また、電源プラグを抜き差しするときは、必ず本体の電源スイッチがＯＦＦになっていることを確認してください。

使わないときは電源プラグを外して



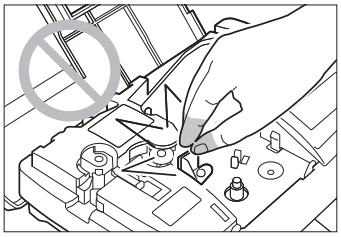
長時間または長期間ご使用にならない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。漏電の原因や、ホコリなどがたまって、火災の原因になることもあります。

電源プラグのそばにものを置かないで



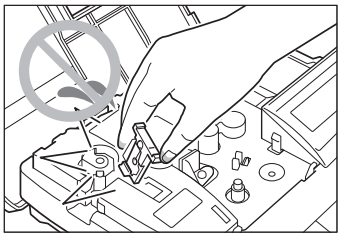
いつでもすぐにＡＣアダプタのプラグが抜けるように、プラグのそばにはものを置かないでください。異常時にプラグが抜けないと、火災や感電の原因になることがあります。

印字ヘッドは触らないで



印字中、印字終了直後は印字ヘッドに手を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

カッタに気をつけて



本機にはカッタが内蔵されています。ケガの原因になりますので、本書をよくお読みになり、取り扱いには十分ご注意ください。

子供の手が届く場所に置かないで

インクリボンやクリーナ、ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドなどの消耗品や部品は、子供の手の届かないところに保管してください。
誤ってなめたり飲み込んだりすると、大変危険です。

運ぶときは取っ手を持って

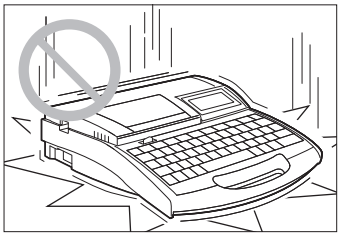
本製品を持ち運ぶときは、本書の指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、ケガの原因になることがあります。
（取っ手 16ページ）

延長コードは使用しないで

延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

注意

取り扱いはやさしく



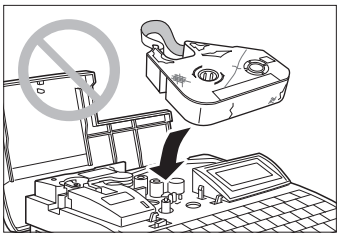
本機に強い力や衝撃などを与えないでください。故障の原因になることがあります。

キーボード操作はていねいに



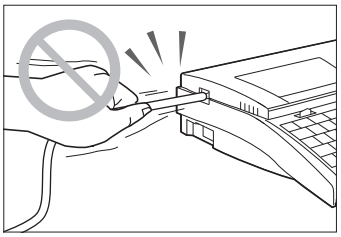
キーボードの操作はていねいに行ってください。乱雑な操作は故障の原因になることがあります。

リボンやラベルテープは再使用しないで



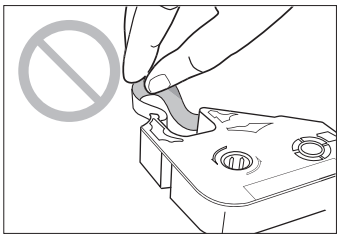
使い終わったリボンやラベルテープを再使用しないでください。故障の原因になります。

チューブを無理に引っ張らないで



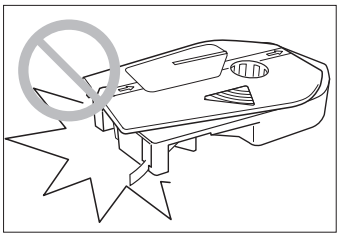
印字中にチューブやラベルテープを無理に引っ張らないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。

インクリボンには触らないで



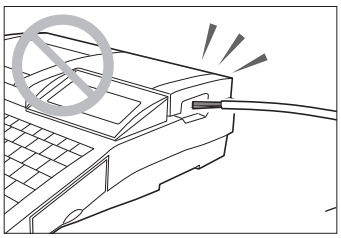
インクリボンを直接手で触らないでください。手脂などがついて印字不良の原因になったり、手が汚れることがあります。

カセット類は専用のものを使って



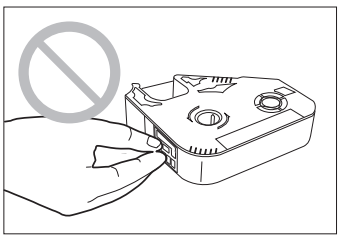
リボンカセットやチューブアタッチメントなどは専用のものをご使用ください。また、カセットを分解して、他のリボンや媒体を入れて使用することはおやめください。印字不良や故障の原因になります。

電線を挿入口に入れないで



本機はチューブまたはラベルに印字するためのプリンタです。電線やケーブルなどに直接印字することはできませんのでセットしないでください。故障の原因になることがあります。

通信コネクタ、ＩＣチップには触らないで



通信コネクタやリボンカセットのＩＣチップには触らないでください。破損すると、リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

長期間放置しないで

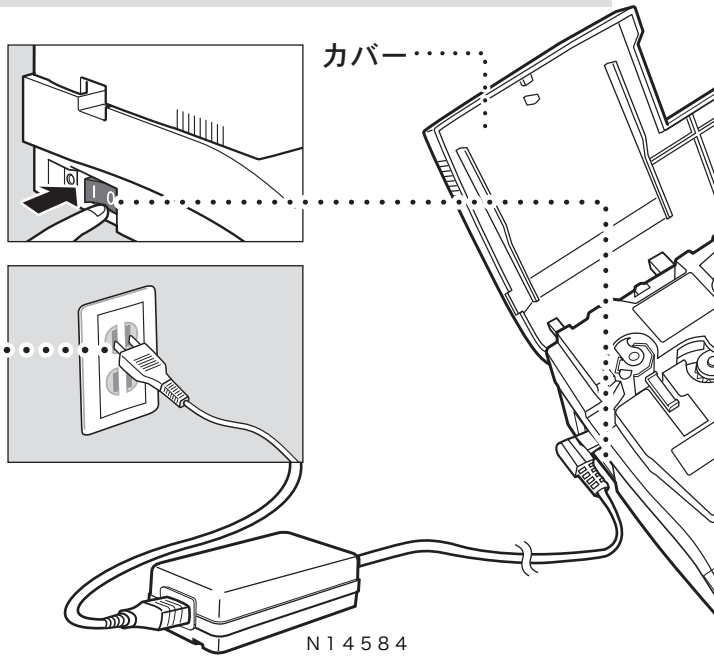
炎天下の車中などに長時間または長期間放置しないでください。

まず使ってみよう

「とにかくすぐに使いたい」という方のためのページです。本製品にはさまざまな機能がついていますが、ここでは「付属品の取り付け→電源ＯＮ→文字の入力→印字」という最短操作をできるだけ簡単に説明します。詳しい機能については本編をごらんください。

付属品を取り付ける

1 電源スイッチがＯＦＦになっていることを確認する。



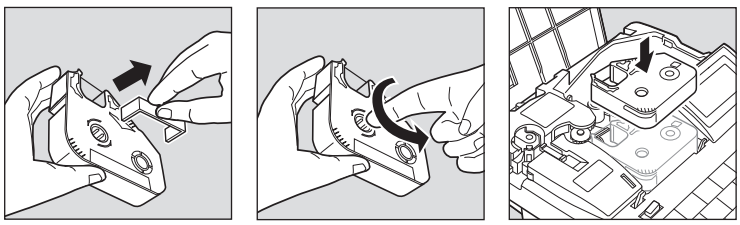
2 ＡＣアダプタを取り付ける。

3 カバーを開ける。

● このレバーを左に動かしてからカバーを上げる。

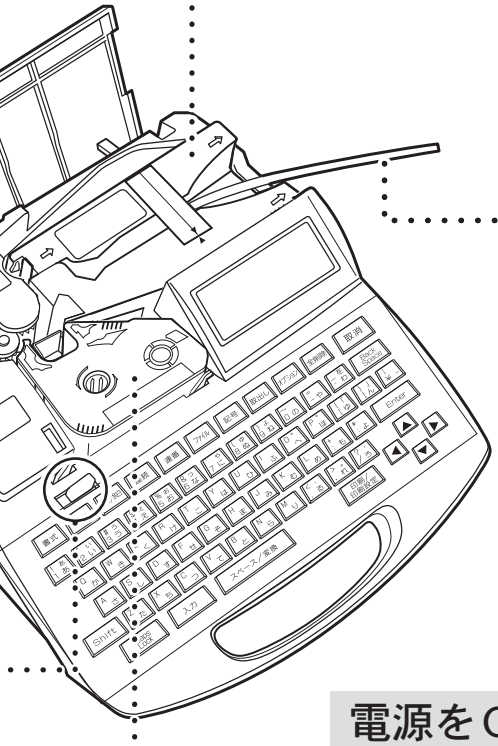
4 リボンカセットを取り付ける。

●ストッパを外し、リボンのたるみをとる。
●カチッと音がするまでリボンカセットを押す。



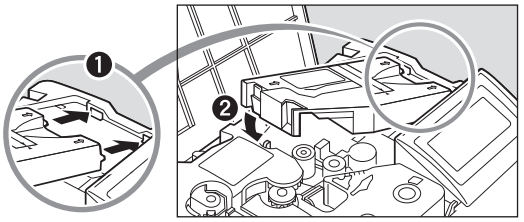
注意 ＩＣチップには触らないで！

リボンカセットのＩＣチップには触らないでください。
リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。



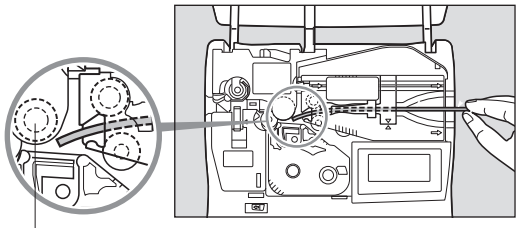
5 チューブアタッチメントをセットする。

- チューブアタッチメントのツメを本体の穴に合わせる。
- カチッと音がするまでチューブアタッチメントを押す。



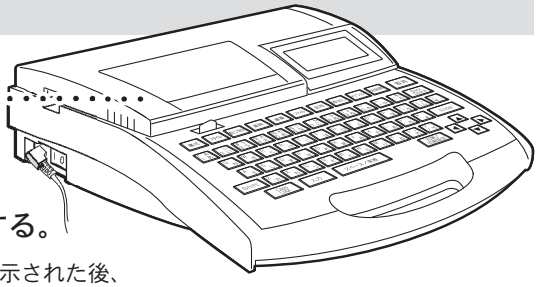
6 チューブをセットする。

- チューブの先端が搬送ローラ 2 に突き当たるまで押し込む。



搬送ローラ 2

電源をＯＮにする

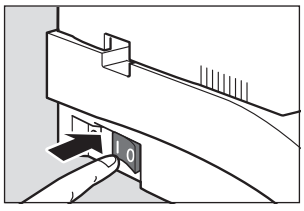


7 カバーをしめる。

- カチッと音がするまでしっかりと押す。

8 電源スイッチをＯＮにする。

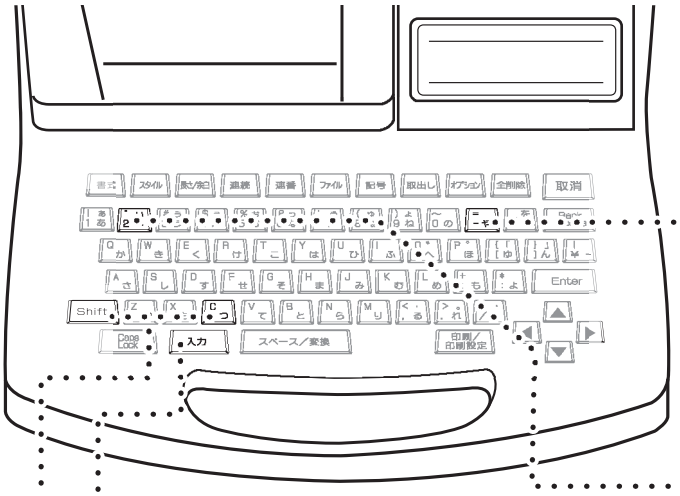
- リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。



文字を入力する

【例】Φ３．０ mmのチューブに「Ｃ－２」という文字を印字する。

印字結果 C−2



9 「ａ」と表示されるまで[入力]を押す。

ａ
■

● ａが表示されているときは英数字を入力できる

10 [Shift]を押しながら[C]を押す。

ａ
C■

11 [−]を押す。

ａ
C−■

12 [2]を押す。

ａ
C−2■

間違えた文字を消したい

【例】「Ｃ－２」と入力するところを「Ｃ＝２」と入力してしまった。

1．[◀]と[▶]を押して、カーソル■を「２」の位置に合わせる

ａ
C＝2

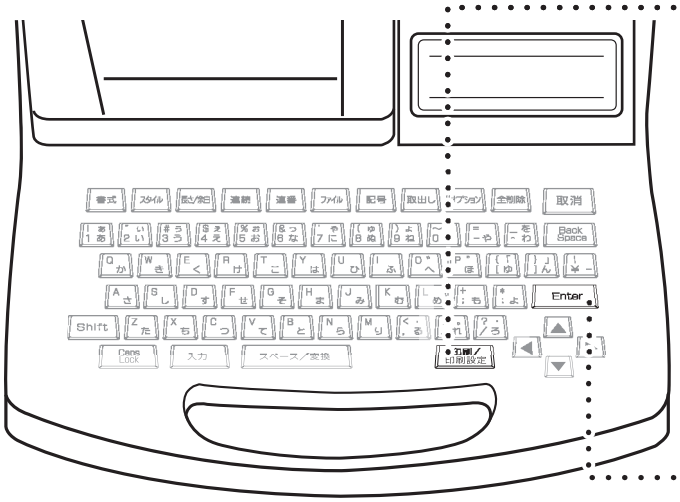
2．[Back Space]を押す。
●「＝」が消える。

ａ
C2

3．[−]を押す。

ａ
C−2

印刷する



13 [印刷／印刷設定]を押す。

印字媒体
1 ：チューブ ▶

● 「1 ：チューブ」が選択されていることを確認する。

Memo リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

14 [Enter]を押す。

チューブサイズ
◀ 2 ：Φ 3．0mm ▶

● 「2 ：Φ 3．0mm」が選択されていることを確認する。

15 [Enter]を押す。

印刷
印刷本数：1
残量

● 「印刷本数」が「1」であることを確認する。

16 [Enter]を押す。

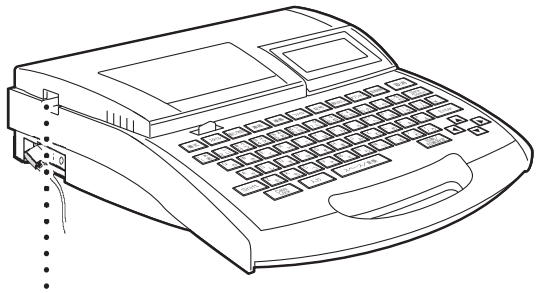
先端位置確認
入口側
◀ [Enter]

● チューブの先端が確実にセットされていることを確認する。

17 [Enter]を押す。

印刷中…

● 自動的に本体にチューブが搬送されて印字が始まる。
● 印字が終わるとチューブが自動的にカットされる。



18 カットされたチューブを取り出す。

Part 1
お使いになるまえに（準備編）

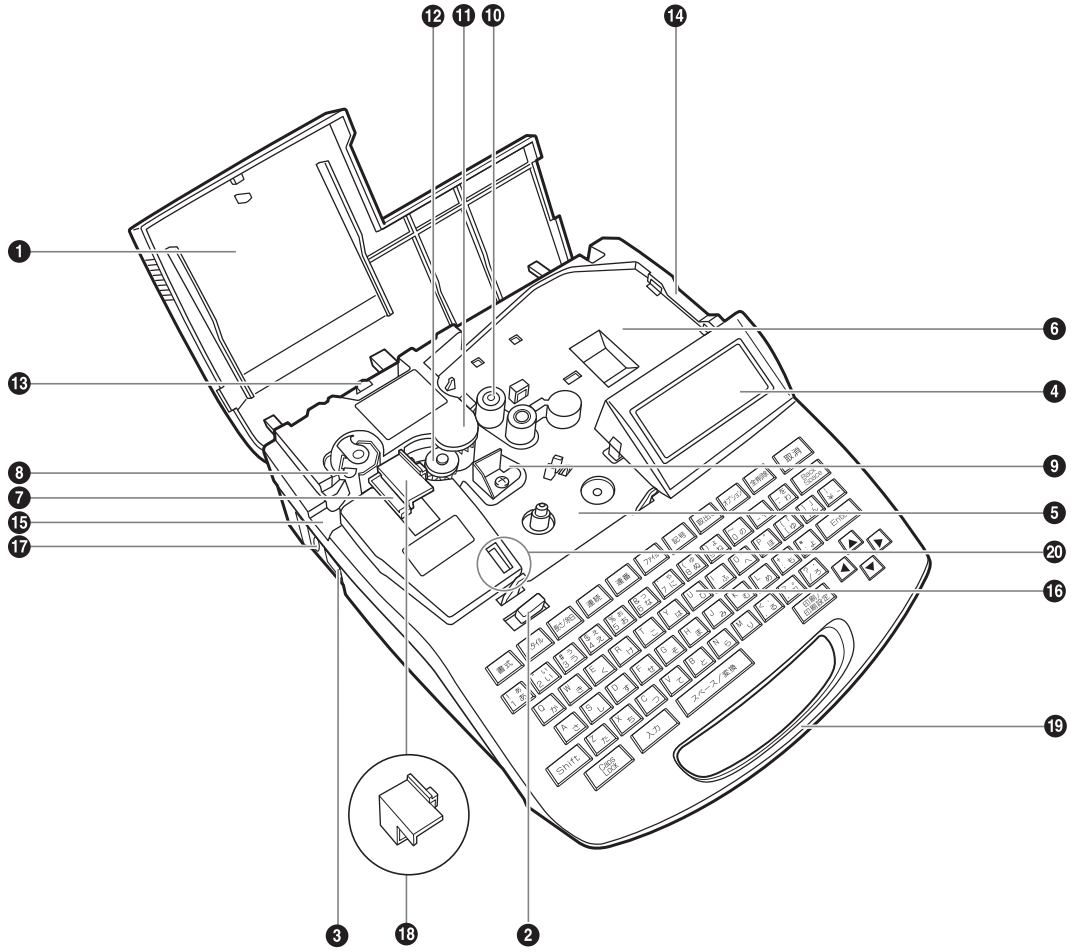
ここでは、文字を入力するまえに知っておいていただきたいことと、準備作業について説明します。

1-1 各部の名称とはたらき…… 16
■本体…… 16
■液晶ディスプレイ…… 18
■キーボード…… 19

1-2 ＡＣアダプタをセットする…… 21

1-1 各部の名称とはたらき

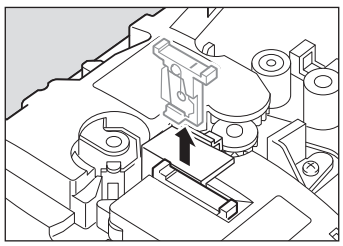
■ 本体



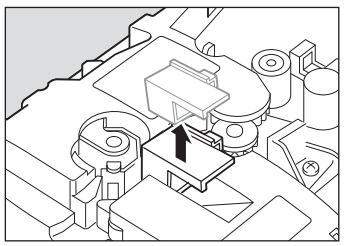
※ ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドの外し方

⑱のラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドは他の印字媒体に印字する際には取り外してください。

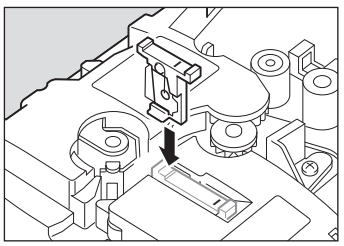
1. カッタを引き出す。



2. ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを引き出す。



3. カッタをセットする。



❶ **カバー**
カセット類やチューブをセットするときにこのカバーを開けます。

❷ **カバーオープンレバー**
このレバーを左に引くとカバーを開けることができます。

❸ **電源スイッチ**
電源をＯＮ/ＯＦＦするときに使います。スイッチを｜の方向に倒すと電源がＯＮになり、○の方向に倒すと電源がＯＦＦになります。

❹ **液晶ディスプレイ**
入力した文字や設定データなどが表示されます。

❺ **リボンカセットセット部**
この位置にリボンカセットをセットします。

❻ **チューブアタッチメントセット部、印字媒体カセットセット部**
この位置にチューブアタッチメント、またはラベルテープカセットなどをセットします。オプションのチューブウォーマもここにセットします。

❼ **カッタ**
印字媒体をカットします。カットは自動的に行われます。カッタは交換することができます。

❽ **カッタ受け台**
印字媒体を切断する際にカッタの刃を受ける台です。カッタを交換するときにカッタ受け台も同時に交換します。

❾ **印字ヘッド**
リボンに熱を加えて印字するための装置です。印字中や印字終了直後は高温になっていますので手を触れないでください。

❿ **搬送ローラ 1**
印字媒体を印字ヘッドの方向に送り出すローラです。

⓫ **搬送ローラ 2**
印字媒体を搬送し、印字をするためのローラです。

⓬ **搬送ローラ 3**
印字された媒体をカッタ部に送り出すローラです。

⓭ **搬送ローラ 3 リリースレバー**
このレバーを右に引くと搬送ローラ 3 が解放されます。印字媒体が詰まったときに使います。

⓮ **チューブ挿入口**
ここからチューブを本体内に入ます（チューブアタッチメント装着時）。

⓯ **排出口**
ここから印字された媒体が出てきます。

⓰ **キーボード**
印字する文字や設定データを入力します。

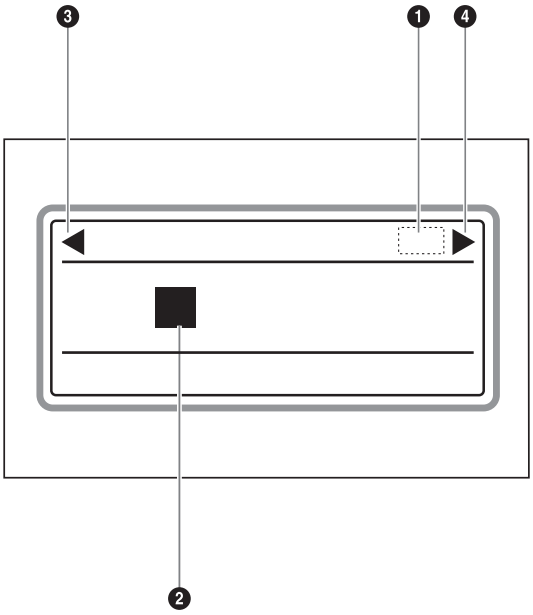
⓱ **ＡＣアダプタ接続コネクタ**
ＡＣアダプタのケーブルをここに接続します。

⓲ **ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイド**
ラップアラウンドテープに印字する際にセットするガイドです。他の印字媒体に印字する際には取り外してください。

⓳ **取っ手**
持ち運ぶときは、この部分を持ちます。

⓴ **通信コネクタ**
リボンカセットの情報を読み取るための端子です。通信コネクタを触ったり、変形させないでください。

■液晶ディスプレイ



❶ 入力モード表示

[入力]を押して文字の入力モードを選ぶことができます。選択した入力モードが表示されます。

ａ…英数字入力モード（小文字）

英数字（小文字）を入力するときにこのモードにします。

Ａ…英数字入力モード（大文字）

英数字（大文字）を入力するときにこのモードにします。

Ｒ…ローマ字入力モード

ひらがな、カタカナ、漢字をローマ字入力するときにこのモードにします。

ひ…かな入力モード

ひらがな、カタカナ、漢字をかな入力するときにこのモードにします。

❷ カーソル

■で表示されているのがカーソルです。この位置に文字が入力されます。

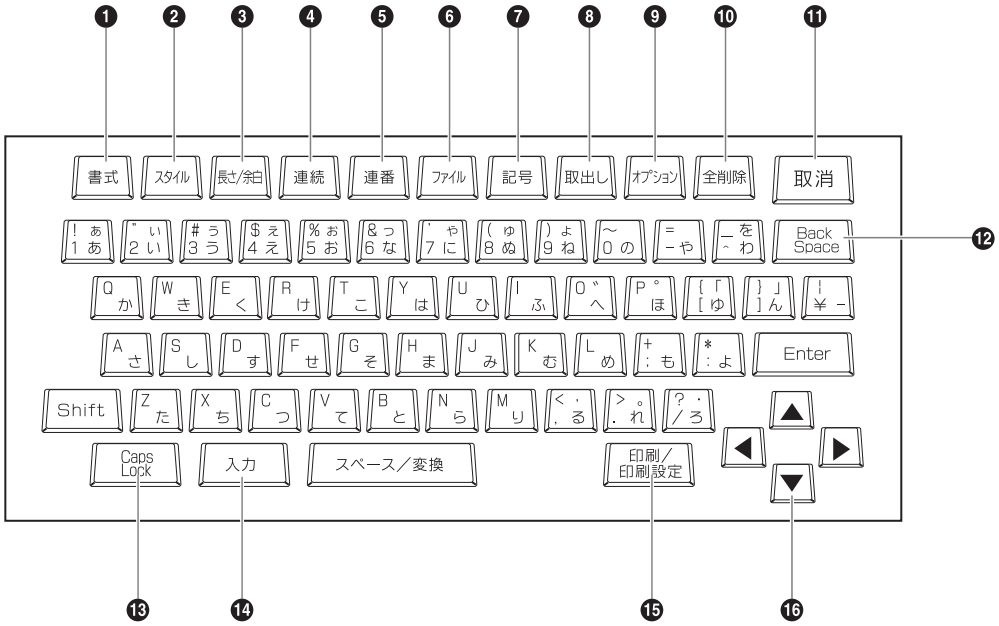
❸ 前ページ表示

現在表示されている前に別のページがあるときに表示されます。

❹ 次ページ表示

現在表示されているページの後に別のページがあるときに表示されます。

■キーボード



❶ **[書式]** 71ページ
印刷の向きを変えるとき、文字に枠をつけるときに使います。

❷ **[スタイル]** 68ページ
文字の大きさを変えるとき、1行印字から2行印字へ、またはその逆にするとき、文字と文字の間隔を変えるときに使います。

❸ **[長さ／余白]** 85ページ
カット長（チューブまたはラベルテープ1本分（1枚分）の長さ）、文字配置（左寄せ、またはセンタリング）、余白を変えるときに使います。

❹ **[連続]** 86ページ
特定のページを複数印刷する（連続印刷）ときに使います。

❺ **[連番]** 88ページ
連番を持つ文字データを作成する（連番印刷）ときに使います。

❻ **[ファイル]** 76ページ
入力した文字データを保存するとき、保存してある文字データを呼び出すときに使います。

❼ [記号] 58ページ
記号や区点コードを入力するときに使います。

❽ [取出し] 113ページ
チューブやラベルテープなどを取り外すときに使います。

❾ [オプション]
印字位置の調整、半切りや全切りの深さの調整、画面表示濃度の調整をするときに使います。またクリーニングをしたり、印字濃度の調整、半切りの有無、6, 9下線の設定をするときに使います。

❿ [全削除] 30ページ
作成中の文字データを消すときに使います。

⓫ [取消]
設定画面を一つ前のメニューに戻すときや、印刷を中断するときに使います。設定画面が表示されているときに、[Shift]を押しながら[取消]を押すと文字入力画面に戻ります。また、印刷中に「ピピピッ」音が鳴るまで[取消]を押すと、印字やカット操作が終わるのを待たずに緊急停止されます。

⓬ [Back Space]
入力した文字データを削除するときに使います。このキーを押すとカーソルの一つ手前の文字が削除されます。

⓭ [Caps Lock]
このキーを押してから英数字を入力すると大文字を連続して入力することができます。ひらがなをカタカナに変換するときにも使います。

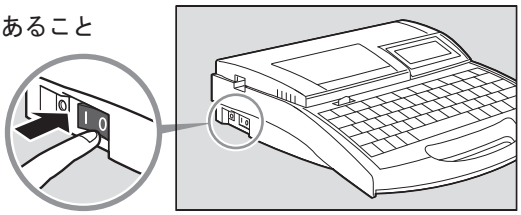
⓮ [入力]
文字の入力モードを変えるときに使います。

⓯ [印刷／印刷設定]
入力した文字データをチューブやラベルテープなどに印刷するとき使います。

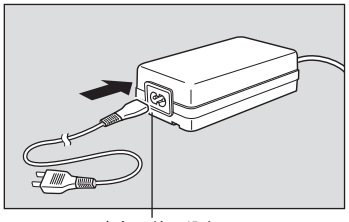
⓰ [矢印キー]
設定画面でメニューを選ぶときに使います。また、文字入力画面でカーソルを移動させるときにも使います。文字入力画面で[Shift]を押しながら方向キーを押すと直接、前後のページにジャンプすることができます。

1-2 ＡＣアダプタをセットする

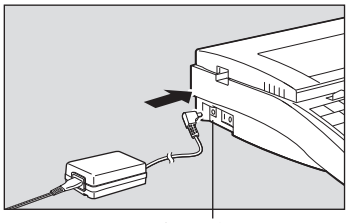
1 電源スイッチがＯＦＦであること
を確認する。



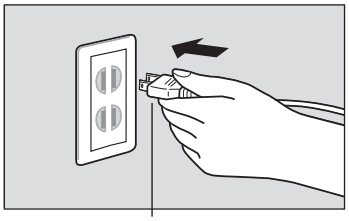
2 電源コードをＡＣアダプタに接続
する。(Ｎ１４５８４)



3 ＡＣアダプタのジャックを本体に
接続する。



4 電源プラグを１００Ｖコンセントに
接続する。



⚠ 警告 濡れた手で触らないで

手が濡れた状態で電源プラグなどを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

タコ足配線などをしないで

二股ソケットなどを使ってタコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
また、電源コードを束ねたり、結んだりしたまま通電しないでください。火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込んで

電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。電源プラグの歯に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。

付属のＡＣアダプタ、コード以外は使わないで

付属のＡＣアダプタ・電源コード以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
また、付属のＡＣアダプタ・電源コードは本製品以外の製品に使用しないでください。火災や感電の原因になります。

ＡＣ１００Ｖの電源を使って

表示された以外の電源電圧で使用しないでください。
ＡＣ１００Ｖの電源電圧でご使用ください。火災や感電、故障の原因になることがあります。
また、本機は国内仕様です。日本国内でのみお使いください。

近くに雷が発生したときは電源プラグを抜いて

近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災や感電、故障の原因となります。

ＡＣアダプタ、コードは傷つけないで

ＡＣアダプタや電源コードを傷つける、引っ張る、加工するなどのことはしないでください。また、ＡＣアダプタや電源コードに重いものをのせないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因となります。

電源プラグの扱いはていねいに

電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持ってまっすぐに抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

⚠ 注意 電源プラグのそばに物を置かないで

いつでもすぐに電源プラグが抜けるように、電源プラグのそばには物を置かないでください。異常時に電源プラグが抜けないと、火災や感電の原因になることがあります。

延長コードは使用しないで

延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

Part 2
基本的な操作

ここでは、印字までの基本的な操作を説明します。

2-1 チューブ、透明チューブに印字する… 24

準備1 カセットをセットする…… 24
準備2 チューブをセットする…… 26
準備3 電源スイッチをＯＮにする…… 27
操作1 文字を入力する…… 28
操作2 印刷する…… 32

2-2 ラベルテープ、 4 mm I.D. Strip に印字する…… 33

準備1 カセットをセットする…… 33
準備2 電源スイッチをＯＮにする…… 36
操作1 文字を入力する…… 37
操作2 印刷する…… 40

2-3 ラップアラウンドテープに印字する… 41

準備1 カセットをセットする…… 41
準備2 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットする…… 42
準備3 電源スイッチをＯＮにする…… 43
操作1 文字を入力する…… 44
操作2 印刷する…… 45

2-1 チューブ、透明チューブに印字する

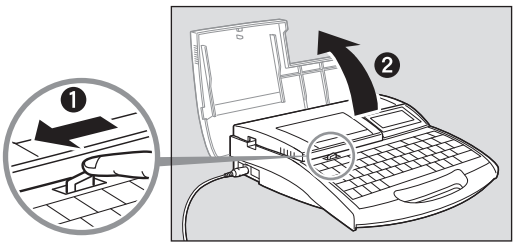
つぎのような操作の流れでチューブまたは透明チューブに文字を印字します。

準備１	カセットをセットする
⬇	
準備２	チューブをセットする
⬇	
準備３	電源スイッチをＯＮにする
⬇	
操作１	文字を入力する
⬇	
操作２	印刷する

準備１ カセットをセットする

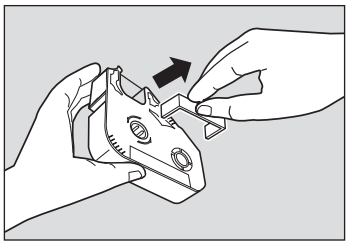
リボンカセットとチューブアタッチメントをセットします。リボンカセットとチューブアタッチメントについて、詳しくは次のページの参考「２つのカセット」をごらんください。

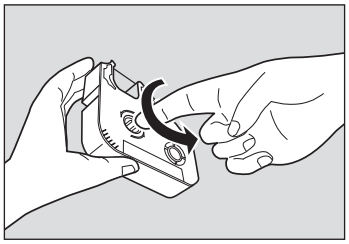
1 カバーを開ける。



2 リボンのたるみを取る。

- 新しいカセットをセットする場合は、ストッパを外してから、リボンのたるみを取る。





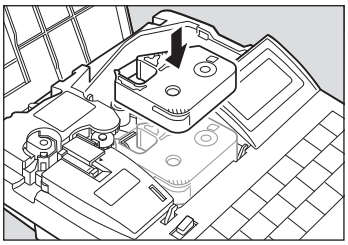
Memo
リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo
外したストッパは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

Memo
リボンカセットが浮いていると、リボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

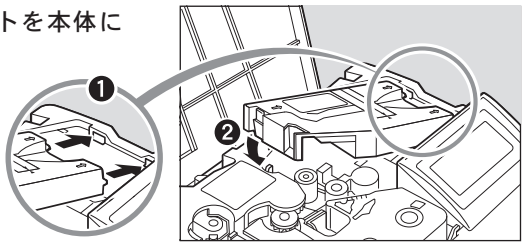
3 リボンカセットを本体にセットする。

●カチッと音がするまでしっかりと押す。



4 チューブアタッチメントを本体にセットする。

●チューブアタッチメントのつめを本体の穴に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押す。

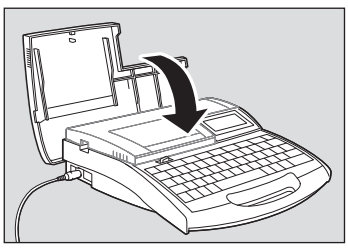


5 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを外す。

● 16ページをごらんください。

5 カバーを閉める。

●カチッと音がするまでしっかりと押す。



注意 **ＩＣチップには触らないで！**

リボンカセットのＩＣチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

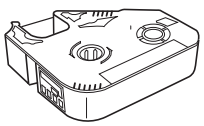
参考 **２つのカセット**

本製品にはつぎの２つのカセットが入っています。

Memo
専用のＩＣチップ付きカセットをご使用ください。

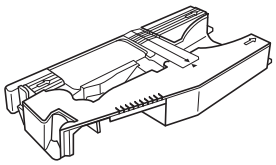
リボンカセット

リボンカセットの中には特殊なインクを塗ったリボンが入っています。リボンに熱を加えることでインクをチューブやラベルテープなどに印刷します。



チューブアタッチメント

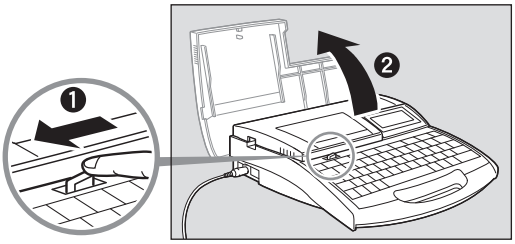
チューブに文字を印字するときに使います。本体内部にチューブを送り込むはたらきをします。



準備２ チューブをセットする

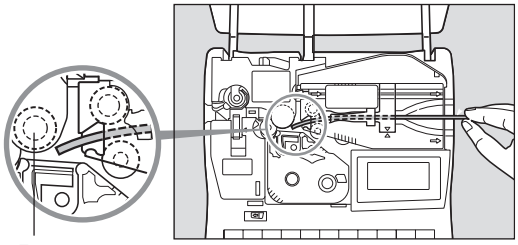
本製品にはチューブは含まれていませんので、別途ご用意ください。使用できるチューブは内径がΦ２．５～５．２mmのものです。チューブに凹凸や汚れがあったり、厚みが均等でなかったりすると正しく印字できませんのでご注意ください。

1 カバーを開ける。

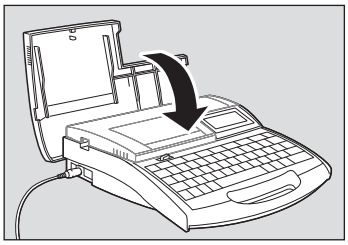


2 チューブをセットする。

- チューブの先端を挿入口に差し込み、搬送ローラ２に突き当たるまで押し込む。

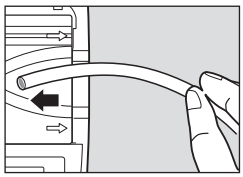


3 カバーを閉める。



Memo

反ったチューブは、図のような向きで挿入してください。

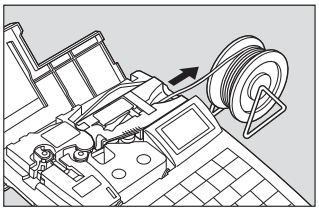


参考 チューブの有無が判断できないときは

チューブの種類によっては、本機で有無の判断ができないものがあります。その場合は、透明チューブモードで印字してください。ただし、透明チューブモードではチューブがなくなったことを検知できません。

参考 チューブリールをお使いになるときは

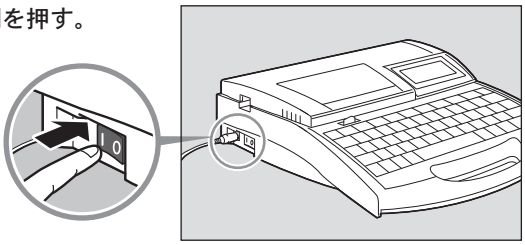
チューブリールの負荷が４．９Ｎ（５００ｇｆ）以下になるように調整してください。負荷が大きすぎるとチューブが伸びてカット位置がずれてしまいます。



準備３ 電源スイッチをＯＮにする

電源スイッチをＯＮにするまえにカセット類やチューブは正しくセットされ、カバーが閉っているか、ＡＣアダプタが正しくセットされているか、もう一度確認してください。

1 **電源スイッチの「｜」側を押す。**

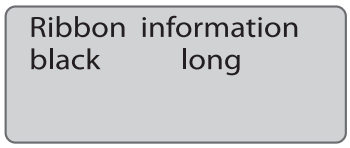


● 起動画面が表示される。



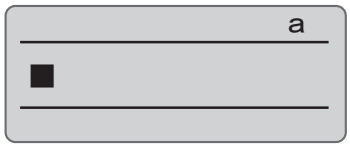
起動画面

● リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。



リボンカセット情報画面

※ 何の画面表示もされない場合は「こんなときには」（↗１２２ページ）をごらんください。



文字入力画面

Memo
リボンカセット未装着で電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

重要 電源スイッチは早押ししないで！

電源スイッチのＯＮ/ＯＦＦを早いスピードで繰り返すと、誤動作の原因となったり、保存データが消失するおそれがあります。

操作１ 文字を入力する

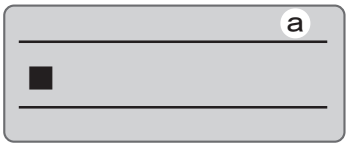
【例】つぎのようなチューブを各４セット作ります。



使用するチューブ：チューブサイズ（内径）がΦ３．０mmのチューブ

Memo
[入力]を押すたびに「英数字入力→ローマ字入力→かな入力」の順番で文字入力モードが変わります。

1 [入力]を押して英数字入力モードにする。

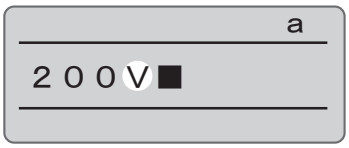


「ａ」が表示されるまで[入力]を押す。

Memo
大文字を入力するときや、キーの上段に表示されている文字を入力するときは、[Shift]を押しながら目的のキーを押します。間違って入力したときは、[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

2 「２００Ｖ」と入力する。

●[2]、[0]、[0]、[Shift]＋[V]の順番にキーボード入力する。



「Ｖ」を入力するときは[Shift]＋[V]と押す。

3 [Enter]を押す。

●新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなる。



Memo
ローマ字入力モードでは漢字、ひらがな、カタカナを入力できます。かな入力については[Part3 文字の入力]をごらんください。

4 [入力]を押してローマ字入力モードにする。



「Ｒ」が表示されるまで[入力]を押す。

Memo
間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

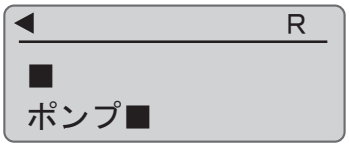
5 「ぽんぷ」と入力する。

●[P]、[O]、[N]、[N]、[P]、[U]の順番にキーボード入力する。



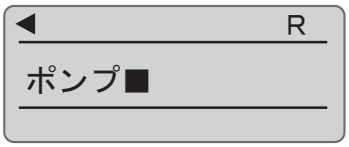
6 [Caps Lock]を押す。

●ひらがながカタカナに変換される。



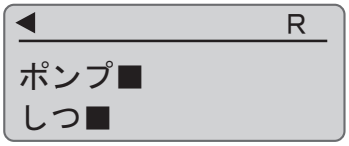
7 [Enter]を押す。

●これで「ポンプ」が入力された。



8 「しつ」と入力する。

●[S]、[I]、[T]、[U]の順番にキーボード入力する。



9 [スペース／変換]を押す。

●ひらがなが漢字に変換される。



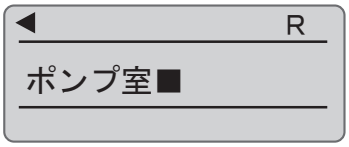
候補がいくつか表示される。

10 [◀]または[▶]を押して「室」を選択する。



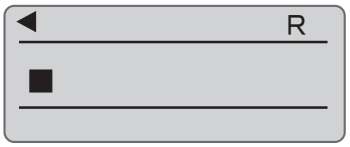
11 [Enter]を押す。

●これで「ポンプ室」が入力された。



12 [Enter]を押す。

●新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなる。



13 [入力]を押して英数字入力モード（小文字）にする。



「ａ」が表示されるまで[入力]を押す。

14 「Shift」＋「Ａ１」と入力する。

●[Shift]＋[A]、[1]の順番にキーボード入力する。



Memo

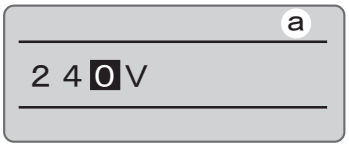
英数字入力モード（大文字）のＡ が表示されるときは[Caps Lock]を押すと入力モードがａになります。

間違って文字入力したときは

間違った文字を入力したときはつぎのようにして訂正します。

【例】「２００Ｖ」と入力するところを「２４０Ｖ」と入力してしまった場合。

1. [◀]または[▶]を押して■(カーソル)を「0」にあわせる。

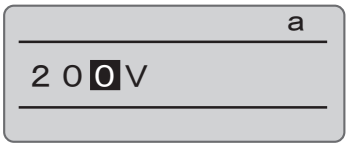


英数字入力モードになっていることを確認する。

2. [Back Space]を押して「4」を消す。



3. [0]を押して正しい文字「0」を入力する。



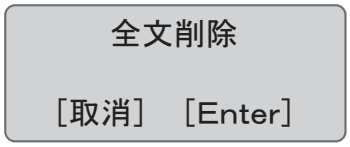
Memo

全文削除をしても[書式]や[スタイル]などの各設定はそのまま残っています。２ページ以上入力されていた場合は最後のページの設定が残ります。

入力した文字をすべて消す

入力した全ページの文字をすべて消去するときはつぎのようにします。

1. [全削除]を押す。
- 全文削除の確認画面となる。



2. [Enter]を押す。
- 全ページの文字データが消去される。

参考

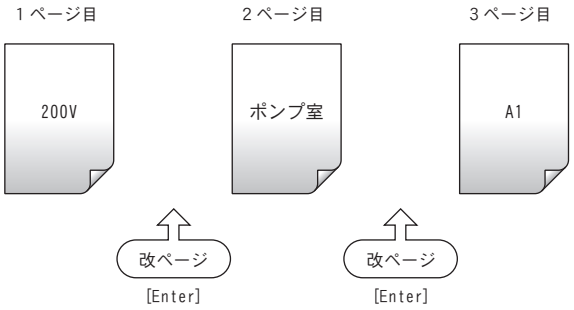
入力できる文字量

本機には全ページ合計して約２，５００文字分のデータを入力することができますが、これを超えると「空き容量不足　これ以上文字を入力できません。」と表示されます。このときは作成した文字データをいったん保存し（「文字データを保存する」（☞７６ページ）、画面に表示されている文字をすべて消してから（前ページの参考「入力した文字をすべて消す」）、新たに入力を続けてください。

参考

「ページ」について理解しよう！

本機には「ページ」という考えかたがあります。ここで入力した「２００Ｖ」、「ポンプ室」、「Ａ１」の文字データは３ページにわたってそれぞれ別々のページにインプットされます。文字を入力した後、[Enter]を押すと自動的に新しいページが追加されます。



参考

前ページのデータを見る

現在表示されているページの前にも別のページが存在するときは画面の左上に◀が表示されます。このとき、[◀]を押してカーソルを文字の先頭よりも左に移動させると、前のページの文字データが表示されます。また、[Shift]＋[◀]で直接前のページにジャンプすることもできます。

画面の右上に▶が表示されているときは、現在表示されているページの後にも別のページが存在することを示しています。このとき、[▶]を押してカーソルを最後の文字よりも右に移動させると、次のページの文字データが表示されます。また、[Shift]＋[▶]で直接次のページにジャンプすることもできます。

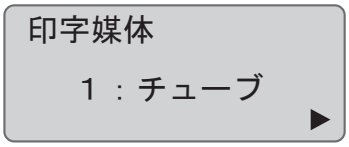


操作２ 印刷する

文字入力が終わったら印刷です。

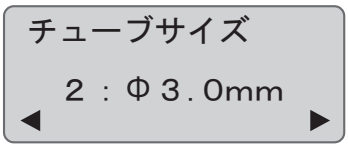
1 [印刷／印刷設定]を押す。

●印字媒体の選択画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「１：チューブ」を選択し、[Enter]を押す。

●チューブサイズ（内径）の選択画面となる。



3 [◀]または[▶]を押して「２：Φ３mm」を選択し、[Enter]を押す。

●印刷本数の設定画面となる。



4 [４]を押して[Enter]を押す。

●この操作で３ページ分の文字データが４回印刷される。

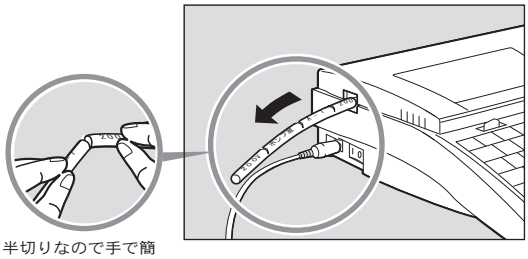


5 セットされているチューブの先端位置を確認して、[◀]または[▶]を押して入口側を選択し、[Enter]を押す。



6 チューブを取り出す。

●半切り状態になったチューブが排出される。



半切りなので手で簡単にカットできる。

Memo

印字媒体とは？

印刷を行う対象です。印字媒体には「チューブ」、「ラベルテープ」、「ラップアラウンドテープ」、「4 mm I. D. Strip」、「透明チューブ」があります。

Memo

リボンカセット未装着で［印刷/印刷設定］を押すと、エラーメッセージが表示されます。リボンカセットを装着して再度操作してください。また、リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合にもエラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

Memo

チューブサイズは正確に！

正しいチューブサイズを選択しないと正確に印字されません。

Memo

印刷本数の設定画面では、リボンカセット残量の目安を表示します。（実際の残量とは多少の誤差があります。）残量が正しく読み取れなかったときは、残量は表示されません。

Memo

セットされているチューブの先端が搬送ローラ２側にある場合は「入口側」を、カッタ側にある場合は「出口側」を選択してください。
この時に逆を選択するとメディアの無駄が多くなります。

Memo

印刷を中止する

[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、チューブはカット後、排出されます。

Memo

チューブが詰まったら

「ピピピッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。この場合、チューブはカットも排出もされません。「チューブやラベルテープが詰まったら」（102ページ）を参考にして詰まったチューブを取り出します。

2-2 ラベルテープ、4mm I.D. Stripに印字する

つぎのような操作の流れで文字を印字します。印字する媒体にあわせて
- ラベルテープに印字する場合：ラベルテープカセット
- 4mm I.D. Stripに印字する場合：4mm I.D. Stripカセット

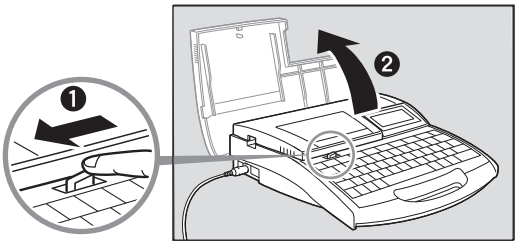
を用意します。本製品にはこれらのカセットは含まれていませんので、別途ご用意ください。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

準備１ カセットをセットする
↓
準備２ 電源スイッチをONにする
↓
操作１ 文字を入力する
↓
操作２ 印刷する

準備１ カセットをセットする

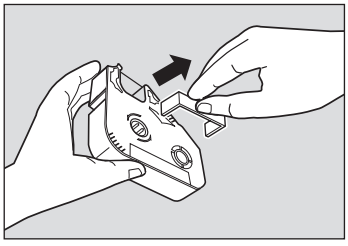
リボンカセットとラベルテープカセットをセットします。なお、ここではラベルテープに印字する場合を例に説明しますので、他の媒体に印字する場合は、他のカセットと置き換えてお読みください。

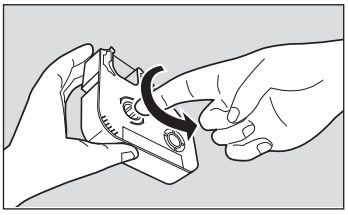
1 カバーを開ける。



2 リボンのたるみを取る。

- 新しいカセットをセットする場合は、ストッパを外してから、リボンのたるみを取る。



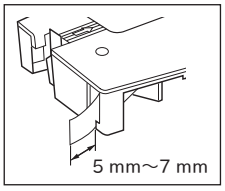


Memo
リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo
外したストッパは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

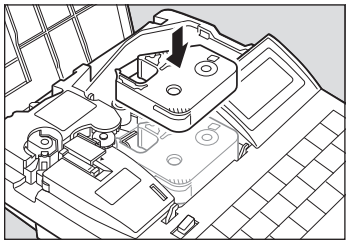
Memo
リボンカセットが浮いていると、リボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

Memo
テープカセットを本体にセットする前に、以下を確認してください。
- 剥離紙が浮いていたり、先端がそろっていない部分はカットしてください。
- テープの先端を5mm～7mm程度引き出してください。



3 リボンカセットを本体にセットする。

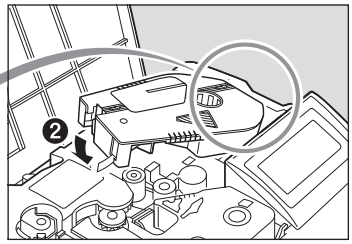
● カチッと音がするまでしっかりと押す。



4 ラベルテープカセットを本体にセットする。

● ラベルテープカセットのつめを本体の穴に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押す。



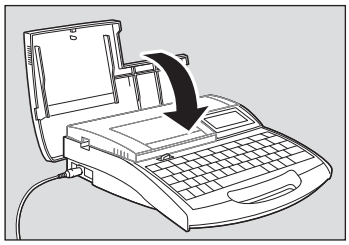


5 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを外す。

● 16ページをごらんください。

6 カバーを閉める。

● カチッと音がするまでしっかりと押す。



注意 ＩＣチップには触らないで！

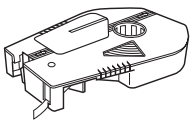
リボンカセットのＩＣチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

参考 いろいろなカセット

本製品にはこれらのカセットは含まれておりません。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

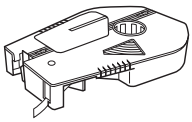
ラベルテープカセット

ラベルテープに文字を印字するときに使います。



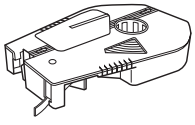
ラップアラウンドテープカセット

ラップアラウンドテープに文字を印字するときに使います。



4mm I.D. Stripカセット

4mm I.D. Stripに文字を印字するときに使います。



重要 **セットするカセットを間違えないで!**

本機はチューブ、透明チューブ、ラベルテープ、ラップアラウンドテープ、4mmI.D.Stripへの印字ができますが、いずれに印字するかによってセットするカセットが異なります。間違えると正しい印刷ができません。

チューブ、透明チューブに印字するとき

リボンカセットとチューブアタッチメントを本体にセットします。ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドやラベルテープカセットなどがすでにセットされている場合は、先に取り外してください。なお、チューブアタッチメントにはチューブはついていませんので、別途ご用意ください。

ラベルテープ、4mmI.D.Stripに印字するとき

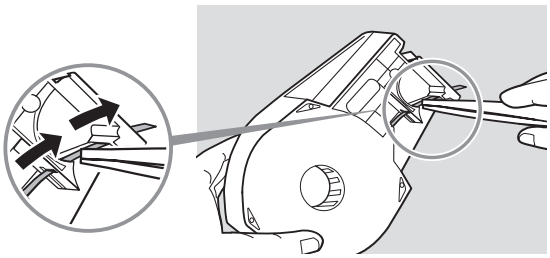
リボンカセットとそれぞれのカセットを本体にセットします。ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドやチューブアタッチメントは使用しませんので、すでにセットされている場合は、先に取り外してください。

ラップアラウンドテープに印字するとき

リボンカセットとラップアラウンドテープカセットとラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドを本体にセットします。チューブアタッチメントは使用しませんので、すでにセットされている場合は先に取り外してください。

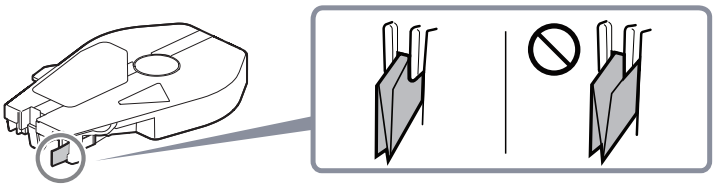
参考 **ラベルテープがカセットの中に入ってしまったら**

テープがラベルカセットの中に入ってしまった場合は、図のようにピンセットなどでテープの先端を引き出してください。



重要 **ラベルテープ(9mm/12mm)、ラップアラウンドテープの場合**

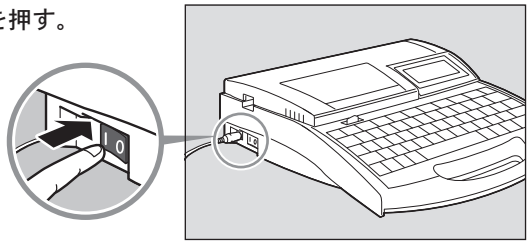
ラベルカセットの排出口が図のような形状の場合、テープはガイドの間を正しく通してください 。テープがガイドに引っかかった状態で使用すると、搬送不良または印刷不良の原因になります。



準備２ 電源スイッチをＯＮにする

電源スイッチをＯＮにするまえにカセットやチューブは正しくセットされて、カバーが閉まっているか、ＡＣアダプタが正しくセットされているか、もう一度確認してください。

1 電源スイッチの「Ｉ」を押す。

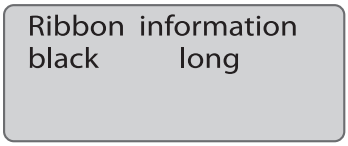


● 起動画面が表示される。



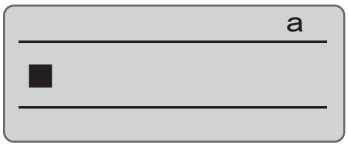
起動画面

● リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。



リボンカセット情報画面

※ 何の画面表示もされない場合は「こんなときには」(122ページ)をごらんください。



文字入力画面

Memo

リボンカセット未装着で電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

重要 電源スイッチは早押ししないで！

電源スイッチのＯＮ/ＯＦＦを早いスピードで繰り返すと、誤動作の原因となったり、保存データが消失するおそれがあります。

操作１ 文字を入力する

【例】つぎのようなラベルテープを作ります。

10W	＋12V －12V	リレー

使用するラベルテープ ： ９mmのラベルテープ

Memo
[入力]を押すたびに「英数字入力→ローマ字入力→かな入力」の順番で文字入力モードが変わります。

1 [入力]を押して英数字入力モードにする。

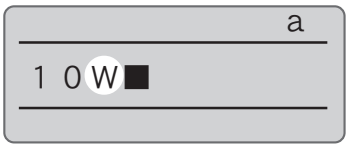


「ａ」が表示されるまで[入力]を押す。

Memo
大文字を入力するときや、キーの上段に表示されている文字を入力するときは、[Shift]を押しながら目的のキーを押します。間違って入力したときは、[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

2 「１０Ｗ」と入力する。

● [1]、[0]、[Shift]＋[W]の順番にキーボード入力する。



「W」を入力するときは[Shift]＋[W]を押す。

3 [Enter]を押す。

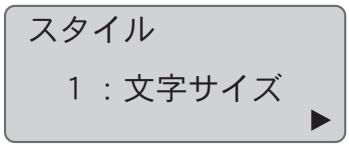
● 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなる。



現在表示されているページの前にも別のページが存在することを意味する。

4 [スタイル]を押す。

● まん中のラベルは２行にしなければならないので[スタイル]を押す。
● 機能の選択画面となる。



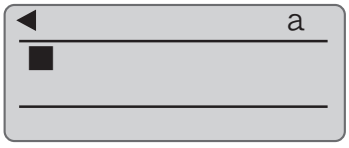
5 [◀]または[▶]を押して「２：行数」を選択し、[Enter]を押す。

● 行数の選択画面となる。



6 [◀]または[▶]を押して「２：２行」を選択し、[Enter]を押す。

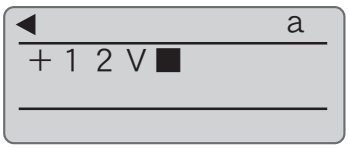
● 文字入力画面に戻る。



入力画面が２行になった。

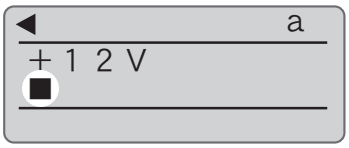
7 「＋１２Ｖ」と入力する。

● [Shift]＋[；]、[１]、[２]、[Shift]＋[Ｖ]の順番にキーボード入力する。



「＋」を入力するときは[Shift]＋[；]を押し、「Ｖ」を入力するときは[Shift]＋[Ｖ]と押す。

8 [▼]または[▶]を押す。

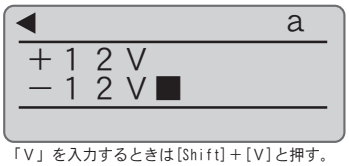


カーソルが２行目に移動する。

Memo
[▼]または[▶]ではなく[Enter]を押すと、改ページされてしまいます。

9 「－１２Ｖ」と入力する。

● [－]、[１]、[２]、[Shift]＋[Ｖ]の順番にキーボード入力する。



「Ｖ」を入力するときは[Shift]＋[Ｖ]と押す。

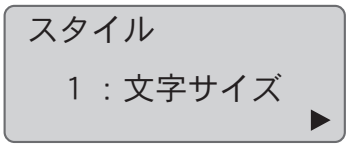
10 [Enter]を押す。

● 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなる。



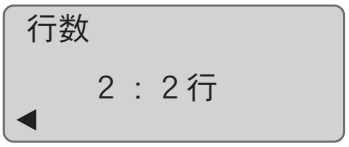
11 [スタイル]を押す。

● ３つ目のラベルは１行に戻さなければならないので[スタイル]を押す。



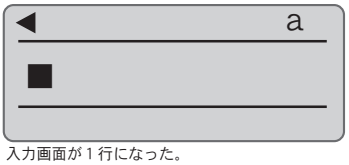
12 [◀]または[▶]を押して「２：行数」を選択し、[Enter]を押す。

● 行数の選択画面となる。



13 [◀]または[▶]を押して「１：１行」を選択し、[Enter]を押す。

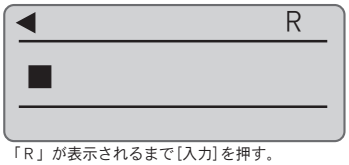
● 文字入力画面に戻る。



入力画面が１行になった。

Memo
ローマ字入力モードでは漢字、ひらがな、カタカナを入力できます。かな入力については[Part３　文字の入力]をごらんください。

14 [入力]を押してローマ字入力モードにする。



「Ｒ」が表示されるまで[入力]を押す。

Memo
間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

15 「りれー」と入力する。

● [Ｒ]、[Ｉ]、[Ｒ]、[Ｅ]、[－]の順番にキーボード入力する。



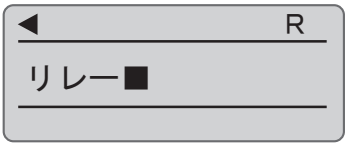
16 [Caps Lock]を押す。

● ひらがながカタカナに変換される。



17 [Enter]を押す。

● これで「リレー」が入力された。



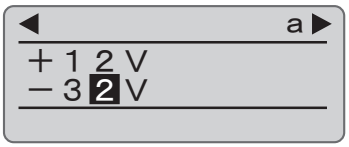
参考

間違って文字入力したときは

間違った文字を入力したときはつぎのようにして訂正します。

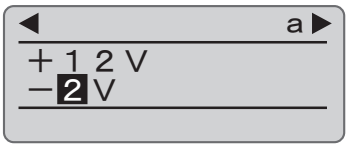
【例】「－１２Ｖ」と入力するところを「－３２Ｖ」と入力してしまった場合。

1. [◀]、[▶]、[▲]、[▼]を押して■（カーソル）を「2」にあわせる。

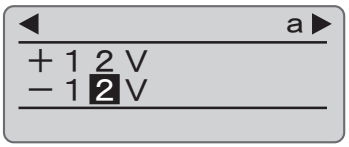


英数字入力モードになっていることを確認する。

2. [Back Space]を押して「3」を消す。



3. [1]を押して正しい文字「1」を入力する。



Memo

全文削除をしても[書式]や[スタイル]などの各設定はそのまま残っています。２ページ以上入力されていた場合は最後のページの設定が残ります。

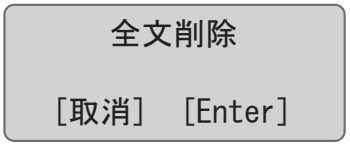
参考

入力した文字をすべて消す

入力した全ページの文字をすべて消去するときはつぎのようにします。

1. [全削除]を押す。

● 全文削除の確認画面となる。



2. [Enter]を押す。

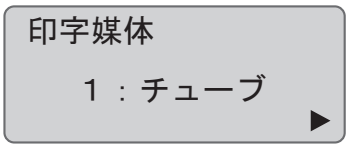
● 全ページの文字データが消去される。

操作２ 印刷する

文字入力が終わったら印刷です。

1 [印刷／印刷設定]を押す。

● 印字媒体の選択画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「４：ラベル」を選択し、[Enter]を押す。

● ラベルテープサイズ（幅）の選択画面となる。



3 [◀]または[▶]を押して「２：９mm」を選択し、[Enter]を押す。

● 印刷本数の設定画面となる。

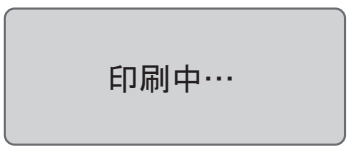


4 [Enter]を押す。



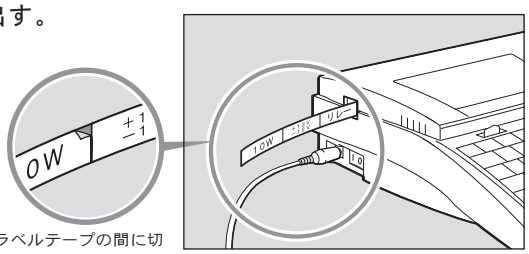
5 セットされているラベルテープの先端位置を確認して、[◀]または[▶]を押して入口側を選択し、[Enter]を押す。

● 印刷が始まる。



6 ラベルテープを取り出す。

● 半切りされたラベルが排出される。



ラベルテープの間に切り込みが入るので、一枚一枚を簡単にはがすことができる。

Memo

印字媒体とは？

印刷を行う対象です。印字媒体には「チューブ」、「ラベルテープ」、「ラップアラウンドテープ」、「4mm I.D.Strip」、「透明チューブ」があります。

Memo

リボンカセット未装着で［印刷/印刷設定］を押すと、エラーメッセージが表示されます。リボンカセットを装着して再度操作してください。
また、リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合にもエラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

Memo

印刷本数の設定画面では、リボンカセット残量の目安を表示します。（実際の残量とは多少の誤差があります。）残量が正しく読み取れなかったときは、残量は表示されません。

Memo

セットされているラベルの先端が搬送ローラ２側にある場合は「入口側」を、カッタ側にある場合は「出口側」を選択してください。

Memo

印刷を中止する

[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、ラベルはカット後、排出されます。

Memo

ラベルテープが詰まったら

「ピピピッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。この場合、ラベルはカットも排出もされません。「チューブやラベルテープが詰まったら」(１０２ページ）を参考にして詰まったラベルを取り出します。

2-3 ラップアラウンドテープに印字する

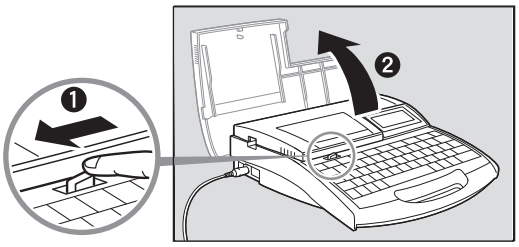
ラップアラウンドテープは、印字部と透明ラミネート部が一体になったテープです。ラップアラウンドテープカセットを用意し、つぎのような操作の流れで文字を印字します。本製品にはラップアラウンドテープカセットは含まれていませんので、別途ご用 意ください。

準備１	カセットをセットする
↓	
準備２	ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットする
↓	
準備３	電源スイッチをＯＮする
↓	
操作１	文字を入力する
↓	
操作２	印刷する

準備１ カセットをセットする

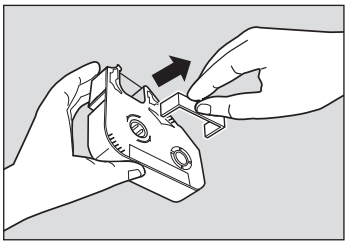
リボンカセットとラップアラウンドテープカセットをセットします。

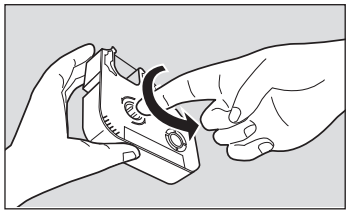
1 カバーを開ける。



2 リボンのたるみを取る。

- 新しいカセットをセットする場合は、ストッパを外してから、リボンのたるみを取る。



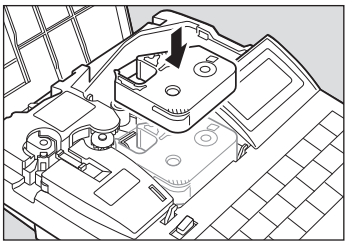


Memo
リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo
外したストッパは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

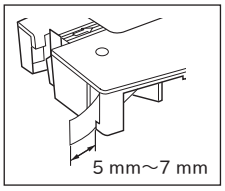
Memo
リボンカセットが浮いていると、リボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

3 リボンカセットを本体にセットする。

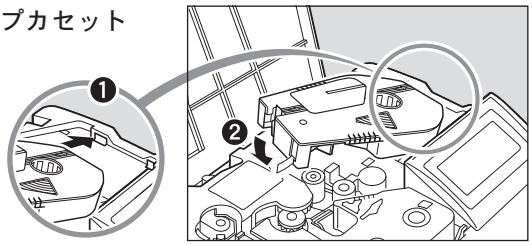


- カチッと音がするまでしっかりと押す。

Memo
テープカセットを本体にセットする前に、以下を確認してください。
- 剥離紙が浮いていたり、先端がそろっていない部分はカットしてください。
- テープの先端を5mm～7mm程度引き出してください。



4 ラップアラウンドテープカセットを本体にセットする。



- カセットのつめを本体の穴に合わせ、カチッと音がするまでしっかりと押す。

注意 **ＩＣチップには触らないで！**
リボンカセットのＩＣチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

重要 テープがカセットの中に入ってしまった場合は、「ラベルテープがカセットの中に入ってしまったら」（35ページ）を参考にしてテープを引き出してください。

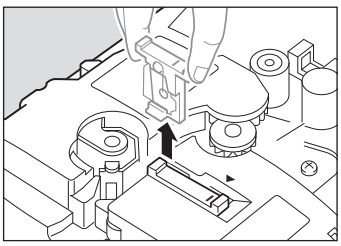
Memo
すでにラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドがセットされている場合には、正しくセットされていることを確認してください。

Memo
ラップアラウンドテープ（5064C001）を使用する際は、ラップアラウンドテープ搬送補助ガイド（3471A048（灰色）（別売））をご用意ください。プリンター本体に付属の搬送補助ガイド（黒色）を使用するとカッターにテープが貼り付いてしまい、エラー発生の原因になります。取り付け方は、本体に付属の搬送補助ガイドと同じです。

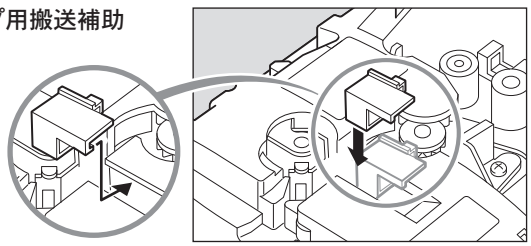
準備２ ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットする

ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットします。

1 カッタを引き出す。

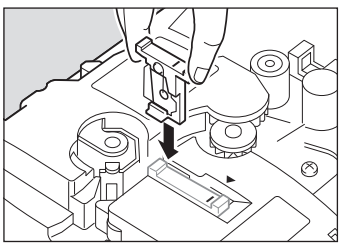


2 ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドをセットする。



- ラップアラウンドテープ用搬送補助ガイドの爪を確実に本体の段差にかける。

3 カッタをセットし、カバーを閉める。

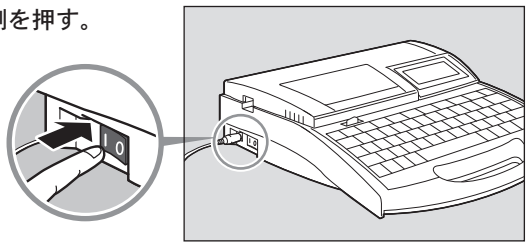


- 向きに注意して、カッタのー（ライン）を◀マークに合わせて、奥に突き当たるまで差し込む。
- カバーを閉める。

準備３ 電源スイッチをＯＮにする

電源スイッチをＯＮにするまえにカセット類やチューブは正しくセットされ、カバーが閉っているか、ＡＣアダプタが正しくセットされているか、もう一度確認してください。

1 **電源スイッチの「｜」側を押す。**



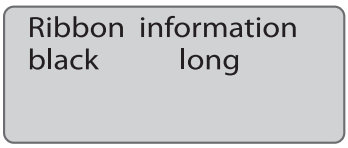
● 起動画面が表示される。



起動画面

● リボンカセット情報画面が表示された後、文字入力画面になります。

※ 何の画面表示もされない場合は「こんなときには」(122ページ)をごらんください。



リボンカセット情報画面



文字入力画面

Memo
リボンカセット未装着で電源を入れた場合は、リボンカセット情報画面は表示されません。

重要 電源スイッチは早押ししないで！

電源スイッチのＯＮ/ＯＦＦを早いスピードで繰り返すと、誤動作の原因となったり、保存データが消失するおそれがあります。

操作1 文字を入力する

【例】つぎのようなラップアラウンドテープを 3 枚作ります。



Memo
[入力]を押すたびに「英数字入力→ローマ字入力→かな入力」の順番で文字入力モードが変わります。

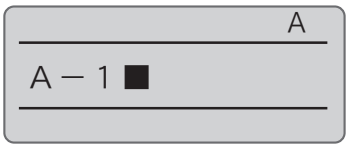
1 [入力]を押して英数字入力モードにする。



Memo
英数字入力モード（小文字）の a が表示されるときは[Caps Lock]を押すと入力モードがAになります。

2 「A－1」と入力する。

- [A]、[−]、[1]の順番にキーボード入力する。



参考 間違って文字入力したときは

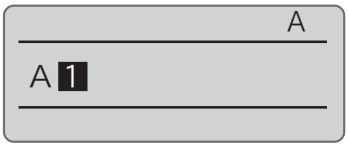
間違った文字を入力したときはつぎのようにして訂正します。

【例】「A－1」と入力するところを「A＝1」と入力してしまった場合。

1. [◀]または[▶]を押して■（カーソル）を「1」にあわせる。



2. [Back Space]を押して「＝」を消す。



3. [−]を押して正しい文字「−」を入力する。



Memo
全文削除をしても[書式]や[スタイル]などの各設定はそのまま残っています。2 ページ以上入力されていた場合は最後のページの設定が残ります。

参考 入力した文字をすべて消す

入力した全ページの文字をすべて消去するときはつぎのようにします。

1. [全削除]を押す。
   - 全文削除の確認画面となる。



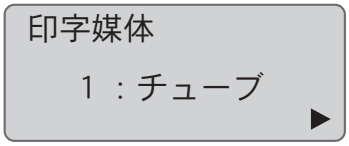
2. [Enter]を押す。
   - 全ページの文字データが消去される。

操作 2 印刷する

文字入力が終わったら印刷です。

1 [印刷／印刷設定]を押す。

● 印字媒体の選択画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「6 ：ラップアラウンド」を選択し、[Enter]を押す。

● 印刷本数の選択画面となる。



3 [3]を押して[Enter]を押す。

● この操作で 3 枚印刷される。

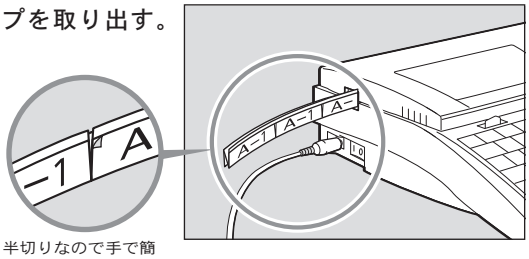


4 セットされているラップアラウンドテープの先端位置を確認して[◀]または[▶]を押して入口側を選択し、[Enter]を押す。



5 ラップアラウンドテープを取り出す。

● 半切り状態になったラップアラウンドテープが排出される。



半切りなので手で簡単にカットできる。

Memo
印字媒体とは？
印刷を行う対象です。印字媒体には「チューブ」、「ラベルテープ」、「ラップアラウンドテープ」、「4㎜ I.D.Strip」、「透明チューブ」があります。

Memo
リボンカセット未装着で［印刷/印刷設定］を押すと、エラーメッセージが表示されます。リボンカセットを装着して再度操作してください。
また、リボンカセットの故障等により情報が読み取れなかった場合にもエラーメッセージが表示されます。何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

Memo
印刷本数の設定画面では、リボンカセット残量の目安を表示します。（実際の残量とは多少の誤差があります。）残量が正しく読み取れなかったときは、残量は表示されません。

Memo
セットされているテープの先端が搬送ローラ 2 側にある場合は「入口側」を、カッタ側にある場合は「出口側」を選択してください。

Memo
印刷を中止する
[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、テープはカット後、排出されます。

Memo
ラップアラウンドテープが詰まったら
「ピピピッ」と音がするまで[取消]を押してください。すぐに動作が停止されます。この場合、テープはカットも排出もされません。「チューブやラベルテープが詰まったら」（102ページ）を参考にして詰まったテープを取り出します。

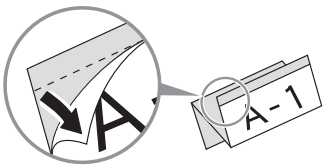
Memo
対応ケーブル外径：
φ3mm～φ7.6mm
（文字サイズ、行数、印刷位置（高さ）、枠の設定によっては印刷部にラミネートシールが十分に重ならない場合があります。）

Memo
半切りが浅くカットされていると正しく剥せない場合があります。

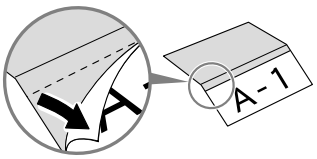
参考 ラップアラウンドテープの貼りつけ

1．ラップアラウンドテープから剥離フィルムを剥がす。

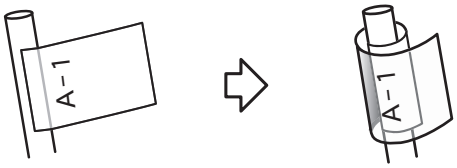
・ラップアラウンドテープ（3476A075）の場合



・ラップアラウンドテープ（5064C001）の場合



2．ケーブルに図のように印字部から貼りつけ、印字部を覆うようにして透明ラミネートシール部を巻きつける。

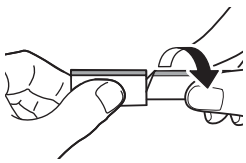


参考 カット深さが浅かったら

テープの切り込みが深すぎる（または、浅すぎる）場合や、テープが切れない場は、「カッタが切れにくくなったら」（107ページ）を参考にして、カットの深さを調整してください。それでも解決しない場合は、新しいカッタと交 換してください（109ページ）。

参考 テープ同士を切り離す

印刷したテープには切り込みが入ります。図のように、つながっている部分を切り離してください。



重要 テープに印字されていた内容の消失や、テープの剥れに伴う損害について、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

Part 3
文字の入力

ここでは、いろいろな文字入力、漢字変換、記号入力、文字削除・変更のしかたについて説明します。

3-1 文字入力のまえに…… 48
■入力モードを理解しよう…… 48
■入力モードを切り換える…… 48
■[Shift]のはたらき…… 49

3-2 ひらがなを入力する…… 50
■ローマ字入力のとき…… 50
■かな入力のとき…… 51

3-3 カタカナを入力する…… 52
■ローマ字入力のとき…… 52
■かな入力のとき…… 53

3-4 英数字を入力する…… 54
■英数字を入力する…… 54

3-5 漢字を入力する…… 55
■ローマ字入力のとき…… 55
■区点コード入力のとき…… 58

3-6 記号を入力する…… 60
■記号を入力する…… 60

3-7 文字の削除、ページ編集、カーソルの移動… 62
■文字を削除、変更する…… 62
■入力した文字データをすべて消去する… 63
■新規ページ作成…… 64
■ページの挿入…… 64
■ページの削除…… 65
■カーソルの移動…… 65

3-1 文字入力のまえに

実際に文字を入力するまえにお読みください。

■ 入力モードを理解しよう

本機には「英数字入力モード」、「ローマ字入力モード」、「かな入力モード」の３つの入力モードがあり、入力したい文字に合わせてこれらのモードを切り換える必要があります。入力モードは「入力」を押して切り換えます。

●ひらがな、カタカナ、漢字を入力するとき

「ローマ字入力モード」または、「かな入力モード」に切り換える

●英数字を入力するとき

「英数字入力モード」に切り換える

■ 入力モードを切り換える

現在の入力モードはディスプレイの右上端に表示されます。それぞれの表示が持つ意味はつぎの通りです。

「ａ」または「Ａ」‥‥英数字入力モード
「Ｒ」‥‥‥‥‥‥‥‥ローマ字入力モード
「ひ」‥‥‥‥‥‥‥‥ かな入力モード



「入力」を何回か押してみましょう。「ａ→Ｒ→ひ」のように表示が切り変わりましたね？このようにして入力モードを切り換えます。

参考

大文字固定の英数字入力モード

上の操作で[入力]を押したときに「ａ→Ｒ→ひ」と表示された場合は[Caps Lock]を押してからもう一度[入力]を押してみてください。今度は「Ａ→Ｒ→ひ」のように表示されます。「Ａ」が表示されているときは「大文字固定の英数字入力モード」で、通常の英数字入力モードで[Shift]を押しながらキーを押したのと同じ結果を得ることができます。大文字だけの英字を打つときに便利な機能です。

■ [Shift]のはたらき

英数字入力モードのとき、例えば[Shift]を押しながら[A]を押すと大文字の[A]が入力されます。このように[Shift]は通常「大文字を入力するとき」に使いますが、押したキーやそのとき選択している入力モードによって必ずしもそうならない場合もあります。つぎの表を参考にしてください。

押すキー	入力モード	入力文字	[Shift]を押しながら入力した場合
！あ 1あ	英数字入力	1	！
	英数字入力（大文字固定）	1	！
	ローマ字入力	1	！
	ひらがな入力	あ	ぁ
#う 3う	英数字入力	3	#
	英数字入力（大文字固定）	3	#
	ローマ字入力	3	#
	ひらがな入力	う	ぅ
E く	英数字入力	e	E
	英数字入力（大文字固定）	E	e
	ローマ字入力	え	え
	ひらがな入力	く	く
A さ	英数字入力	a	A
	英数字入力（大文字固定）	A	a
	ローマ字入力	あ	あ
	ひらがな入力	さ	さ

3-2 ひらがなを入力する

■ ローマ字入力のとき

ローマ字入力でひらがなを入力します。
【例】かっしょく

Memo
「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[入力]を押しても「ａ→Ｒ→ひ」ではなく「Ａ→Ｒ→ひ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock]を押してから操作してください。

1 [入力]を押してローマ字入力モードにする。

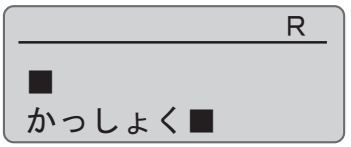


［入力］を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「Ｒ」がローマ字入力なので「Ｒ」を表示する。

Memo
［K］、［A］、［S］、［S］、［H］、［O］、［K］、［U］と入力してもかまいません。詳しくは「ローマ字/かな入力表」（１２４ページ）をごらんください。

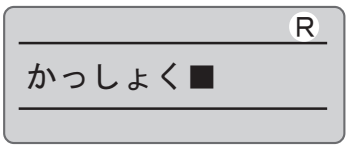
2 「かっしょく」と入力する。

- [K]、[A]、[S]、[S]、[Y]、[O]、[K]、[U]の順にキーボード入力する。



Memo
間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

3 [Enter]を押す。



■ かな入力のとき

かな入力でつぎのひらがなを入力します。
【例】ちゃねぎし

Memo
「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[入力]を押しても「ａ→Ｒ→ひ」ではなく「Ａ→Ｒ→ひ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock]を押してから操作してください。

1 [入力]を押してかな入力モードにする。



［入力］を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「ひ」がかな入力モードなので「ひ」を表示する。

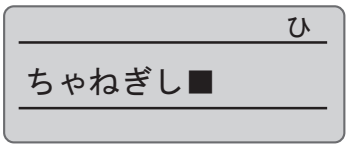
Memo
間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

2 「ちゃねぎし」と入力する。

● [ち]、[Shift]＋[や]、[ね]、[き]、[Shift]＋[゛]、[し]の順番にキーボード入力する。



3 [Enter]を押す。



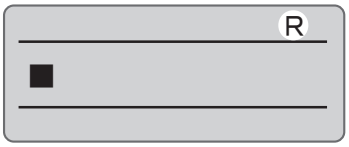
3-3 カタカナを入力する

■ ローマ字入力のとき

ローマ字入力でつぎのカタカナを入力します。
【例】アッシュ

Memo
「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[入力]を押しても「ａ→Ｒ→ひ」ではなく「Ａ→Ｒ→ひ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock]を押してから操作してください。

1 [入力]を押してローマ字入力モードにする。



［入力］を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「Ｒ」がローマ字入力モードなので「Ｒ」を表示する。

Memo
［Ａ］、［Ｓ］、［Ｓ］、[Ｈ]、［Ｕ］と入力してもかまいません。詳しくは「ローマ字/かな入力表」（124ページ）をごらんください。

2 「あっしゅ」と入力する。

●[Ａ]、［Ｓ]、［Ｓ]、［Ｙ]、［Ｕ]の順番にキーボード入力する。



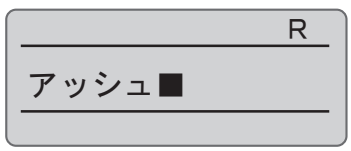
Memo
間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

3 [Caps Lock]を押す。

●ひらがながカタカナに変換される。



4 [Enter]を押す。



■ かな入力のとき

かな入力でつぎのカタカナを入力します。
【例】ヴァイオレット

Memo
「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[入力]を押しても「ａ→Ｒ→ひ」ではなく「Ａ→Ｒ→ひ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock]を押してから操作してください。

1 [入力]を押してかな入力モードにする。

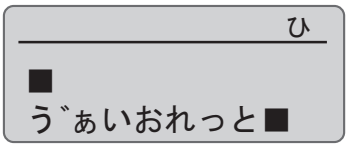


［入力］を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「ひ」がかな入力モードなので「ひ」を表示する。

Memo
間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

2 「う゛ぁいおれっと」と入力する。

●[う]、[Shift]＋[゛]、[Shift]＋[ぁ]、[い]、[お]、[れ]、[Shift]＋[っ]、[と]の順番にキーボード入力する。



3 [Caps Lock]を押す。

●ひらがながカタカナに変換される。



4 [Enter]を押す。



3-4 英数字を入力する

■ 英数字を入力する

つぎの英数字を入力します。

【例】 Ｒｅｓ７－１

Memo

「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、［入力］を押しても「ａ→Ｒ→ひ」ではなく「Ａ→Ｒ→ひ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock]を押してから操作してください。

1 ［入力］を押して英数字入力モードにする。



［入力］を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「ａ」が英数字入力モードなので「ａ」を表示する。

Memo

大文字を入力するときや、キーの上段表示されている文字を入力するときは［Shift］を押しながら目的のキーを押します。

2 「Ｒｅｓ７－１」と入力する。

- ［Shift］＋［R］、［E］、［S］、［7］、［－］、［1］、の順番にキーボード入力する。



「R」を入力するときは［Shift］＋［R］を押す。

Memo

間違って入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

参考

大文字だけの英字を入力するとき

例えば［SYSTEM］のように大文字のみの英字を入力するとき、いちいち［Shift］を押しながら文字を入力するのは面倒です。こんなときは「英数字入力モード(大文字)」を使いましょう。操作１でディスプレイに［ａ］を表示して「英数字入力モード」にしましたが、この状態で[Caps Lock]を押すと、表示が［Ａ］に変わり「大文字固定の英数字入力モード」になります。この状態で［Shift］を押しながら文字を入力すると小文字が入力されます。

3-5 漢字を入力する

Memo
文字の大きさが２㎜のときは漢字や記号は入力できません。

■ ローマ字入力のとき

ローマ字入力でつぎの文字を入力します。
【例】回線ノイズＦｘ

Memo
「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。

1 [入力]を押してローマ字入力モードにする。



［入力］を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「Ｒ」がローマ字入力モードなので「Ｒ」を表示する。

Memo
間違って入力したら
[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

2 「かい」と入力する。

●[K]、[A]、[I]の順番にキーボード入力する。



3 [スペース/変換]を押す。

●ひらがなが漢字に変換される。



候補がいくつか表示される。

Memo
変換を中止する
[取消]を押してください。変換された漢字がひらがなに戻ります。

4 [◀]または[▶]を押して「回」を選択し、[Enter]を押す。

●これで「回」が入力される。



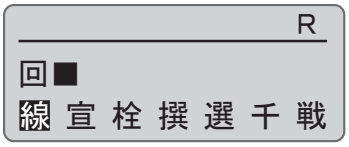
5 「せん」と入力する。

●[S]、[E]、[N]、[N]の順番にキーボード入力する。



6 [スペース／変換]を押す。

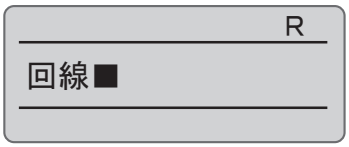
●ひらがなが漢字に変換される。



候補がいくつか表示される。

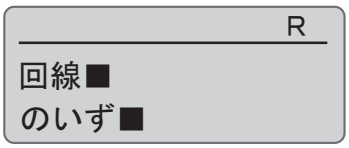
7 [◀]または[▶]を押して「線」を選択し、[Enter]を押す。

●これで「回線」までが入力される。



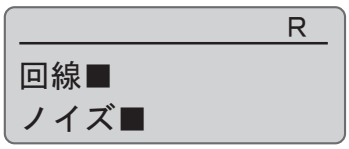
8 「のいず」と入力する。

●[N]、[O]、[I]、[Z]、[U]、の順番にキーボード入力する。



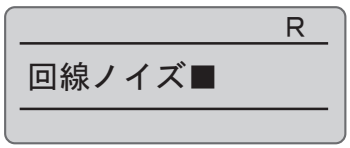
9 [Caps Lock]を押す。

●ひらがながカタカナに変換される。



10 [Enter]を押す。

●これで「回線ノイズ」までが入力される。

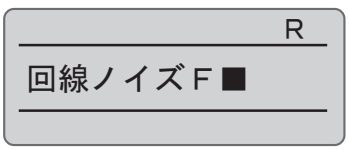


11 「F」と入力する。

●[Shift]＋[F]を押す。



12 [Enter]を押す。

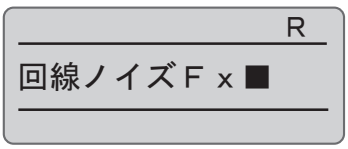


13 「X」と入力する。

●[X]を押す。



14 [Enter]を押す。



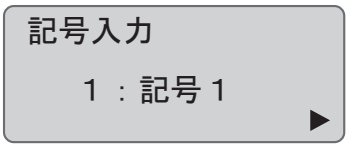
■ 区点コード入力のとき

読み方のわからない漢字や変換されない漢字は区点コード（４桁）入力を使って入力します。つぎの文字を区点コード入力を使って入力します。

【例】塑性

1 **[記号]を押す。**

●記号入力の選択画面となる。



2 **[◀]または[▶]を押して「５：区点コード入力」を選択し、[Enter]を押す。**

●区点コードの入力画面となる。



3 **[塑]の区点コードを探す。**

●巻末の「区点コード表」（126ページ）を使って調べる。
●「塑」の区点コードは３３２６。

4 **区点コードを入力する。**

●この場合は「３３２６」と入力する。



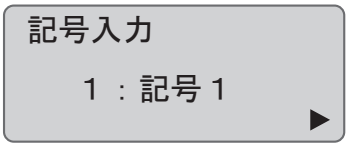
5 **[Enter]を押す。**



「塑」が表示された。

6 **[記号]を押す。**

●記号入力の選択画面となる。



Memo

間違って入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

7 [◀]または[▶]を押して「５：区点コード入力」を選択し、[Enter]を押す。

●区点コードの入力画面となる。



8 [性]の区点コードを探す。

●巻末の「区点コード表」(126ページ)を使って調べる。
●「性」の区点コードは３２１３。

9 区点コードを入力する。

●この場合は「３２１３」と入力する。



10 [Enter]を押す。

●これで「塑性」が入力された。



3-6 記号を入力する

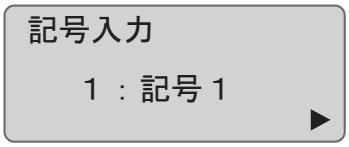
■ 記号を入力する

つぎの文字を入力します。

【例】→２５０ｋΩ

1 [記号]を押す。

●記号入力の選択画面となる。



2 「→」の記号を探す。

●巻末の「記号一覧表」(１２５ページ)を使って調べる。
●「→」は記号１。

3 [◀]または、[▶]を押して「記号１」を選択し、[Enter]を押す。

●記号の選択画面となる。



4 [◀]、[▲]、[▶]、[▼]を押して「→」を選択し、[Enter]を押す。

●これで「→」が入力された。



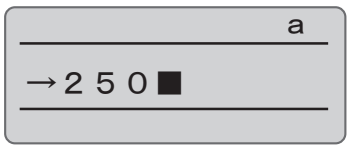
5 [入力]を押して英数字入力モードにする。



［入力］を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「ａ」が英数字入力モードなので「ａ」を表示する。

6 「２５０」を入力する。

●[2]、[5]、[0]の順番にキーボード入力する。



Memo

「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。

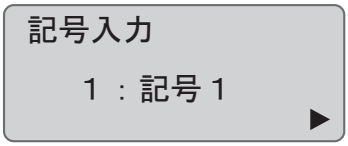
Memo

間違って入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

7 [記号]を押す。

●記号入力の選択画面となる。



8 「ｋΩ」の記号を探す。

●巻末の「記号一覧表」（1２５ページ）を使って調べる。
●「ｋΩ」は記号２。

9 [◀]または[▶]を押して「２：記号２」を選択し、[Enter]を押す。

●記号の選択画面となる。



10 [◀]、[▲]、[▶]、[▼]を押して「ｋΩ」を選択し、[Enter]を押す。

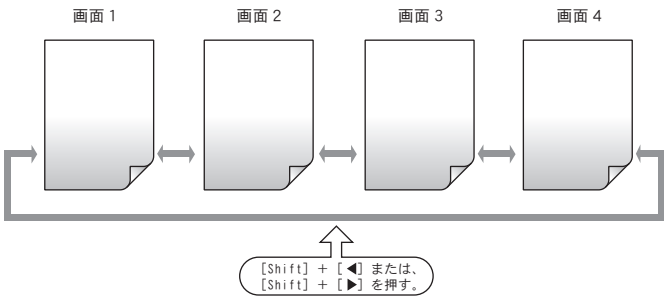
●これで「ｋΩ」が入力された。



参考

４つある記号画面

多くの記号の中から目的の記号を検索しやすくするために、記号の画面が４つに分かれています。これらを切り替えるには［Shift］＋［◀］または［Shift］＋［▶］を押します。



3-7 文字の削除、ページ編集、カーソルの移動

■ 文字を削除、変更する

文字を削除する方法は［Back Space］を使います。

【例】「－２７Ｖ」を「＋２４Ｖ」に変更する。

Memo
「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。

1 「－」のつぎの文字「２」に■（カーソル）を移動する。

- ［◀］または［▶］を押してカーソルを移動する。



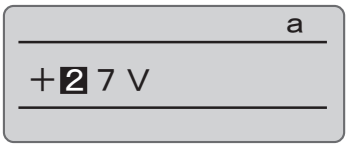
Memo
間違って入力したら［Back Space］を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

2 ［Back Space］を押して「－」を消す。

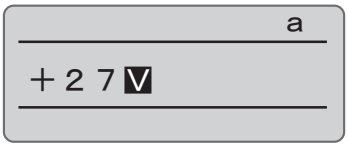
- ［Back Space］はカーソルの１つ手前にある文字を消す。



3 ［＋］を押す。



4 ［Ｖ］に■（カーソル）を移動する。

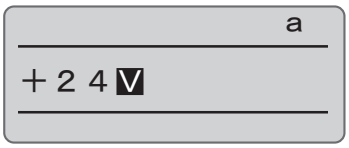


5 ［Back Space］を押して「７」を消す。

- ［Back Space］はカーソルの１つ手前にある文字を消す。



6 ［４］を押す。



■ 入力した文字データをすべて消去する

入力した文字データを全ページにわたって一括消去することができます。

1 [全削除]を押す。

●全文削除の確認画面となる。



2 [Enter]を押す。

●文字データが消去され、文字入力画面に戻る。

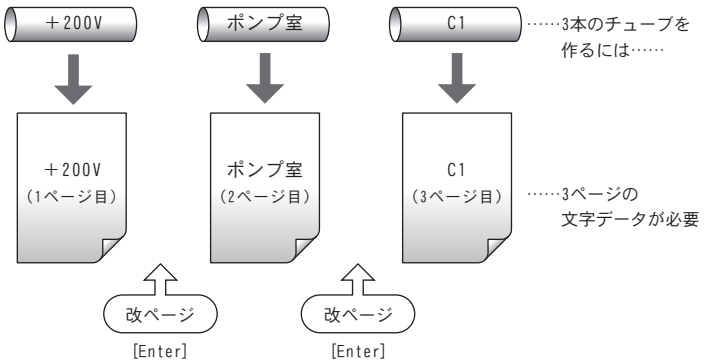


Memo

全文削除をしても[書式]や[スタイル]などの各設定はそのまま残っています。２ページ以上入力されていた場合は最後のページの設定が残ります。

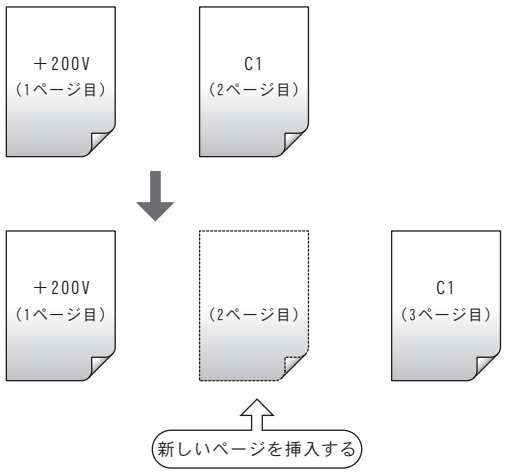
■ 新規ページ作成

例えば、つぎのような３本のチューブをつくるときは各ページにそれぞれの文字を入力して、合計３ページ分の文字データを作成する必要があります。このとき、ページとページの間で改ページの操作を行うと新しいページが自動的に作成されます。



■ ページの挿入

空白のページを挿入することができます。



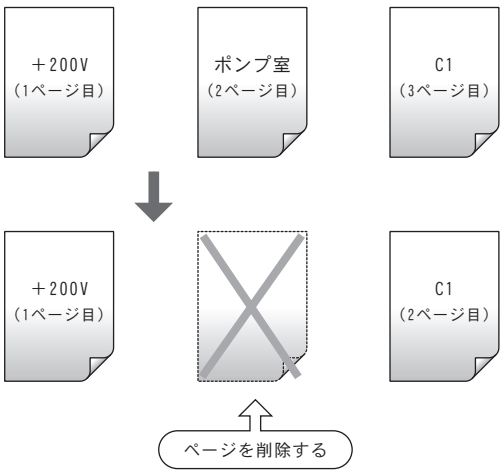
１ページ目と２ページ目の間に新しいページを挿入するときは、１ページ目の文末にカーソルを移動し、［Shift］＋［Enter］を押します。１ページ目と２ページ目の間に新しいページができて、新しいページの入力画面になります。

Memo

新しいページの［書式］や［スタイル］などの各設定は、直前のページの設定と同じになります。

■ ページの削除

特定のページを削除することができます。



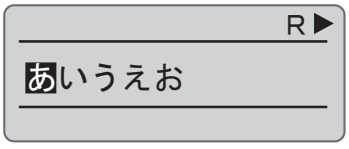
削除したいページの文字を［Back Space］で全て消してから、
［Shift］＋［Back Space］を押します。

■ カーソルの移動

カーソルを前後のページに移動することができます。

前ページへの移動

● ［Shift］＋［◀］を押す。



カーソルが前ページの先頭に移動する。

次ページへの移動

● ［Shift］＋［▶］を押す。



カーソルが次ページの先頭に移動する。

Part 4
一歩進んだ操作

ここでは、文字や行の変更、文字データの保存、さまざまな印刷について説明します。

4-1 文字や行数を変える…… 68
■文字の大きさを変える…… 68
■文字と文字の間隔を変える…… 69
■６と９に下線をつける…… 70
■文字に枠をつける…… 71
■２行で印字する…… 72

4-2 文字データの保存、呼び出し、削除… 75
■ファイル…… 75
■文字データを保存する…… 76
■文字データを呼び出す…… 78
■文字データを削除する…… 79

4-3 いろいろな印刷…… 80
■印刷本数（枚数）…… 80
■印刷の向きを変える…… 82
■カット長や文字配置を変える…… 84
■特定のページを複数印刷する（連続印刷）…… 86
■連番を持つ文字データを入力して作成する（連番印刷）…… 88
■印字開始位置と縦位置を微調整する… 91
■印字濃度を調整する…… 93

4-4 カットのしかたを変える…… 94
■半切りと全切り…… 94
■半切りをしない…… 94

4-5 その他の操作…… 96
■印字媒体を取り出す…… 96
■ディスプレイの表示濃度を変える… 98
■すべての設定を初期値に戻す…… 99
■印刷速度を速くする…… 100

4-1 文字や行数を変える

印字文字の大きさを変える、文字と文字の間隔を広くする、２行で印字するなど、ここでは文字や行についてのさまざまな機能を説明します。

Memo
印字文字の大きさはページごとに変えることができます。

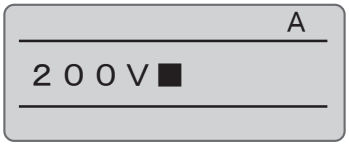
■ 文字の大きさを変える

印字文字の大きさや幅を変えることができます。印字できる文字の大きさと幅はつぎの６通りです。お買いあげ時は「３mm全角」文字になっています。

200V	２mm半角	200V	３mm半角	200V	６mm半角
２００V	２mm全角	２００V	３mm全角	２００V	６mm全角

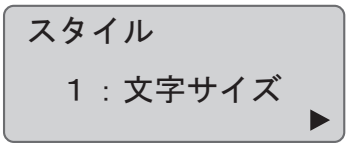
【例】文字を「３mm半角」にする。

1 文字を入力する。



2 [スタイル]を押す。

●機能の選択画面となる。



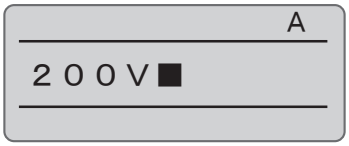
3 [◀]または[▶]を押して「１：文字サイズ」を選択し、[Enter]を押す。

●文字サイズの選択画面となる。



4 [◀]または[▶]を押して「３：３mm半角」を選択し、[Enter]を押す。

●文字入力画面に戻るので、このあと印刷する。



参考
選択（印字）できない文字サイズ

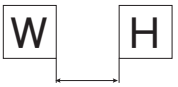
●文中に漢字があるときは「２mm」の文字サイズは選択できません。
●「半角」を選択しても漢字や記号は全角で印字されます。
●行数が２行のときは「６mm」の文字サイズは選択できません。
●カット長を自分で指定した場合、入力した文字データによっては文字サイズが選択できないことがあります。

Memo
印字文字の間隔はページごとに変えることができます。

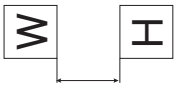
■ 文字と文字の間隔を変える

印字文字の間隔を変えることができます。印字できる文字間隔はつぎの３通りです。お買いあげ時は「小（標準）」になっています。

ポンプ室	小（標準）……文字間なし
ポンプ室	中（やや広い）……文字間 ０．５mm
ポンプ室	大（広い）……文字間 １．０mm



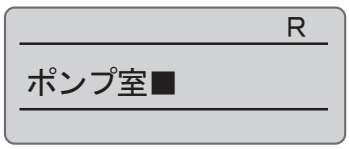
横書きの場合の文字間隔



縦書きの場合の文字間隔

【例】文字と文字の間隔を「大（広い）」にする。

1 文字を入力する。



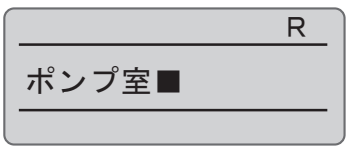
2 [スタイル]を押して[◀]または[▶]を押して[３：文字間]を選択し、[Ｅｎｔｅｒ]を押す。

●文字間の選択画面となる。



3 [◀]または[▶]を押して「３：大」を選択し、[Enter]を押す。

●文字入力画面に戻るので、このあと印刷する。



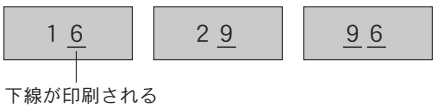
参考
選択（印字）できない文字間隔

●カット長を自分で指定した場合、入力した文字データによっては文字間隔が選択できないことがあります。

Memo
この機能はページごとに変えることはできません。

■ 6と9に下線をつける

数字の6と9は見る方向によっては、上下の区別が付きにくいことがあります。こうした見まちがいを防ぐために、6と9の下にアンダーラインを印刷することができます。お買いあげ時はアンダーラインを付けないようになっています。

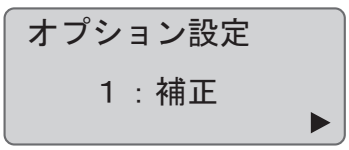


1 文字を入力する。



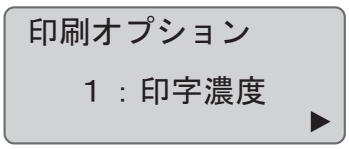
2 [オプション]を押す。

●機能の選択画面となる。

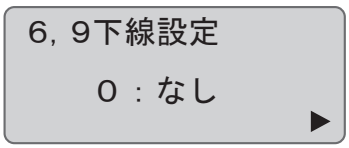


3 [◀]または[▶]を押して「2 : 印刷オプション」を選択し、[Enter]を押す。

●機能の選択画面となる。



4 [◀]または[▶]を押して「3 : 6, 9下線」を選択し、[Enter]を押す。



5 [◀]または[▶]を押して「1 : あり」を選択し、[Enter]を押す。

●文字入力画面に戻るので、このあと印刷する。



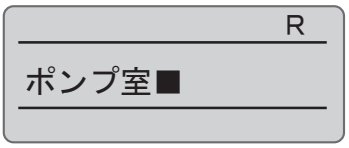
Memo
枠囲みはページごとに設定できます。

■ 文字に枠をつける

文字に枠をつけることができます。お買いあげ時は枠をつけないようになっています。

ポンプ室

1 文字を入力する。



2 [書式]を押す。

●機能の選択画面となる。

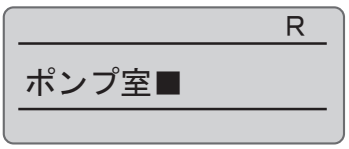


3 [◀]または[▶]を押して[2：枠囲み]を選択し、[Enter]を押す。



4 [◀]または[▶]を押して[1：あり]を選択し、[Enter]を押す。

●文字入力画面に戻るので、このあと印刷する。



参考

2行設定時の枠囲み

2行の文字（次ページ参照）に枠をつけると、文字サイズやカット長の設定などによっては枠が正しく印刷されないことがあります。また、1行であっても大きな文字サイズの文字に枠を付けたり、印字媒体の種類によっても枠が正しく印刷されない場合があります。

Memo
行数はページごとに変えることができます。

■ ２行で印字する

つぎのように文字を２行で印字することができます。お買いあげ時は１行で印字するようになっています。

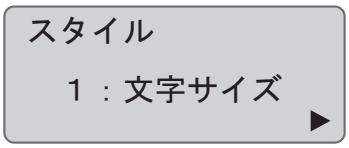
ご注意
チューブや6mmラベル、4mm I.D.Stripに２行で印字すると正しく印字できないことがあります。また、文字の大きさによっても正しく印字できないことがあります。

【例】つぎのようなラベルを作成する。

２行での印字	１行での印字
＋１２Ｖ －１２Ｖ	リレー

1 [スタイル]を押す。

●機能の選択画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「２：行数」を選択し、[Enter]を押す。

●行数の選択画面となる。



3 [◀]または[▶]を押して「２：２行」を選択し、[Enter]を押す。

●文字入力画面が２行になった。



Memo
「ａ」は英数字入力モード、「Ｒ」はローマ字入力モード、「ひ」はかな入力モードを示します。なお、[入力]を押しても「ａ→Ｒ→ひ」ではなく「Ａ→Ｒ→ひ」と表示される場合は、いったん[Caps Lock]を押してから操作してください。

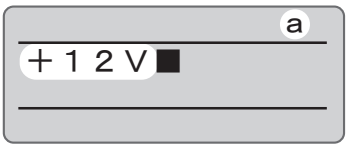
4 [入力]を押して英数字入力モードにする。



[入力]を押すたびに「ａ→Ｒ→ひ」の順に表示される。「ａ」が英数字入力モードなので「ａ」を表示する。

5 「＋１２Ｖ」と入力する。

●[Shift]＋[;]、[1]、[2]、[Shift]＋[V]の順番にキーボード入力する。



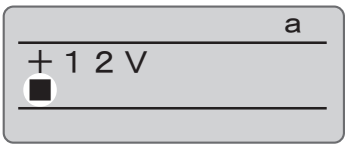
１行目に文字が入力される。

参考
２行で印字ができない

●選択している文字サイズによっては、２行印字が選択できないことがあります。

Memo
［▼］または［▶］ではなく、［Enter］を押すと改ページされてしまいます。

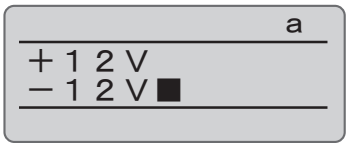
6 ［▼］または［▶］を押す。



カーソルが２行目に移動する。

7 「－１２Ｖ」と入力する。

● ［－］、［1］、［2］、［Shift］＋［V］の順番にキーボード入力する。



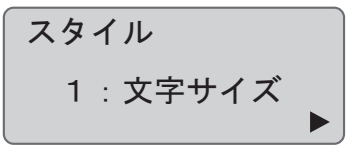
8 ［Enter］を押す。

● 新しいページが用意され、つぎの文字データ入力待ちとなる。



9 ［スタイル］を押す。

● ２つ目のラベルは１行に戻さなければならないので［スタイル］を押す。



10 ［◀］または［▶］を押して「２：行数」を選択し、［Enter］を押す。

● 行数の選択画面となる。



11 ［◀］または［▶］を押して「１：１行」を選択し、［Enter］を押す。

● 文字入力画面が１行になった。



Memo
ローマ字入力モードでは漢字、ひらがな、カタカナを入力できます。かな入力については「Part３ 文字入力」をごらんください。

12 ［入力］を押してローマ字入力モードにする。



「Ｒ」が表示されるまで［入力］を押す。

Memo
間違って入力したら
［Back Space］を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

13 「りれー」と入力する。

● ［R］、［I］、［R］、［E］、［－］の順番にキーボード入力する。



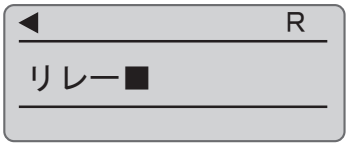
14 [Caps Lock]を押す。

●ひらがながカタカナに変換される。



15 [Enter]を押す。

●これで「リレー」が入力された。このあと印刷する。



参考

2行を1行に変更する

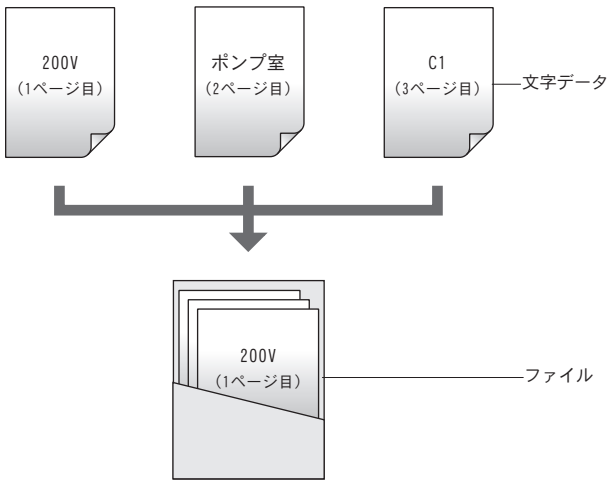
1行目と2行目の両方に文字を入力してから、行数を1行に変更することはできません。このときは、2行目の文字をすべて削除してから行数を[1行]に設定してください。

4-2 文字データの保存、呼び出し、削除

Memo
ファイルは最大２０ファイルまで保存することがきます。

■ ファイル

作成した文字データは本体内部のメモリに「ファイル」という形で保存することができます。ファイルを保存するときは、保存したいデータにファイル名をつけて保存します。また、一度保存したファイルを削除することもできます。



■ 文字データを保存する

作成した文字データをファイルの形で保存します。

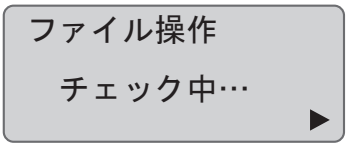
【例】作成した文字データを「スイッチ１」というファイル名で保存する。

Memo

文字データは合計して約7，500文字まで保存することができます。例えば、５０文字のデータを持つファイルをすでに1つ保存している場合は、残り約7，450文字の文字データを保存できるということになります。

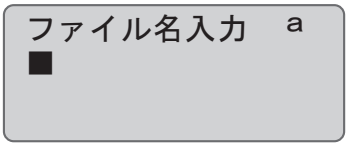
1 [ファイル]を押す。

●登録ファイルのチェック画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「１：保存」を選択し、[Enter]を押す。

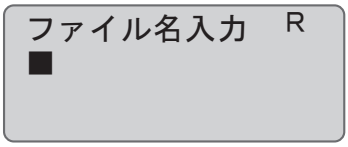
●ファイル名の入力画面となる。



Memo

ファイル名は８文字まで入力することができます。

3 [入力]を押してローマ字入力モードにする。



「Ｒ」が表示されるまで[入力]を押す。

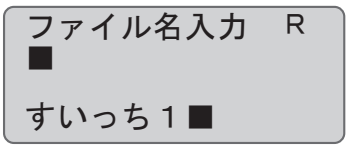
Memo

間違って入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

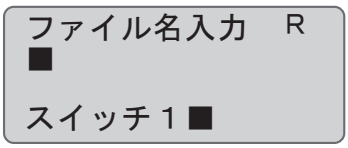
4 「すいっち１」と入力する。

●[S]、[U]、[I]、[T]、[T]、[I]、[1]の順番にキーボード入力する。



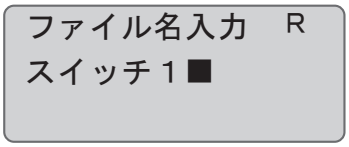
5 [Caps Lock]を押す。

●ひらがながカタカナに変換される。



6 [Enter]を押す。

●これで「スイッチ１」と入力された。



7 [Enter]を押す。

●右の保存画面が表示されたあと、文字入力画面に戻る。



重要 **保存中は電源を切らない**

ファイルの保存中に電源を切られるとデータが破損する恐れがあります。

参考 **最大２０ファイルまで保存できる**

最大２０ファイルまで保存できます。これを超えて保存しようとすると「空き容量不足、これ以上保存できません。」と表示されます。

参考 **ファイルの上書き**

すでに保存されているファイル名と同じ名前でファイルを保存しようとすると「同一ファイル名が存在します。上書きしますか？」と表示されます。上書きしてよいときは「Enter」を選択し、上書きせずに別の名前にするときは「取消」を選択してください。

■ 文字データを呼び出す

保存した文字データ（ファイル）の呼び出しには「新規呼び出し」と「追加呼び出し」の２種類があります。

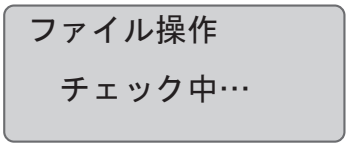
新規呼び出し
文字データ（ファイル）を呼び出すと、現在作成中のデータは消去され、呼び出した文字データと入れ替わります。

追加呼び出し
呼び出した文字データ（ファイル）は、現在作成中のデータの最後に追加されます。

【例】「スイッチ１」というファイル名で保存されている文字データを、現在表示されている文字データに追加する。

1 [ファイル]を押す。

●登録ファイルのチェック画面となる。

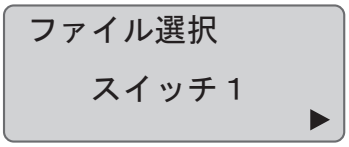


2 [◀]または[▶]を押して「２：呼出し」を選択し、[Enter]を押す。



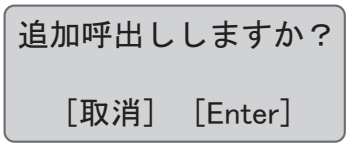
3 [◀]または[▶]を押して「２：追加」を選択し、[Enter]を押す。

●ファイル名の選択画面となる。



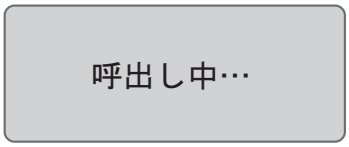
4 [◀]または[▶]を押して「スイッチ１」を選択し、[Enter]を押す。

●追加呼び出し確認画面となる。



5 [Enter]を押す。

●右の画面が表示されたあと、呼び出した文字データの最終ページが表示される。



Memo

ファイルが１つも保存されていないときは、「ファイルがありません」と表示され、文字入力画面に戻ります。
データの大きさにより、追加呼び出しできないファイルには、ファイル名の後に＊が表示されます。

■ 文字データを削除する

保存した文字データ（ファイル）を削除します。削除には「１ファイル」、「全ファイル」の２つがあります。

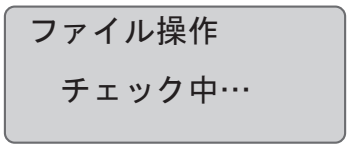
１ファイル
１ファイルのみを削除します。

全ファイル
ファイルを全部削除します。

【例】「スイッチ１」というファイルを削除する。

1 [ファイル]を押す。

●登録ファイルのチェック画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「３：削除」を選択し、[Enter]を押す。

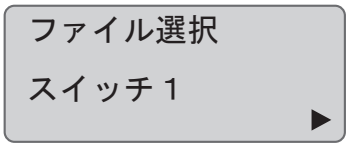
●削除の選択画面となる。



Memo
ファイルが１つも保存されていないときは、「ファイルがありません」と表示され、文字入力画面に戻ります。

3 [◀]または[▶]を押して「１：１ファイル」を選択し、[Enter]を押す。

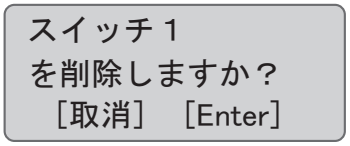
●ファイル名の選択画面となる。



Memo
「全ファイル」を選択したときは、「すべてのファイルを削除しますか？」と表示されますので[Enter]を押します。

4 [◀]または[▶]を押して「スイッチ１」を選択し、[Enter]を押す。

●ファイル削除確認画面となる。



5 [Enter]を押す。

●右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻る。

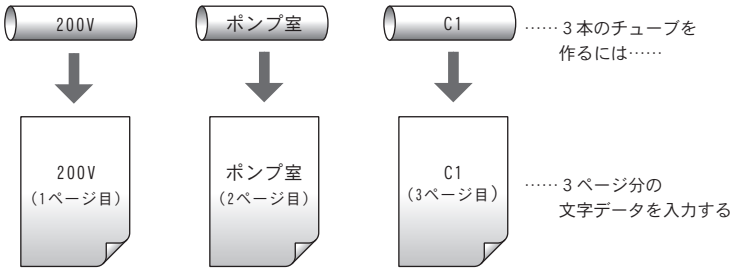


4-3 いろいろな印刷

Memo
印刷本数は最大で１０本（枚）まで印刷することができます。

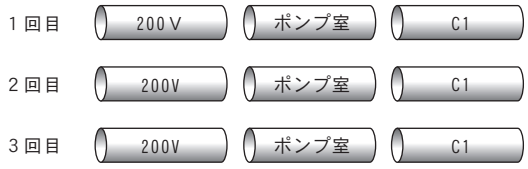
■ 印刷本数（枚数）

印刷本数（枚数）は１～１０本（枚）を指定できます。例えば、３本のチューブを作るためにつぎのような文字データを入力したとします。



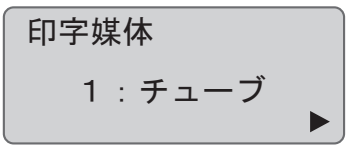
【例】チューブ（Φ３．０mm）に３回印刷する。

このとき印刷本数（枚数）を「３」にセットするとつぎのようなチューブが印刷されます。つまり、３ページ分の文字データが３回にわたって印刷され、合計９本のチューブが作成されます。



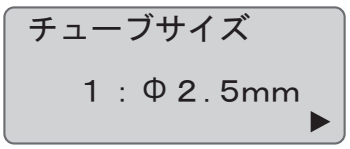
1 [印刷／印刷設定]を押す。

●印字媒体の選択画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「１：チューブ」を選択し、[Enter]を押す。

●チューブサイズの選択画面となる。



3 [◀]または[▶]を押して「：Φ３．０mm」を選択し、[Enter]を押す。

●印刷本数の設定画面となる。



4 印刷する本数[3]を押して[Enter]を押す。

●先端位置の確認画面となる。



5 セットされているチューブの先端位置を確認して[◀]または[▶]を押して先端位置を設定し、[Enter]を押す。

●印刷が始まる。



Memo

セットされているチューブの先端が搬送ローラ２側にある場合は「入口側」を、カッタ側にある場合は「出口側」を選択してください。

Memo

印刷を中止するときは？

[取消]を押すと、「印刷を中止します。」の表示がされ、印字が途中で中断されます。このとき、チューブはカット後、排出されます。

Memo
印刷の向きはページごとに変えることができます。

Memo
セットする印字媒体のサイズや印字文字の大きさによっては正しく印字できないことがあります。

■ 印刷の向きを変える

印刷の向きを変えてつぎのような印字をすることができます。

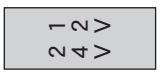
横置き/横書き



縦置き/縦書き



【例】つぎのようなラベルテープ（幅１２mm）を作る。



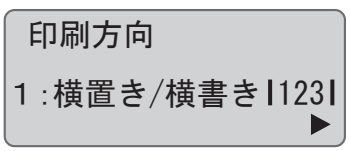
1 [書式]を押す。

●機能の選択画面となる。



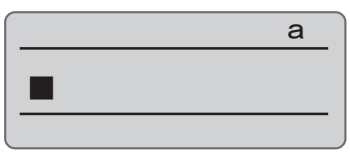
2 [◀]または[▶]を押して「１：印刷方向」を選択し、[Enter]を押す。

●印刷方向の選択画面となる。



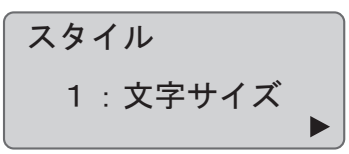
3 [◀]または[▶]を押して「２：縦置き/縦書き」を選択し、[Enter]を押

●文字入力画面となった。



4 [スタイル]を押す。

●２行にしなければならないので[スタイル]を押す。



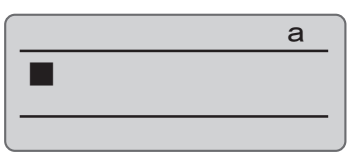
5 [◀]または[▶]を押して「２：行数」を選択し、[Enter]を押す。

●行数の選択画面となる。



6 [◀]または[▶]を押して「２：２行」を選択し、[Enter]を押す。

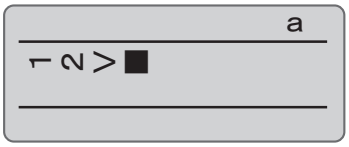
●文字入力画面が２行になった。



「ａ」が表示されるまで「入力」を押す。

7 「１２Ｖ」と入力する。

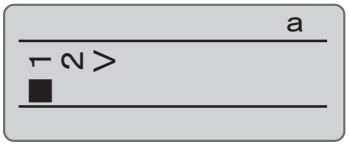
●[1]、[2]、[Shift]＋[V]の順番にキーボード入力する。



入力した文字が横に倒れて表示されることを確認する。

8 [▼]または[▶]を押す。

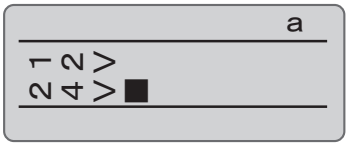
●■（カーソル）が２行目に移動する。



Memo
[▼]または[▶]ではなく、[Enter]を押すと改ページされてしまいます。

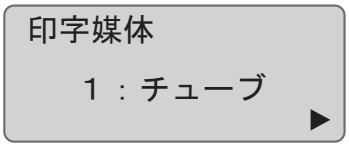
9 「２４Ｖ」と入力する。

●[2]、[4]、[Shift]＋[V]の順番にキーボード入力する。



10 [印刷／印刷設定]を押す。

●印字媒体の選択画面となる。



11 [◀]または[▶]を押して「４：ラベル」を選択し、[Enter]を押す。

●ラベルテープサイズ（幅）の選択画面となる。



12 [◀]または[▶]を押して「３：１２ｍｍ」を選択し、[Enter]を押す。

●印刷本数の設定画面となる。



13 [Enter]を押す。

●先端位置の確認画面となる。



14 セットされているラベルの先端位置を確認して[◀]または[▶]を押して先端位置を設定し、[Enter]を押す。

●印刷が始まる。



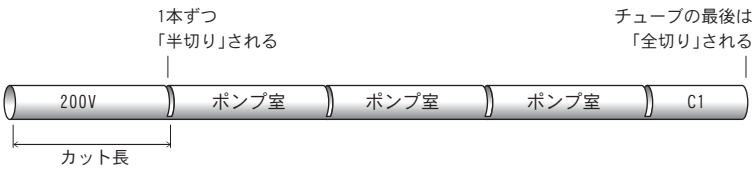
Memo
セットされているラベルの先端が搬送ローラ２側にある場合は「入口側」を、カッタ側にある場合は「出口側」を選択してください。

Memo
カット長や文字配置はページごとに変えることができます。

Memo
使用する印字媒体の材質や使用環境などによって、カット長や余白はセットした数値から多少ズレることがありますので、あくまでも目安としてください。特に、チューブの場合は材質によって大きくズレることがあります。なお、ズレを調整するときは「印字開始位置と縦位置を微調整する」（91ページ）をごらんください。

■ カット長や文字配置を変える

お買いあげ時の設定では、チューブやラベルテープは印字が終わると、1本（枚）ごとに「半切り」の状態で排出されます。半切りされた1本分の長さを「カット長」といい、カット長の設定は「自動」と「指定」のいずれかを選ぶことができます。一方、チューブやラベルテープに印字される文字の位置を「文字配置」といい、中央に印字する「センタリング」と左端から詰めて印字する「左寄せ」があります。



自 動

入力した文字数、文字の大きさ、文字の間隔から最適のカット長が自動的に選択されます。文字配置は「センタリング」となります。お買いあげ時の設定です。

文字数、文字の大きさ、文字間によってチューブの長さが自動的に決まるため、文字数が異なると長さも変わります。

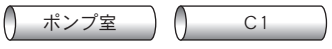


指 定

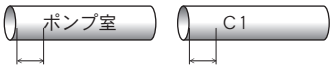
カット長を自分で指定します。カット長の指定は、８～１５０mmの範囲を１mm単位で設定することができます。例えば、文字数が４文字のチューブと２文字のチューブを作成する場合、「自動」の設定では２文字チューブの方が短くカットされてしまいます（上図）。このような場合、「指定」を選んで４文字チューブのカット長をセットしておけば、２文字チューブも４文字チューブも同じ長さにできます。文字配置は「センタリング」と「左寄せ」のいずれかを選択します。

カット長を指定すれば文字数が変わってもチューブの長さを同じにできます。

●文字配置が「センタリング」の場合



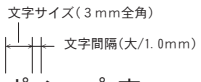
●文字配置が「左寄せ」の場合



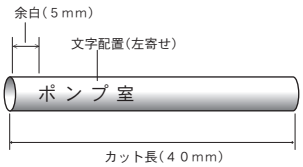
「左寄せ」を選択した場合は、左端から文字の先頭までの「余白」も指定してください。

【例】つぎの文字データをカット長を４０mm、文字配置は「左寄せ」、
余白は５mmで印字する。

文字データ

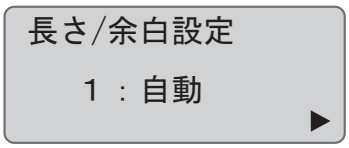


仕上がり図



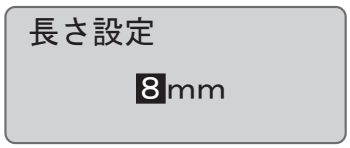
1 [長さ／余白]を押す。

●カット長の選択画面となる。



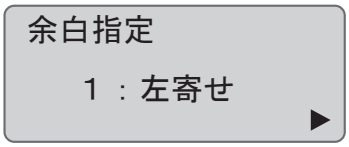
2 [◀]または[▶]を押して「２：指定」を選択し、[Enter]を押す。

●カット長の入力画面となる。



3 「４０」（カット長）と入力して、[Enter]を押す。

●文字配置の選択画面となる。



4 [◀]または[▶]を押して「１：左寄せ」を選択し、[Enter]を押す。

●余白値の入力画面となる。

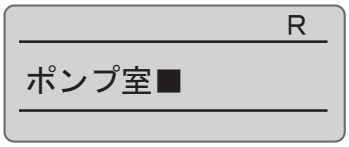


5 「５」（余白）を入力して、[Enter]を押す。

●文字入力画面に戻る。



6 文字データを入力し、印刷操作をする。



Memo
長さは、８～１５０mmまで設定できます。

Memo
余白は、左寄せのみ２～５mmまで設定できます。

Memo
入力されている文字データによっては設定できない長さがあります。表示されるメッセージの範囲内で設定してください。

Memo

連続印刷回数はページごとに１～１０まで設定できます。

■ 特定のページを複数印刷する（連続印刷）

例えば、つぎのようなチューブを作るとします。



図１

このようなときは、つぎのような文字データを作成して２ページ目「ポンプ室」の文字データだけを３本（３回）印刷します。このように、特定のページを複数回印刷することを「連続印刷」といいます。

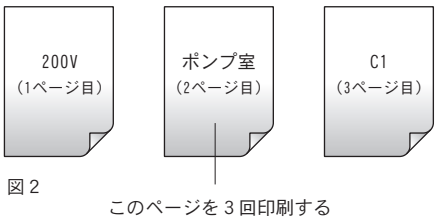
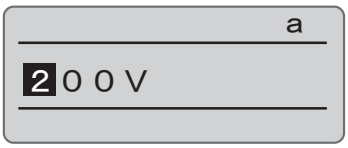


図２

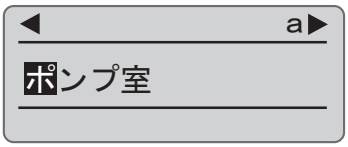
【例】図１のチューブを作成する。

1 文字データを入力する。



2 連続印刷したいページを表示する。

● ［Shift］＋［◀］または［Shift］＋［▶］を押して「ポンプ室」が入力されている画面を表示する。



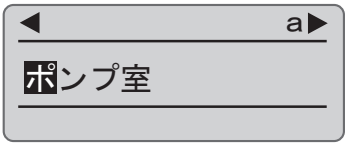
3 ［連続］を押す。

●連続印刷回数の入力画面となる。



4 「３」（連続印刷回数）を入力し、[Enter]を押す。

●文字入力画面に戻る。



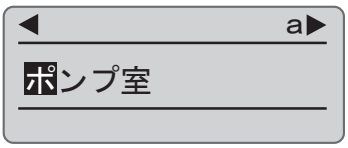
5 印刷操作をする。

参考

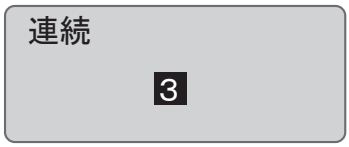
連続印刷をやめる

連続印刷を解除するときはつぎのようにします。

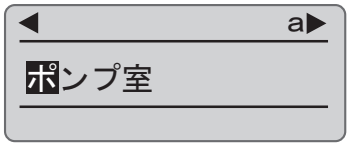
1. 連続印刷をやめたいページを表示する。



2. [連続]を押す。
● 連続印刷回数の入力画面となる。



3.「１」を入力し[Enter]を押す。
● 文字入力画面に戻る。
これで連続印刷は解除された。



参考

連続印刷の設定は新規ページにも適用される

前ページの図２を見てください。「ポンプ室」のページではなく、「Ｃ１」のページに連続印刷の設定をしたとします。その後、「Ｃ１」ページのあとにページを作ると、新しくできたページには自動的に「Ｃ１」ページと同じ連続印刷設定が適用されます。

Memo
連番は１ページに１ヶ所のみ設定できます。

■ 連番を持つ文字データを入力して作成する（連番印刷）

例えば、つぎのようなチューブを作るとします。



図１

このように、文字データ中で１つずつ増加（減少）している部分（１～９の数字部分）を「連番部」といいます。一方、文字データの中で共通している部分を「共通部」といいます（図２）。

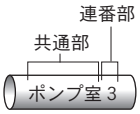


図２

図１のように連番部を持つチューブを印字するときは、わざわざ「ポンプ室１」～「ポンプ室９」のデータを９ページにわたって作成する（図４）のではなく、図３のように共通部と連番部に分かれた文字データを１ページだけを入力することによって９ページ分の自動作成ができます。

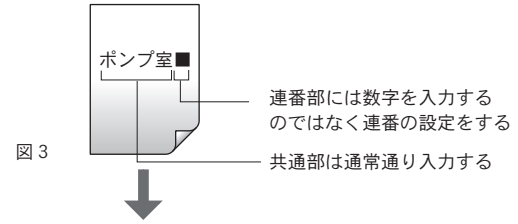


図３

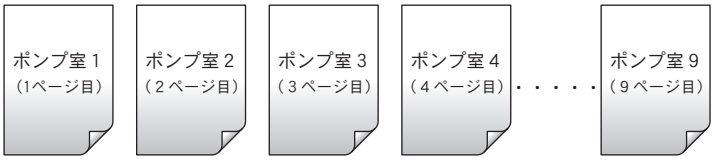
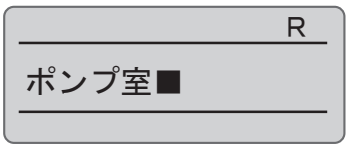


図４

【例】図１のチューブを作成する。

1 「ポンプ室」と入力する。

●共通部の入力ができた。



2 [連番]を押す。

●連番設定の画面となる。



Memo

「１０進数」の連番のほかに「１６進数」やアルファベットによる連番を設定することもできます。くわしくは、参考「いろいろな連番印刷」(次ページ)をごらんください。

Memo

間違って入力したら

[Back Space]を押して削除し、正しい文字を再入力してください。

Memo

降順の連番設定

例えば「開始値」に「9」を入力し、「終了値」に「5」を入力すると、9、8、…6、5のような降順の連番を設定できます。

3 [◀]または[▶]を押して「１０進」を選択し、[Enter]を押す。

- １０進数の連番設定画面となる。
- 連番の開始値と終了値の設定画面となる。



4 [▲]または[▼]を押して「開始値」を選択し、「１」を入力する。

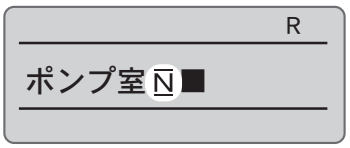


5 [▲]または[▼]を押して「終了値」を選択し、「９」を入力する。



6 [Enter]を押す。

- 連番部の入力ができた。



7 [Enter]を押す。

- 「ポンプ室１」～「ポンプ室９」まで９ページ分が自動作成できた。



8 印刷操作をする。

参考

いろいろな連番印刷

つぎのようないろいろな連番印刷をすることができます。連番印刷の方法は前ページの操作３で選択します。

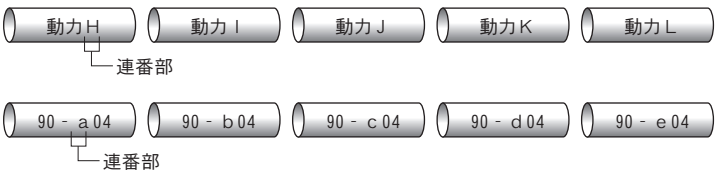
連番部が１０進数の場合 → 操作３で「１０進」を選択する。



連番部が１６進数の場合 → 操作３で「１６進」を選択する。



連番部がアルファベットの場合 → 操作３で「Ａ～Ｚ」または「ａ～ｚ」を選択する。



参考

連番の変更と削除

- 連番をやめたいときは「N」(連番部)を [Back Space] で消します。
- 連番設定を変更したいときは「N」にカーソルを合わせて [連番] を押します。
- 連番部の後に共通の文字入力するときには [Enter] を押す前に「N」の後に文字を入力します。

参考

複数ページの印刷

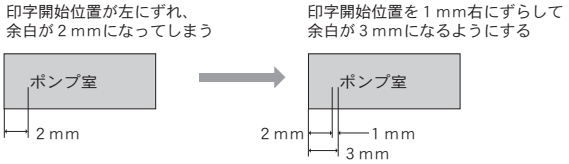
入力データが複数ページにわたり、文字を削除したなどにより未入力のページがある場合は、未入力のページは空送り（空白を印字）します。

Memo
印字開始位置は印字媒体ごとに設定することができます。

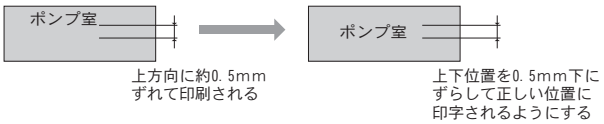
■ 印字開始位置と縦位置を微調整する

印刷時、印字媒体の種類やサイズを正しく選択しているにもかかわらず、使用環境や印字媒体の材質、サイズによっては、以下のケースのように、印字開始位置や縦位置がずれて、文字を正しい位置に印字できない場合があります。このようなとき、印字位置をわずかに上下・左右にずらすことができます。

《ケース１》
文字配置を「左寄せ」、余白３mmで設定したが、印字すると余白が２mmになる。



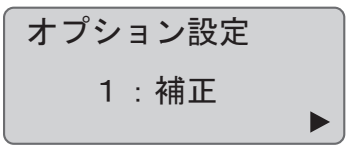
《ケース2》
縦位置が上方向に約０.５mmずれてしまう。



【例】ラベルテープ（幅１２mm）に印字したときに、上記の「ケース１」「ケース２」の現象が同時に発生した。これを調整する。

1 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。まず、印字開始位置を１mm右にずらす設定をする。



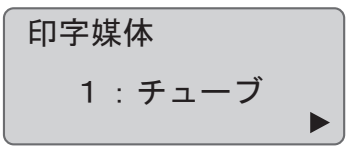
2 [◀]または[▶]を押して「１：補正」を選択し、[Enter]を押す。

● 補正の選択画面となる。



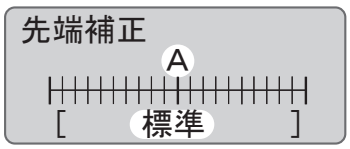
3 [◀]または[▶]を押して「１：先端」を選択し、[Enter]を押す。

● 印字媒体の選択画面となる。



4 [◀]または[▶]を押して「４：ラベル」を選択し、[Enter]を押す。

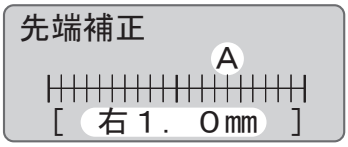
● 補正値の設定画面となる。



Memo
[◀]を押すと印字開始位置を左方向に調整できます。

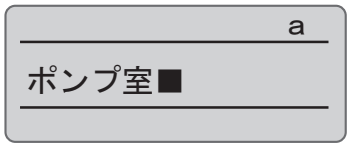
5 [▶]を４回押して「右　１．０mm」を表示する。

● [▶]を押すたびに０．２５mmずつ数値が上がる。



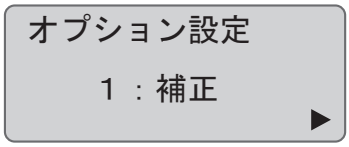
6 [Enter]を押す。

● 文字入力画面に戻る。これで印字開始位置が右に１mmずれた。つぎに、縦位置を下に０．５mmずらす設定をする。



7 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。



8 [◀]または[▶]を押して「１：補正」を選択し、[Enter]を押す。

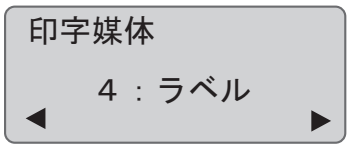
● 補正の選択画面となる。



Memo
縦位置は印字媒体ごとに設定することができます。

9 [◀]または[▶]を押して「２：高さ」を選択し、[Enter]を押す。

● 印字媒体の選択画面となる。



Memo
印字媒体が4mm I.D.Strip、ラップアラウンドテープのときはサイズの選択はスキップされます。

10 [◀]または[▶]を押して「４：ラベル」を選択し、[Enter]を押す。

● ラベルサイズの選択画面となる。



Memo
[▲]を押すと縦位置を上方向に調整できます。

11 [◀]または[▶]を押して「３：１２mm」を選択し、[Enter]を押す。

● 補正値の設定画面となる。



12 [▼]を２回押して「下０．５mm」を表示する。

● [▼]を押すたびに０．２５mmずつ数値が下がる。



13 [Enter]を押す。

● 文字入力画面に戻る。これで縦位置が下に０．５mmずれた。

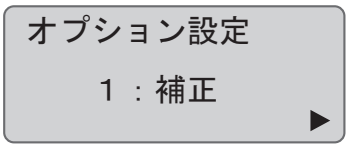
■印字濃度を調整する

使用環境や印字媒体の材質によって、印字が薄すぎたり濃すぎたりする場合があります。このようなときは印字濃度を調整してください。印字濃度は５段階に調整できます。

【例】チューブの印字が薄いので印字濃度が最も濃くなるように調整する。

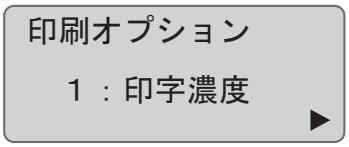
1 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「２：印刷オプション」を選択し、[Enter]を押す。

● 機能の選択画面となる。



3 [◀]または[▶]を押して「１：印字濃度」を選択し、[Enter]を押す。

● 印字濃度の選択画面となる。



4 [▶]を２回押して「５」を選択する。

● 印字濃度「１」を選択すると印字は最も薄くなり、「５」を選択すると最も濃くなる。



5 [Enter]を押す。

● 文字入力画面に戻る。これで印字濃度が最も濃くなった。

Memo

[◀]を押すと印字濃度が薄くなります。

4-4 カットのしかたを変える

■ 半切りと全切り

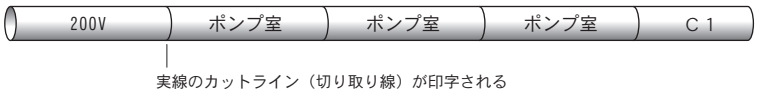
印字が終わって排出されたチューブを見るとひとつひとつに切り込みが入っているのがわかります。手でちぎって簡単にバラバラにすることができるので大変便利。もちろん、ラベルテープの場合でも同じです。切り込み部から一枚一枚きれいにはがすことができます。この切り込みを「半切り」といいます。また、チューブやラベルテープの最後は完全に切断されます。これを「全切り」といいます。



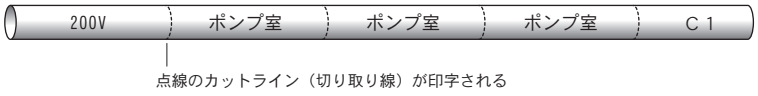
■ 半切りをしない

半切りをやめて、そのかわりにカットライン（切り取り線）を印字することができます。カットラインは「実線」と「点線」のいずれかを選択することができます。また、「半切りもしない、カットラインも印字しない」という設定も可能です。

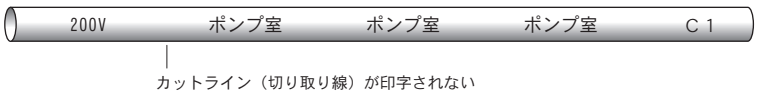
「半切りなし、カットライン実線」の場合



「半切りなし、カットライン点線」の場合



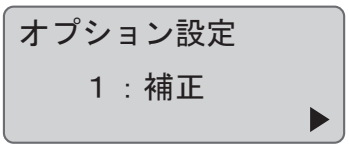
「半切りなし、カットラインなし」の場合



【例】半切りをせず、カットライン（点線）を印字する。

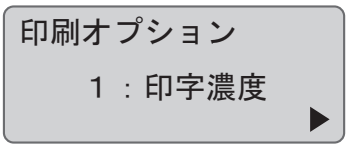
1 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。



2 [◀]または[▶]を押して「２：印刷オプション」を選択し、[Enter]を押す。

● 機能の選択画面となる。



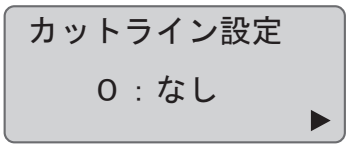
3 [◀]または[▶]を押して「２：半切り設定」を選択し、[Enter]を押す。

● 半切りの選択画面となる。



4 [◀]または[▶]を押して「０：なし」を選択し、[Enter]を押す。

● カットラインの選択画面となる。



5 [◀]または[▶]を押して「２：点線」を選択し、[Enter]を押す。

● 文字入力画面に戻る。
これでカットラインが点線になった。



4-5 その他の操作

■印字媒体を取り出す

チューブからラベルテープに、ラベルテープからチューブに印字媒体を交換するときは、いったんセットされているものを取り出してください。そのままの状態ではチューブやラベルテープが搬送ローラまで送り出されていて取り出すことはできません。まず、つぎの操作をし、送り出されているチューブやラベルテープを搬送ローラから解放してください。

Memo
ラップアラウンドテープ、4mm I.D.Strip、透明チューブでも操作は全く同じです。

1 [取出し]を押す。

● 確認画面が表示される。

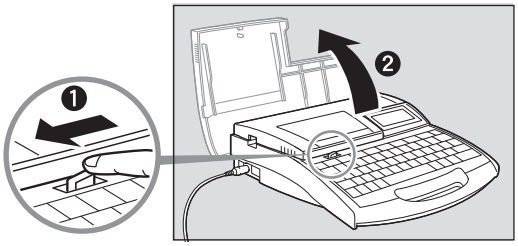


2 [Enter]を押す。

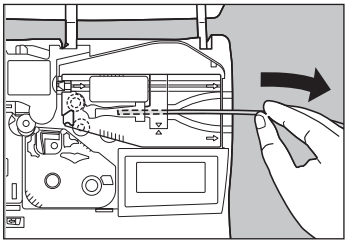
● チューブまたはラベルテープが搬送ローラから解放される。

Memo
[Enter]を押した後、プリンタの動作が止まっても、チューブまたはラベルテープが搬送ローラから解放されない（取り出せない）場合は、フィード機能を使います（「チューブやラベルテープが排出／搬送されないとき」（↗１０６ページ））。

3 カバーを開ける。

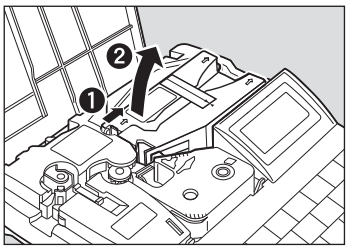


4 チューブを取り出す場合は、チューブアタッチメントからチューブを引き抜く。

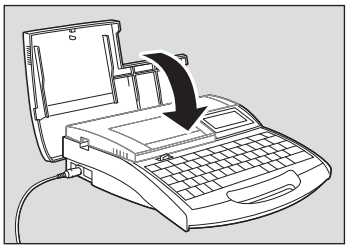


Memo
ラップアラウンドテープ、4mm I.D.Stripの場合はラベルテープカセットと同じ要領で、透明チューブの場合はチューブと同じ要領で操作します。

5 チューブアタッチメントまたはラベルテープカセットを本体から取り外す。



6 カバーを閉める。

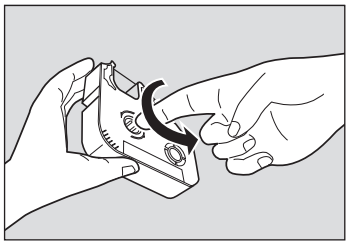


7 印字するための準備を行う。

● 印字媒体のセットのしかたについては「Ｐａｒｔ２　基本的な操作」をごらんください。

重要 **リボンがたるんでいないことを確認してください！**

チューブまたはラベルテープを取り出すとき、リボンカセットのリボンが巻き込まれてたるんでいる場合は、リボンのたるみを取ってください。



■ディスプレイの表示濃度を変える

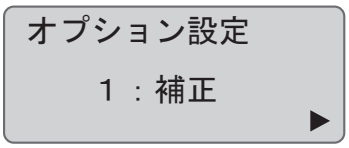
Memo
バックライトの明るさを変えることはできません。

ディスプレイは周囲の明るさや見る角度によって見えにくい場合があります。このような場合は、ディスプレイの表示濃度を調整してください。表示濃度は 9 段階に調整できます。

【例】表示が薄いので表示濃度を 2 段階濃くする。

1 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。



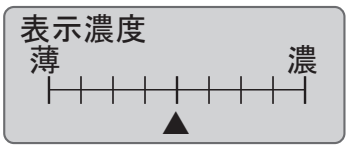
2 [◀]または[▶]を押して「1 : 補正」を選択し、[Enter]を押す

● 補正の選択画面となる。



3 [◀]または[▶]を押して「5 : 表示濃度」を選択し、[Enter]を押す。

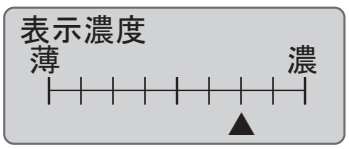
● 濃度の設定画面となる。



Memo
[◀]を押すと表示濃度が薄くなります。

4 [▶]を 2 回押して 2 段階濃くする。

● これで表示濃度が濃くなった。



5 [Enter]を押す。

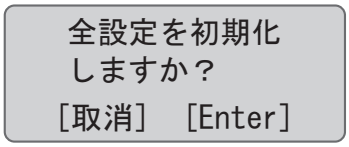
● 文字入力画面に戻る。

■ すべての設定を初期値に戻す

すべての設定をお買いあげ時の状態に戻す（初期化する）ことができます。

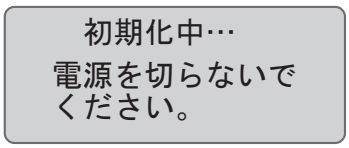
1 [全削除]を押しながら電源スイッチをＯＮにする。

● 初期化の確認画面となる。



2 [Enter]を押す。

● 右の画面が表示されたあと、文字入力画面に戻る。



参考

初期化すると保存ファイルが消えてしまいます！

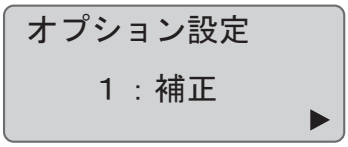
設定値を初期化すると工場出荷時の状態に戻ります。このため、作成中のデータやプリンタに保存してあるファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。

■印刷速度を速くする

印刷速度を速くすることができます。
ただし印刷速度が速いと、使用環境や材質により文字がかすれたりするなど正しく印刷が出来ないことがあります。印字確認を行ってから、印字してください。

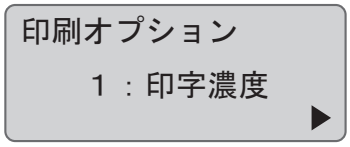
1 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。

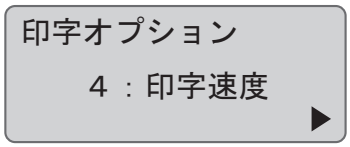


2 [◀]または[▶]を押して「2：印刷オプション」を選択し、[Enter]を押す。

● 機能の選択画面となる。

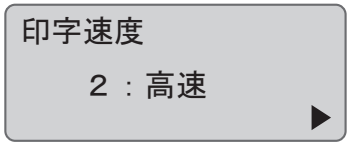


3 左右を押して、「印字速度」を選択し、[Enter]を押す。



4 左右を押して、「高速」を選択し、[Enter]を押す。

● これで印字速度が高速となった。



Memo
20℃以下の環境で印字速度を「高速」にし印字がかすれる場合は、印字速度を「標準」に設定してください。

参考

印字速度

印字速度設定は、低速/標準/高速、が選択できますが、実際の印字速度は媒体ごとに異なります。

(mm/S)

メディア	印字速度設定	カット有り	カット無し
チューブ 透明チューブ	低速	12.5	
	標準	18.5	
	高速	25	20
収縮チューブ 4mmID ラベル ラップアラウンド	低速	12.5	
	標準		
	高速	25	20

Part 5
メンテナンス

ここでは、チューブやラベルテープなどの印字媒体が詰まった場合の処理方法、カッタが切れなくなったときの対処法などについて説明します。

5-1 チューブやラベルテープが詰まったら… 102
- ■搬送エラーの対処（搬送エラーメッセージ表示あり）… 102
- ■その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）… 104
- ■チューブやラベルテープが排出/搬送されないとき…… 106

5-2 カッタが切れにくくなったら…… 107
- ■カットの深さを変える…… 107

5-3 カッタを交換する…… 109

5-4 カセットを交換する…… 112
- ■リボンカセットを交換する…… 112
- ■チューブやラベルテープカセットを交換する…… 113

5-5 お手入れ…… 114
- ■本体の清掃…… 114
- ■搬送ローラの清掃…… 114
- ■印字ヘッドの清掃…… 115
- ■チューブクリーナの清掃/交換…… 115

5-1 チューブやラベルテープが詰まったら

印字中にチューブやテープが詰まると、ディスプレイに「搬送エラー」メッセージが表示され、プリンタの動作が止まります。メッセージにしたがって、詰まったチューブやテープを取り除いてください。

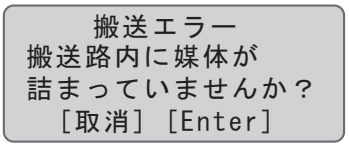
また、詰まっているのに「搬送エラー」メッセージが表示されなかったり、表示された後に電源を切るなどして、メッセージにしたがって操作することができない場合は、プリンタのフィード機能を使い、詰まった印字媒体を取り除きます。
「その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）」（104ページ）

■ 搬送エラーの対処（搬送エラーメッセージ表示あり）

チューブやテープが詰まって印字動作が止まり、「搬送エラー」メッセージが表示されたときは、つぎの手順にしたがって取り除きます。

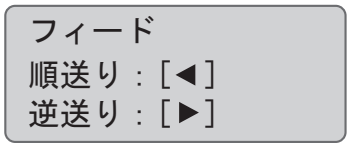
1 ディスプレイに「搬送エラー」メッセージが表示されていることを確認する。

- メッセージが表示されていないとき、または電源を切るなどして搬送エラーメッセーが消えてしまった場合は、「その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）」（104ページ）をごらんください。

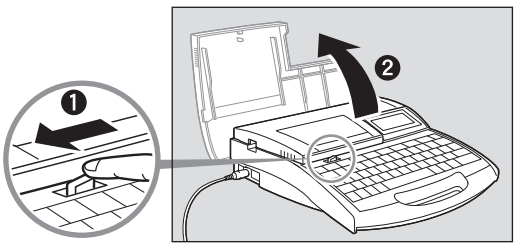


2 [Enter]を押す。

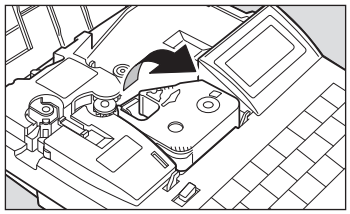
- フィードの画面が表示される。



3 カバーを開ける。



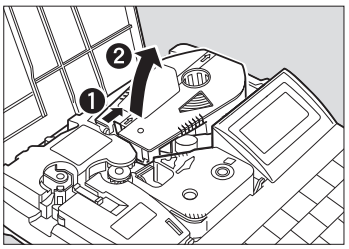
4 リボンカセットを本体から取り外す。リボンが巻きついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順5へ進む。



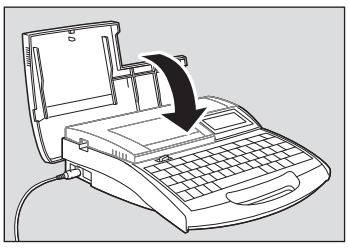
Memo

「取消」を選択すると、搬送エラーメッセージが消えて入力画面に戻り、詰まった印字媒体を取り除くための一連操作から抜けてしまいます。この場合は「その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）」（104ページ）をごらんください。

5 ラベルテープをセットしている場合は、取り外す。
テープがからみついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順6へ進む。

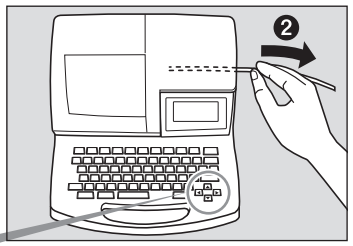


6 カバーを閉める。



7 [▶]を押し続け、チューブを逆送りしながら、印字媒体を引き抜く。
逆送りしても引き抜けないようであれば、[◀]を押して順送りする。

● [▶]や[◀]を押し続けている間は連続して逆送り／順送りされる。



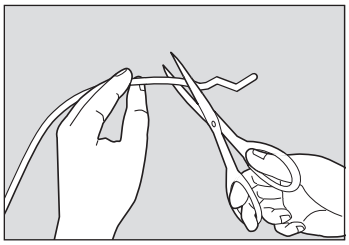


手順4でリボンカセットを取り外せなかった場合、および手順5でラベルテープを取り外せなかった場合は、カバーを開け、取り外せるかを確認する。
外せるときは取り外して、カバーを閉じる。
外せない場合はいったんカバーを閉じる。[▶]や[◀]を押し続け、再びカセットを取り出せることを確認する。取り出せるようになるまで、カバー開／閉および[◀]や[▶]押し下げを繰り返す。

8 [▶]逆送りと[◀]順送りを繰り返し、印字媒体を完全に引き抜く。

9 詰まって折れ曲がったり傷ついたりした部分、印字済みの部分がある場合は切り取る。

● 詰まった印字媒体を取り除く処理が終了した。



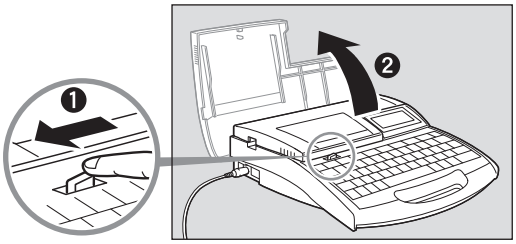
10 印字するための準備を行う（「Part2 基本的な操作」）。
カバーを開け、取り外したリボンカセットやチューブまたはラベルテープカセットをセットし、カバーを閉じる。
[取消]を押し、文字入力画面に戻る。

■ その他の詰まり対処（搬送エラーメッセージ表示なし）

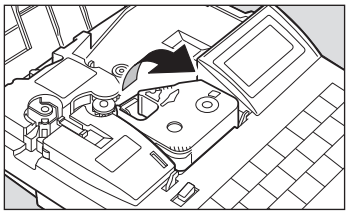
印字したチューブやテープが排出されなかったり、チューブやテープの交換時にうまく搬送されないとき、プリンタ内部のローラに巻きついて詰まっている場合があります。また「搬送エラー」メッセージの表示後に電源を切るなどして（メッセージが消えます）、メッセージにしたがって詰まりを解除できなくなったときは、プリンタのメンテナンスのフィード機能を使い、詰まった印字媒体を取り除くことができます。

1 印字中など、プリンタが動作している場合は、「ピピピッ」と音がするまで[取消]を押す。
プリンタの電源が切れている場合は、電源を入れておく。

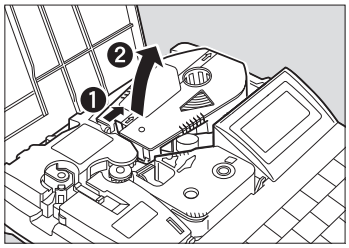
2 カバーを開ける。



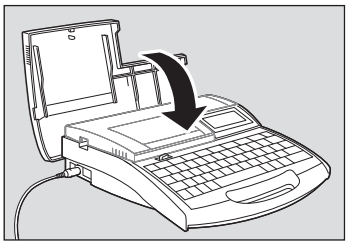
3 リボンカセットを本体から取り外す。
リボンが巻きついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順4へ進む。



4 ラベルテープをセットしている場合は、取り外す。
テープがからみついて取り外せない場合は無理に外さないで、手順5へ進む。

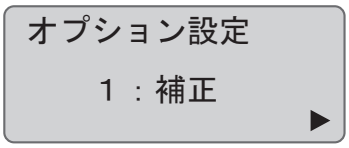


5 カバーを閉める。



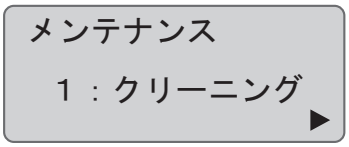
6 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。



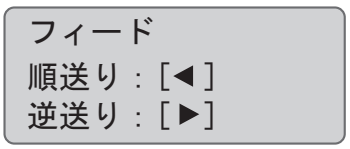
7 [◀]または[▶]を押して「3:メンテナンス」を選択し、[Enter]を押す。

● 機能の選択画面となる。



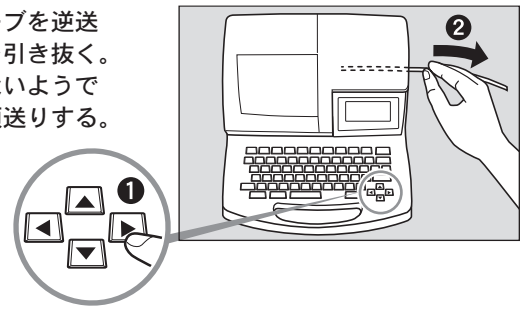
8 [◀]または[▶]を押して「3:フィード」を選択し、[Enter]を押す。

● 「順送り」と「逆送り」の操作方法が表示される。



9 [▶]を押し続け、チューブを逆送りしながら、印字媒体を引き抜く。逆送りしても引き抜けないようであれば、[◀]を押して順送りする。

● [▶]や[◀]を押し続けている間は連続して逆送り／順送りされる。

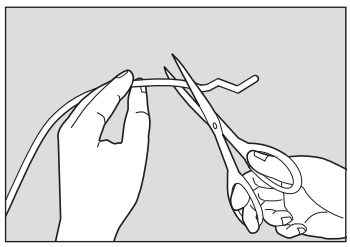


手順3でリボンカセットを取り外せなかった場合、および手順4でラベルテープを取り外せなかった場合は、カバーを開け、取り外せるかを確認する。外せるときは取り外して、カバーを閉じる。
外せない場合はいったんカバーを閉じる。[▶]や[◀]を押し続け、再びカセットを取り出せることを確認する。取り出せるようになるまで、カバー開／閉および[◀]や[▶]押し下げを繰り返す。

10 [▶]逆送りと[◀]順送りを繰り返し、印字媒体を完全に引き抜く。

11 詰まって折れ曲がったり傷ついたりした部分、印字済みの部分がある場合は切り取る。

● 詰まった印字媒体を取り除く処理が終了した。



12 印字するための準備を行う（「Part2 基本的な操作」）。
カバーを開け、取り外したリボンカセットやチューブまたはラベルテープカセットをセットし、カバーを閉じる。
[取消]を押し、文字入力画面に戻る。

Memo
例えば、次のようなときに、フィード機能を使います。
【例】
- 印字媒体を交換するとき、「取り出し」を実行しても、搬送ローラから印字媒体から解放されず取り出せないときに使う。
- 印字実行し、プリンタが動作しているのに印字物が排出口から出てこないときに使う。
この場合は、チューブやラベルテープがプリンタ内部で詰まっている可能性があるため、カバーを開けて詰まっているかを確認し、詰まっているときの対処に使う。「その他の詰まり対処(搬送エラーメッセージ表示なし)」(104 ページ)をご覧ください。

■ チューブやラベルテープが排出／搬送されないとき

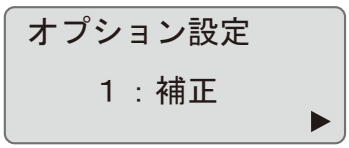
メンテナンスの「フィード」機能を使うと、プリンタにセットしたチューブやラベルテープを任意に搬送することができます。

ただし、この機能は、チューブやラベルテープが思った通りに排出／搬送されないなどの場合にお使いください。フィードし続けると、印字媒体を傷つけたり、リボンカセットのリボンを巻き込んで詰まりの原因になったりすることがあります。

1 **印字中など、プリンタが動作している場合は、「ピピピッ」と音がするまで[取消]を押す。プリンタの電源が入っている場合は、電源を入れておく。**

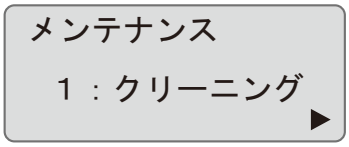
2 **[オプション]を押す。**

- 機能の選択画面となる。



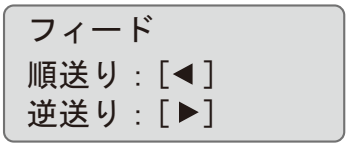
3 **[◀]または[▶]を押して「3:メンテナンス」を選択し、[Enter]を押す。**

- 機能の選択画面となる。



4 **[◀]または[▶]を押して「3:フィード」を選択し、[Enter]を押す。**

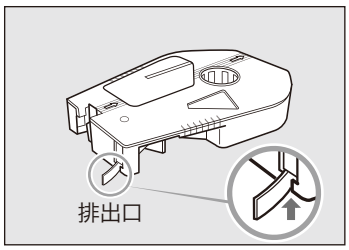
- 「順送り」と「逆送り」の操作方法が表示される。



5 **[◀]または[▶]を押し続け、任意の位置まで搬送する。**

重要 **ラベルテープの排出口にのりが付着していないことを確認してください！**

ラベルテープの排出口にのりが付着していると、ラベルテープが詰まる場合があります。カバーを開けてのりが付着していないことを確認し、のりが付着しているときは、のりを取ってください。

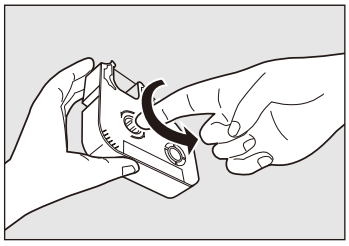


重要 **逆送りしすぎないで！**

逆送りしすぎるとラベルテープがカセットの中に入ってしまいます。「ラベルテープがカセットの中に入ってしまったら」(35ページ)をごらんください。

重要 **リボンがたるんでいないことを確認してください！**

逆送りすると、リボンカセットのリボンが巻き込まれてたるむ場合があります。カバーを開けてたるんでいないことを確認し、たるんでいるときは、たるみを取ってください。



5-2 カッタが切れにくくなったら

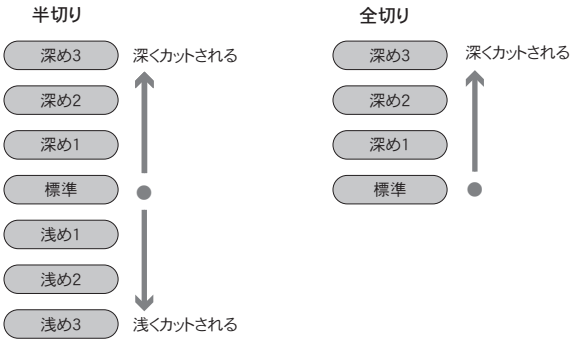
Memo
半切りが深すぎてチューブなどが完全に切断されてしまうような場合は、カットの深さを浅く調整します。

Memo
必要以上にカットの深さを深くするとカッタやカッタ受け台が早く消耗してしまいますのでご注意ください。

Memo
カッタ交換は、カッタ動作回数50,000回毎を目安におこなってください。カッタ動作回数の確認については「カッタ動作回数を記録する」(111ページ)をごらんください。

■ カットの深さを変える

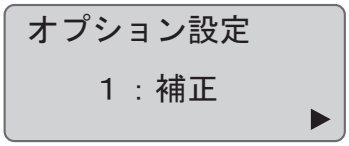
チューブやラベルテープがうまく切断されないときはカットの深さを変えてみてください。
カットの深さは「半切り」と「全切り」でそれぞれつぎのように調整することができます。
また、調整は印字媒体ごとに行うことができます。



【例】ラベルテープの全切りがうまく切れないので1段階カットを深くする。

1 [オプション]を押す。

● 機能の選択画面となる。



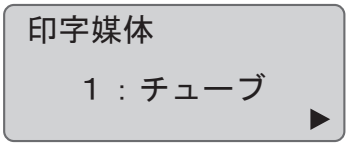
2 [◀]または[▶]を押して「1:補正」を選択し、[Enter]を押す。

● 補正の選択画面になる。



3 [◀]または[▶]を押して「4:全切り」を選択し、[Enter]を押す。

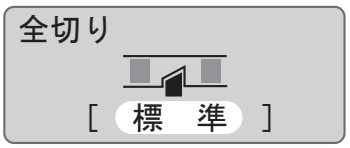
● 印字媒体の選択画面になる。



Memo
カットの深さは印字媒体ごとに設定することができます。

4 [◀]または[▶]を押して「4 : ラベル」を選択し、[Enter]を押す。

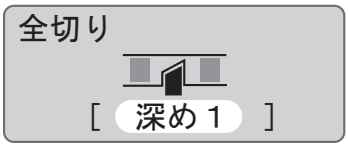
● 全切りの選択画面となる。



Memo
[▼]を押すとカットが1段階ずつ浅くなります。

5 [▲]を1回押して「深め1」を表示する。

● [▲]を押すたびにカットが1段階ずつ深くなる。



6 [Enter]を押す。

● 文字入力画面に戻る。これでカットの深さが1段階深くなった。

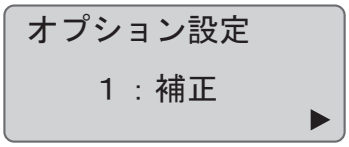


参考

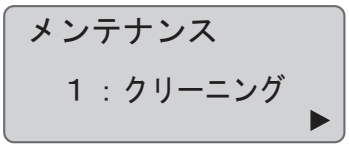
それでもカッタの切れが悪いときは（強制全切り）

何度もカット深さを調整したのにうまく全切りできない、というときは「強制全切り」を試してみてください。強制全切りを行うと、カッタはもっとも深い位置まで切り込みを行います。強制全切りをしてもなお切れない場合は、カッタを交換する必要があります。交換手順については「カッタを交換する」(109ページ)をごらんください。

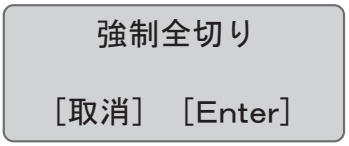
1. [オプション]を押す。
   ●機能の選択画面となる。



2. [◀]または[▶]を押して「3:メンテナンス」を選択し、[Enter]を押す。
   ●メンテナンスの選択画面が表示される。



3. [◀]または[▶]を押して「2:強制全切り」を選択し、[Enter]を押す。
   ●全切りの確認画面が表示される。



4. [Enter]を押す。
   ●全切りが行われる。

5-3 カッタを交換する

Memo
半切りのカット深さを最も浅く調整しているにもかかわらず、半切りが深すぎる場合はカッタ受け台が消耗している可能性があります。

Memo
カッタ交換は、カッタ動作回数50,000回毎を目安におこなってください。カッタ動作回数の確認については「カッタ動作回数を記録する」(111ページ)をごらんください。

「強制全切り」(前ページ)を行ってもチューブやラベルテープがうまく切断されないときはカッタを交換してください。カッタを交換するときは「カッタ受け台」も必ずいっしょに交換してください。交換カッタについてはお求めの販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意 手順を守って!

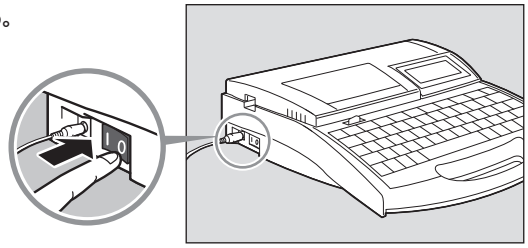
カッタは直接触ることができないような構造になっていますが、取り扱いを誤ると刃が露出してケガをするおそれがあります。本書に記載されていない操作は絶対にしないでください。また、必ず手順通りに操作を行ってください。

不要となったカッタはすぐに処分して

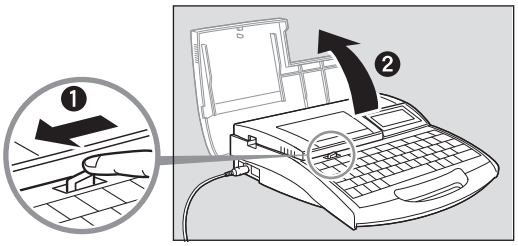
交換した部品は放置せずすぐに処分してください。幼児の手などに触れるとケガをするおそれがあります。

1 電源スイッチをOFFにする。

● 「○」側を押す。

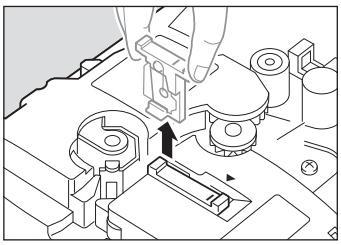


2 カバーを開ける。



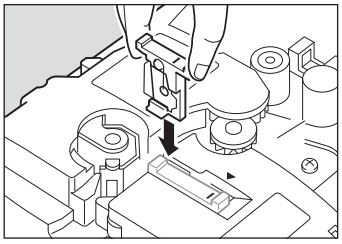
3 カッタを引き出す。

● 取り出したカッタはすぐに処分する。

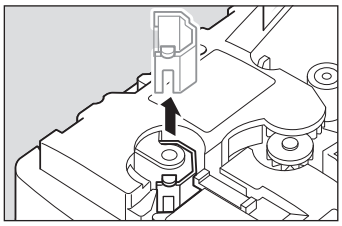


4 新しいカッタをセットする。

● 向きに注意して、カッタの ー (ライン)を ◀ マークに合わせて、奥に突き当たるまで差し込む。

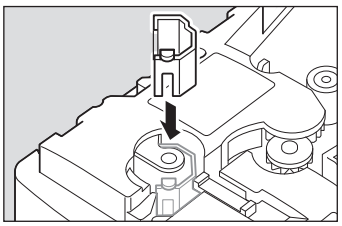


5 カッタ受け台を引き出す。

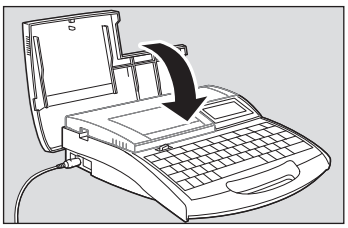


6 新しいカッタ受け台をセットする。

- 向きに注意して、奥に突き当たるまで差し込む。

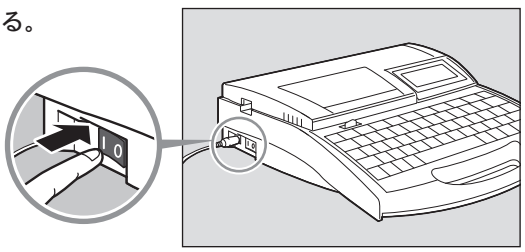


7 カバーを閉める。



8 電源スイッチをＯＮにする。

- 「｜」側を押す。



9 半切りと全切りの補正値を標準に戻す。

10 カッタ動作回数を記録する。

- くわしくは「カッタ動作回数を記録する」（111ページ）をごらんください。

重要 **カッタを交換したら**

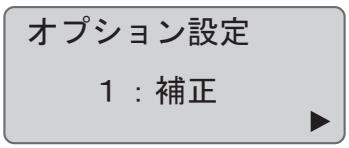
「半切り」と「全切り」の補正値を必ず標準に戻してください。正しくカットができないばかりでなく、カッタやカッタ受け台が消耗してしまいます。

参考

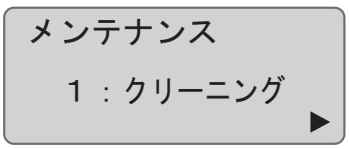
カッタ動作回数を記録する

カッタを交換したときは、カッタ動作回数を次のような手順で確認して、本書の「カッタ動作記録」へ記録してください。(「カッタ動作記録」140ページ)

1. [オプション]を押す。
   ●機能の選択画面となる。



2. [◀]または[▶]を押して「3 :メンテナンス」を選択し、[Enter]を押す。
   ●メンテナンスの選択画面が表示される。



Memo
カッタを外している場合でもカッタ動作をおこないカウントアップします。

3. [◀]または[▶]を押して「4: 動作記録」を選選択し、[Enter]を押す。
   ●動作記録の確認画面が表示される。



4. カッタ動作回数を記録したあと、[取消]を押す。
   ●文字入力画面に戻る。

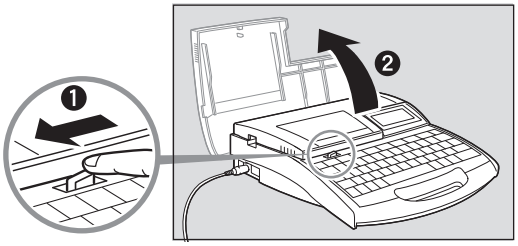
5-4 カセットを交換する

■ リボンカセットを交換する

印字中に「リボン終了」のメッセージが表示されたら、つぎのようにしてリボンカセットを交換してください。交換リボンカセットについてはお求めの販売店にお問い合わせください。

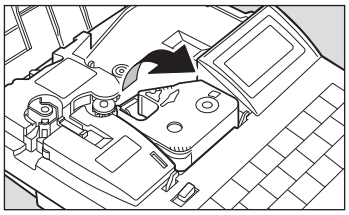
Memo
使用済みのリボンカセットは、ビニール袋などに入れ、地域の条例にしたがって廃棄してください。

1 カバーを開ける。



2 リボンカセットを取り出す。

- 手前に引くようにして取り外す。

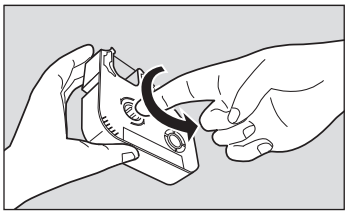


Memo
リボンがたるんでいるとリボン有無の判断ができません。必ず、たるみを取ってください。

Memo
外したストッパは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

3 新しいリボンのたるみを取る。

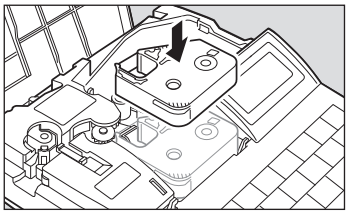
- ストッパを外してから、リボンのたるみを取る。



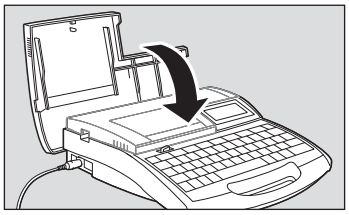
Memo
リボンカセットが浮いているとリボン有無の判断ができません。カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

4 新しいリボンカセットをセットする。

- カチッと音がするまでしっかりと押す。



5 カバーを閉める。



6 [Enter]を押す。

- 中断されたページの次のページから印字が再開される。

注意 **ＩＣチップには触らないで！**
リボンカセットのＩＣチップには触らないでください。リボンカセットの情報が読み取れなくなることがあります。

■ チューブやラベルテープカセットを交換する

つぎのようにしてチューブまたはラベルテープカセットを取り出し、新しいものをセットしてください。なお、チューブやラベルカセットについてはお求めの販売店にお問い合わせください。

Memo
ラップアラウンドテープ、4mm I.D. Stripの場合はラベルテープカセットと同じ要領で、透明チューブの場合はチューブと同じ要領で操作します。

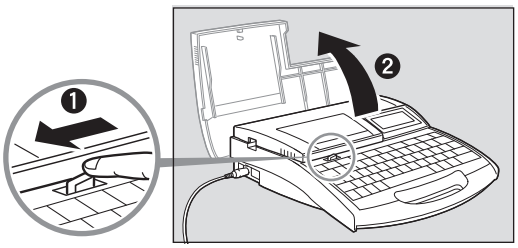
Memo
使用済みのチューブや、ラベルテープカセットは、地域の条例にしたがって廃棄してください。

Memo
[Enetr]を押した後、プリンタの動作が止まっても、チューブまたはラベルテープを取り出せない場合は、フィード機能を使います。（「チューブやラベルが排出/搬送されないとき」（106ページ））。

1 **[取出し]を押して、[Enter]を押す。**

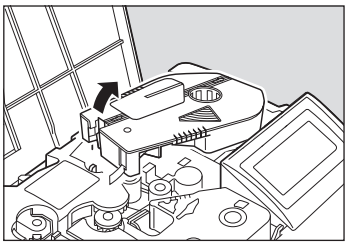
● 印字媒体が逆送りされる。

2 **カバーを開ける。**



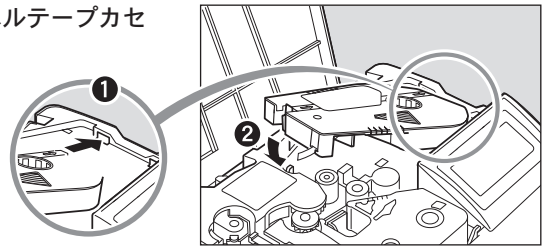
3 **チューブアタッチメントまたはラベルテープカセットを本体から取り外す。**

● レバーを右に引きながら上に持ち上げて取り外す。



4 **新しいチューブやラベルテープカセットをセットする。**

● くわしくは「Part2 基本的な操作」をごらんください。



5-5 お手入れ

■ 本体の清掃

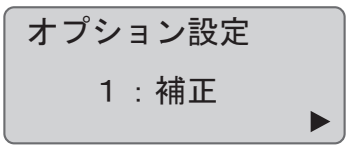
薄めた中性洗剤を含ませて堅くしぼった布などで拭いてください。アルコールやベンジンなどの溶剤を使用すると表面処理を傷めるばかりでなく、故障の原因となりますのでおやめください。

■ 搬送ローラの清掃

搬送ローラの汚れはガーゼを使用して取り除きます。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をガーゼに数滴含ませ、軽くしぼってから拭き取るようにしてください。アルコールやベンジンなどは絶対に使用しないでください。内部に入ると故障の原因になります。

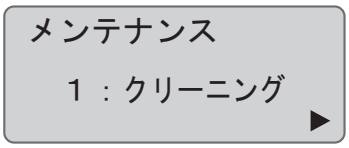
1 ［オプション］を押す。

● 機能の選択画面となる。

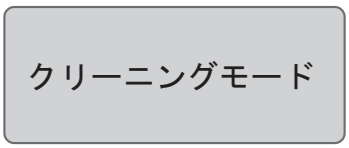


2 ［◀］または［▶］を押して「3：メンテナンス」を選択し、［Ｅｎｔｅｒ］を押す。

● 機能の選択画面となる。

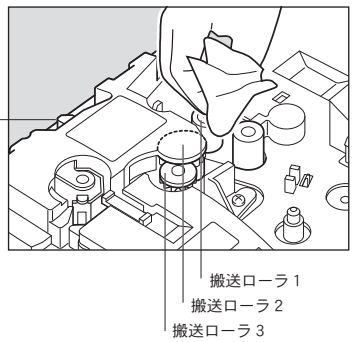


3 ［◀］または［▶］を押して「1：クリーニング」を選択し、［Ｅｎｔｅｒ］を押す。



4 カバーを開ける。

5 搬送ローラを清掃する。



6 カバーを閉める。

● 搬送ローラが回転する。

7 手順４～６を繰り返す。

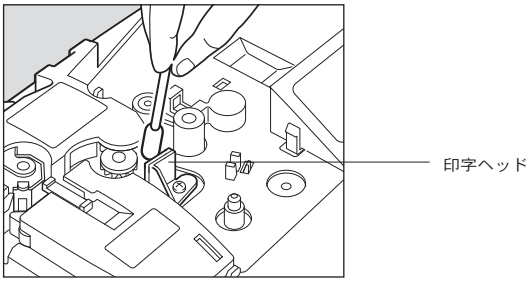
Memo
カバーを６回開閉すると、ローラが１回転します。

8 ［取消］を押す。

● メッセージが消え、文字入力画面に戻る。

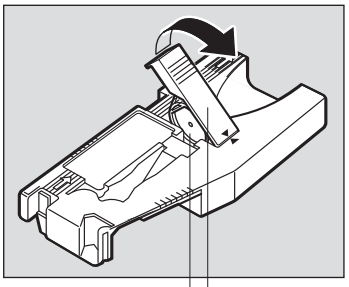
■印字ヘッドの清掃

印字ヘッドの汚れは綿棒で取り除きます。ヘッド部を傷つけないように十分注意してください。また、清掃を始めるまえに必ず電源スイッチをＯＦＦにしてください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤を綿棒に数滴含ませてから拭き取るようにします。アルコールやベンジンなどは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。



■チューブクリーナの清掃/交換

チューブアタッチメントにはチューブ表面に付着した汚れを除去するチューブクリーナがついています。図のようにしてチューブクリーナを取り外し、スポンジに付着した汚れを取り除いてください。なお、スポンジが破損した場合は、チューブクリーナごと交換してください。
交換用チューブクリーナについては、お求めの販売店にお問い合わせください。



Part 6
付　録

ここでは、消耗品やオプション、ローマ字／かな入力をはじめとした各種一覧表、おもな仕様について説明します。

6-1 消耗品とオプション…… 118
■消耗品…… 118
■オプション…… 119

6-2 エラーメッセージ一覧…… 120

6-3 こんなときには…… 122

6-4 ローマ字 / かな入力表…… 124

6-5 記号一覧表…… 125

6-6 区点コード表…… 126

6-7 機能一覧…… 138

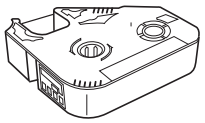
6-8 おもな仕様…… 139

6-1 消耗品とオプション

■ 消耗品

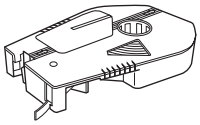
本機で使用する消耗品はつぎの通りです。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

インクリボンカセット（黒色、白色）



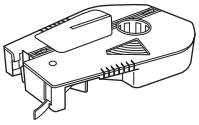
専用カセットをお求めください。
※黒色は、４０mと、１００mの２種類があります。

ラベルテープ（白色、黄色、銀色）



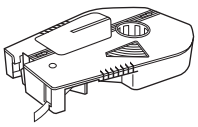
ラベル幅６mm、９mm、１２mmの専用カセットをお求めください。

ラップアラウンドテープ（白色）



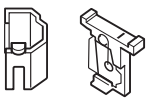
専用カセットをお求めください。

4mm I.D. Strip（白色）



専用カセットをお求めください。

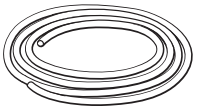
カッタセット



専用カッタセットをお求めください。

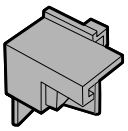
■その他の消耗品

●チューブ/透明チューブ/熱収縮チューブ

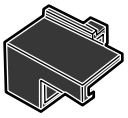


内径がΦ2.5mm～5.2mmのチューブをお使いいただけます。
※市販のチューブの中には本プリンタで印字できないものがあります。印字できることを確認してからご使用ください。
使用できるチューブの厚さは0.5mmタイプです。

●カッタセット
●クリーナセット
●ウォーマクリーナ
●ラップアラウンドテープ(5064C001)用搬送補助ガイド(灰色)



●ラップアラウンドテープ(3476A075)用搬送補助ガイド(黒色)

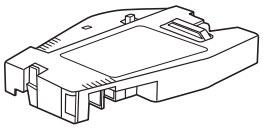


*プリンタ本体に付属しています。

■ オプション

つぎのようなオプションを使用することができます。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

チューブウォーマ



チューブウォーマは、寒さで硬くなったチューブを温めるための装置です。
チューブウォーマを使うと、低温環境でもきれいに印字できるようになります。

■その他のオプション

- ●チューブアタッチメント
- ●AC電源ケーブル
- ●ACアダプタ

6-2 エラーメッセージ一覧表

メッセージ	内容	対処方法
設定範囲外です！	設定範囲外の値を入力しようとした。	85、86ページを参考に再度設定しなおす。
空き容量不足！ これ以上文字の入力はできません	メモリの空き容量が不足している状態で文字を入力しようとした。	入力データを削除して空き容量を確保する。31ページ参考。
長さオーバー 入力データが設定長を超えています	設定したカット長に対し、入力した文字がオーバーした。	84ページを参考に再度設定しなおす。
空き容量不足 これ以上保存できません	保存メモリが少ない状態でファイル保存をしようとした。	不要なファイルを削除して空き容量を確保する。79ページ参考。
ファイルがありません	保存ファイルがないのに、ファイルの呼び出しや削除をしようとした。	ファイルを保存し直す。76ページ参考。
２mm角では入力できません	文字の大きさが２mmのときに、漢字や記号を入力しようとした。	文字の大きさを３mmまたは６mmに変更する。68ページ参考。
印字媒体がセットされていません	印字媒体がセットされていない状態で印字しようとした。	印字媒体をセットし、[Enter]を押すと印字が始まる。24ページ参考。
リボンカセットがセットされていません	リボンカセットがセットされていない状態で印字しようとした。	リボンカセットをセットする。 24ページ参考。
印字媒体終了 印字媒体を引き抜いてください	印字中に印字媒体がなくなった。	印字媒体を本体から引き抜き、新しい印字媒体に交換する。26、34ページを参考にし、セット後[Enter]を押すと印字が始まる。
リボン終了 リボンカセットを交換してください	印刷中にリボンカセットがなくなった。	新しいリボンカセットに交換し、 [Enter]を押すと印字が再開される。 112ページ参考。
印字ヘッド位置を初期化できません	何らかの原因で印字ヘッド位置を初期化できない。	[Enter]を押す。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口に連絡する。（巻末）
印字ヘッドを印刷位置に移動できません	何らかの原因で印字ヘッドを印刷位置に移動できない。	[Enter]を押す。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口に連絡する。（巻末）
カッタ位置を初期化できません	何らかの原因でカッタ位置を初期化できない。	[Enter]を押す。それでも、同じメッセージが表示される場合は修理対応窓口に連絡する。（巻末）

メッセージ	内容	対処方法
カバーを閉じて何かキーを押してください	カバーが開いている状態で操作をしようとした。	カバーを閉じて何かキーを押す。 25、34ページ参考。
搬送エラー 搬送路内に媒体が 詰まっていませんか？ ［取消］ ［Enter］	チューブまたはラベルテープが詰まった。	「チューブやラベルテープが詰まったら」（102ページ）を参考に、詰まった印字媒体を取り除く。
印刷中・・・ まもなくリボン終了	印刷中にリボンカセットの残量が少なくなってきた。 (残り約10m)	新しいリボンカセットを用意する。 長尺印字する場合は、新しいリボンカセットに交換する。112ページ参考。
リボンカセットの情報が読み取れませんでした。残量が表示できません	リボンカセットと通信ができなかった。	何かキーを押して、あとに表示される画面の指示に従い操作してください。

6-3 こんなときには

現象	原因	対処方法
電源スイッチを入れても何も表示されない。	ＡＣアダプタが正しくセットされていない。	電源スイッチをＯＦＦにし、ＡＣアダプタのプラグはコンセントや本体にしっかりと接続されているかを確認。その後、電源スイッチをＯＮにする。
	専用のＡＣアダプタを使用していない。	専用のＡＣアダプタを使用する。専用のもの以外を使用すると回路を破損したり、加熱したりして大変危険。
	上記以外の原因。	「すべての設定を初期値に戻す」（９９ページ）を行う。
起動画面が表示されたまま文字入力画面が表示されない。	編集データが不正。	「すべての設定を初期値に戻す」（９９ページ）を行う。
何も印字されない、または正しく印字できない。 きれいに印字されない。	文字データが入力されていない。	文字データがない状態では印字操作できない。文字を入力するか、ファイルを呼び出して文字データを用意する。
	印刷時に選択した印字媒体のサイズが、実際にセットされている印字媒体のサイズと一致していない。	セットされている印字媒体のサイズを確認し、同じサイズを選択する。
	印字開始位置や印字縦位置が正しく設定されていない。	「印字開始位置と縦位置を微調整する」（９１ページ）を参考に正しく設定しなおす。
	リボンカセットが正しくセットされていない。	リボンカセットを取り出し、たるみを取ってから再度セットしなおす。
	チューブアタッチメントまたはラベルテープカセットが正しくセットされていない。	チューブアタッチメントまたはラベルテープカセットを取り出し、再度セットしなおす。
	チューブやラベルテープがつぶれ、ねじれなどの変形を起こしている。	変形箇所を切り取ってから再度セットしなおす。変形のない印字媒体を使う。
	チューブやラベルテープが汚れている。	汚れを取り除く。
	搬送ローラが汚れている。	「搬送ローラの清掃」（１１４ページ）を参考にローラを清掃する。
	印字ヘッドが汚れている。	「印字ヘッドの清掃」（１１５ページ）を参考に印字ヘッドを清掃する。
	クリーナが汚れている。	「チューブクリーナの清掃/交換」（１１５ページ）を参考にスポンジに付着した汚れを取り除く。
	クリーナが消耗している。	新しいクリーナに交換する。 交換クリーナについては、お求めの販売店にお問い合わせください。
印字物の表面が汚れている。	印字後の搬送時、印字物がリボンカセットに触れたためインクがついた。	乾いた布で印字物についた汚れを拭き取る。

現象	原因	対処方法
チューブやラベルテープが搬送されない。	カバーが開いている。	カバーを閉める。
	チューブの供給負荷が重すぎる。	チューブに負荷がかからないようにする。4.9N（500gf）以上の負荷がかかるとチューブを搬送できない。
	搬送ローラが汚れてすべりが発生している。	「搬送ローラの清掃」（１１４ページ）を参考にローラを清掃する。
	チューブやラベルテープの搬送路に汚れがある。	汚れを取り除く。
	使用環境が適切でない。	温度 15℃～32.5℃、湿度 35%～85%の環境で使う。オプションのチューブウォーマを使用すると、5℃までの環境で使用可能。
印字媒体が排出されない。	印字媒体が詰まっている。	「チューブやラベルテープが詰まったら」（１０２ページ）を参考に詰まりを取り除く。
チューブが斜めにカットされる。12mmラベルテープが全切りされない。	チューブがねじれた状態でプリンタに搬送されている。	チューブに巻きくせ（カール）がついていると、まっすぐに搬送されず、先端が斜めにカットされる場合がある。特に長尺巻きチューブなどに印字するときは、できるだけねじれをとってから印字する。
	印字物の排出口周辺に排出を妨げる物があり、まっすぐに排出されず曲がった状態でカットされた。	印字物の排出口周辺には、物を置かないようにして印字する。
半切りできない。	カッタまたはカッタ受け台が正しくセットされていない。	「カッタを交換する」（１０９ページ）を参考に正しくセットする。
	カットの深さが適切でない。	「カットの深さを変える」（１０７ページ）を参考に正しく調整する。
	カッタが消耗している。	「カッタを交換する」（１０９ページ）を参考に、カッタとカッタ受け台を両方とも交換する。
半切りが切れすぎる。	カッタ受け台が消耗している。	「カッタを交換する」（１０９ページ）を参考に、カッタとカッタ受け台を両方とも交換する。
	カッタまたはカッタ受け台が正しくセットされていない。	「カッタを交換する」（１０９ページ）を参考に正しくセットする。
	カットの深さが適切でない。	「カットの深さを変える」（１０７ページ）を参考に正しく調整する。
全切りできない。	カッタが消耗している。	「カッタを交換する」（１０９ページ）を参考に、カッタとカッタ受け台を両方とも交換する。

6-4 ローマ字/かな入力表

ア	ア A	イ I	ウ U	エ E	オ O	ァ LA XA	ィ LI XI	ゥ LU XU	ェ LE XE	オ LO XO
カ	カ KA	キ KI	ク KU	ケ KE	コ KO					
サ	サ SA	シ SI SHI	ス SU	セ SE	ソ SO	シャ SYA SHA	シィ SYI	シュ SYU SHU	シェ SYE SHE	ショ SYO SHO
タ	タ TA	チ TI CHI	ツ TU TSU ッ LTU XTU	テ TE	ト TO	チャ TYA CYA CHA テャ THA ツァ TSA	チィ TYI CYI ティ THI ツィ TSI	チュ TYU CYU CHU テュ THU	チェ TYE CYE CHE テェ THE ツェ TSE	チョ TYO CYO CHO テョ THO ツォ TSO
ナ	ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO	ニャ NYA	ニィ NYI	ニュ NYU	ニェ NYE	ニョ NYO
ハ	ハ HA	ヒ HI	フ HU	ヘ HE	ホ HO	ヒャ HYA ファ FA ファ FYA	ヒィ HYI フィ FI フィ FYI	ヒュ HYU フ FU フュ FYU	ヒェ HYE フェ FE フェ FYE	ヒョ HYO フォ FO フョ FYO
マ	マ MA	ミ MI	ム MU	メ ME	モ MO	ミャ MYA	ミィ MYI	ミュ MYU	ミェ MYE	ミョ MYO
ヤ	ヤ YA	イ YI	ユ YU	イェ YE	ヨ YO	ャ LYA XYA	ィ LYI XYI	ュ LYU XYU	ェ LYE XYE	ョ LYO XYO
ラ	ラ RA	リ RI	ル RU	レ RE	ロ RO	リャ RYA	リィ RYI	リュ RYU	リェ RYE	リョ RYO
ワ	ワ WA	ウィ WI	ウ WU	ウェ WE	ヲ WO					
ン	ン NN N									
ガ	ガ GA	ギ GI	グ GU	ゲ GE	ゴ GO	グァ GWA ギャ GYA	グィ GWI ギィ GUI	グゥ GWU ギュ GYU	グェ GWE ギェ GYE	グォ GWO ギョ GYO
ザ	ザ ZA	ジ ZI JI	ズ ZU	ゼ ZE	ゾ ZO	ジャ ZYA JA JYA	ジィ ZYI JYI	ジュ ZYU JU JYU	ジェ ZYE JE JYE	ジョ ZYO JO JYO
ダ	ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO	ヂャ DYA デャ DHA	ヂィ DYI ディ DHI	ヂュ DYU デュ DHU	ヂェ DYE デェ DHE	ヂョ DYO デョ DHO
バ	バ BA	ビ BI	ブ BU	ベ BE	ボ BO	ビャ BYA	ビィ BYI	ビュ BYU	ビェ BYE	ビョ BYO
パ	パ PA	ピ PI	プ PU	ペ PE	ポ PO	ピャ PYA	ピィ PYI	ピュ PYU	ピェ PYE	ピョ PYO
ヴァ	ヴァ VA	ヴィ VI	ヴ VU	ヴェ VE	ヴォ VO					

※　子音を連続して入力すると「っ」が表示されます。ただし、NNと入力した場合は「ん」が表示されます。

6-5 記号一覧表

記号 1



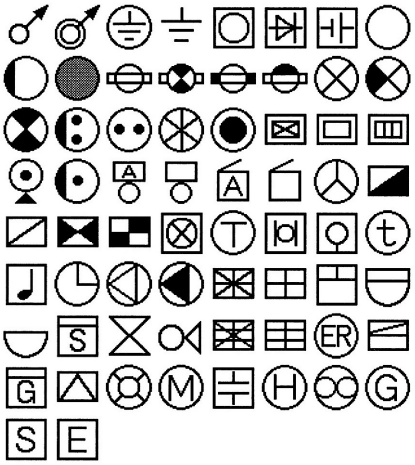
記号 2



記号 3

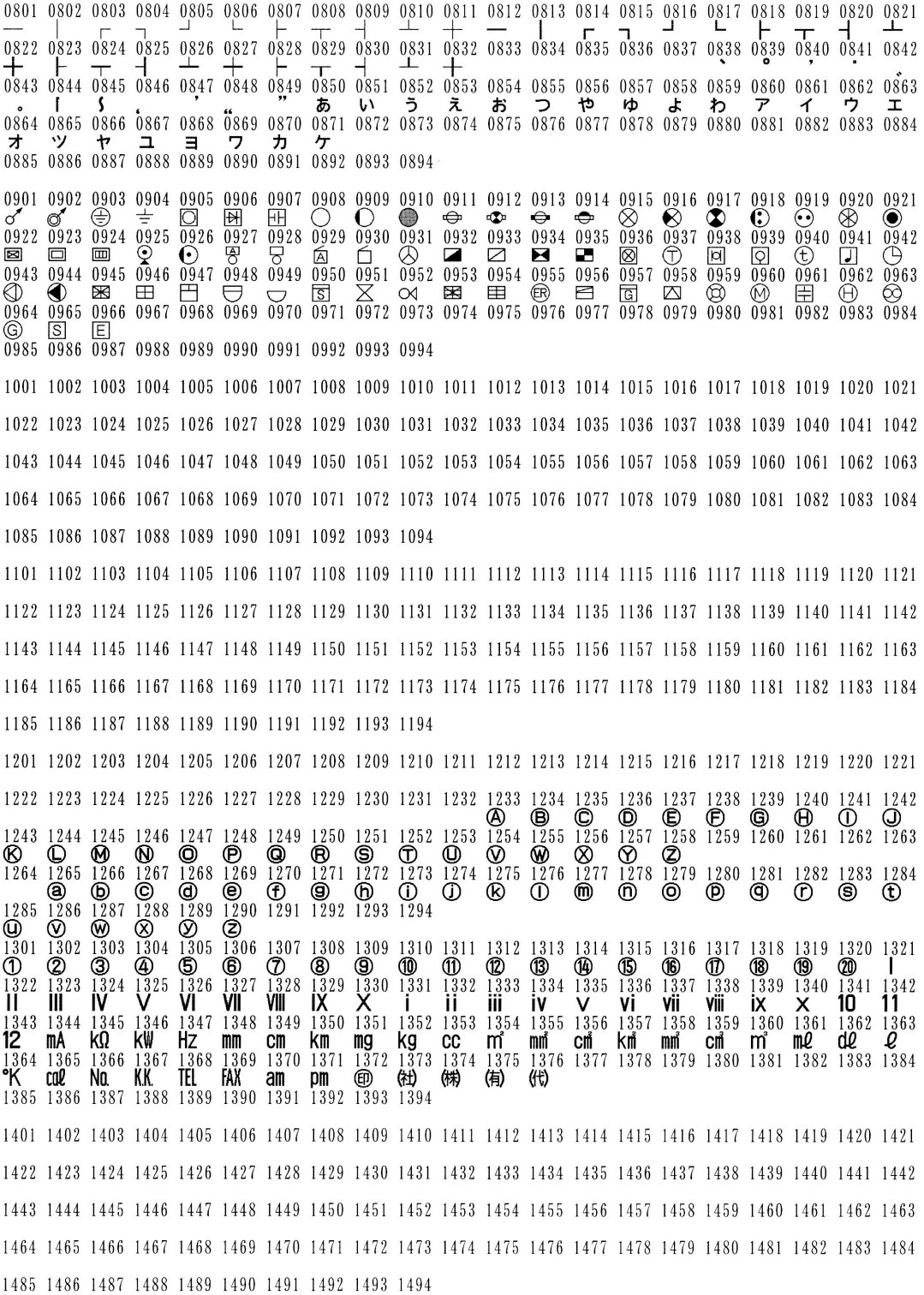


記号 4



6-6 区点コード表

	0101	0102	0103	0104	0105	0106	0107	0108	0109	0110	0111	0112	0113	0114	0115	0116	0117	0118	0119	0120	0121
0122	、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	゜	´	｀	¨	^	￣	_	ヽ	ヾ	ゝ	
0143	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（
0164	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
0185	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃
0201	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇											
0222	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓							
0243					∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩									∧
0264	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
0285	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯
0301	♭	♪	†	‡	¶					○											
0322																０	１	２	３	４	５
0343	６	７	８	９								Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ
0364	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
0385		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ
0401	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ		¦													
0422	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ
0443	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な
0464	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
0485	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん	
0501	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ
0522	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ
0543	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
0564	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ
0585	ヵ	ヶ																			
0601	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ
0622	Χ	Ψ	Ω									α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ
0643	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
0685																					
0701	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У
0722	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я									
0743							а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
0764	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я			



1501 1502 1503 1504 1505 1506 1507 1508 1509 1510 1511 1512 1513 1514 1515 1516 1517 1518 1519 1520 1521
1522 1523 1524 1525 1526 1527 1528 1529 1530 1531 1532 1533 1534 1535 1536 1537 1538 1539 1540 1541 1542
1543 1544 1545 1546 1547 1548 1549 1550 1551 1552 1553 1554 1555 1556 1557 1558 1559 1560 1561 1562 1563
1564 1565 1566 1567 1568 1569 1570 1571 1572 1573 1574 1575 1576 1577 1578 1579 1580 1581 1582 1583 1584
1585 1586 1587 1588 1589 1590 1591 1592 1593 1594

1601 1602 1603 1604 1605 1606 1607 1608 1609 1610 1611 1612 1613 1614 1615 1616 1617 1618 1619 1620 1621
亜 唖 娃 阿 哀 愛 挨 姶 逢 葵 茜 穐 悪 握 渥 旭 葦 芦 鯵 梓 圧
1622 1623 1624 1625 1626 1627 1628 1629 1630 1631 1632 1633 1634 1635 1636 1637 1638 1639 1640 1641 1642
斡 扱 宛 姐 虻 飴 絢 綾 鮎 或 粟 袷 安 庵 按 暗 案 闇 鞍 杏 以
1643 1644 1645 1646 1647 1648 1649 1650 1651 1652 1653 1654 1655 1656 1657 1658 1659 1660 1661 1662 1663
伊 位 依 偉 囲 夷 委 威 尉 惟 意 慰 易 椅 為 畏 異 移 維 緯 胃
1664 1665 1666 1667 1668 1669 1670 1671 1672 1673 1674 1675 1676 1677 1678 1679 1680 1681 1682 1683 1684
萎 衣 謂 違 遺 医 井 亥 域 育 郁 磯 一 壱 溢 逸 稲 茨 芋 鰯 允
1685 1686 1687 1688 1689 1690 1691 1692 1693 1694
印 咽 員 因 姻 引 飲 淫 胤 蔭
1701 1702 1703 1704 1705 1706 1707 1708 1709 1710 1711 1712 1713 1714 1715 1716 1717 1718 1719 1720 1721
院 陰 隠 韻 吋 右 宇 烏 羽 迂 雨 卯 鵜 窺 丑 碓 臼 渦 嘘 唄 鬱
1722 1723 1724 1725 1726 1727 1728 1729 1730 1731 1732 1733 1734 1735 1736 1737 1738 1739 1740 1741 1742
蔚 鰻 姥 厩 浦 瓜 閏 噂 云 運 雲 荏 餌 叡 営 嬰 影 映 曳 栄 永
1743 1744 1745 1746 1747 1748 1749 1750 1751 1752 1753 1754 1755 1756 1757 1758 1759 1760 1761 1762 1763
泳 洩 瑛 盈 穎 頴 英 衛 詠 鋭 液 疫 益 駅 悦 謁 越 閲 榎 厭 円
1764 1765 1766 1767 1768 1769 1770 1771 1772 1773 1774 1775 1776 1777 1778 1779 1780 1781 1782 1783 1784
園 堰 奄 宴 延 怨 掩 援 沿 演 炎 焔 煙 燕 猿 縁 艶 苑 薗 遠 鉛
1785 1786 1787 1788 1789 1790 1791 1792 1793 1794
鴛 塩 於 汚 甥 凹 央 奥 往 応
1801 1802 1803 1804 1805 1806 1807 1808 1809 1810 1811 1812 1813 1814 1815 1816 1817 1818 1819 1820 1821
押 旺 横 欧 殴 王 翁 襖 鴬 鴎 黄 岡 沖 荻 億 屋 憶 臆 桶 牡 乙
1822 1823 1824 1825 1826 1827 1828 1829 1830 1831 1832 1833 1834 1835 1836 1837 1838 1839 1840 1841 1842
俺 卸 恩 温 穏 音 下 化 仮 何 伽 価 佳 加 可 嘉 夏 嫁 家 寡 科
1843 1844 1845 1846 1847 1848 1849 1850 1851 1852 1853 1854 1855 1856 1857 1858 1859 1860 1861 1862 1863
暇 果 架 歌 河 火 珂 禍 禾 稼 箇 花 苛 茄 荷 華 菓 蝦 課 嘩 貨
1864 1865 1866 1867 1868 1869 1870 1871 1872 1873 1874 1875 1876 1877 1878 1879 1880 1881 1882 1883 1884
迦 過 霞 蚊 俄 峨 我 牙 画 臥 芽 蛾 賀 雅 餓 駕 介 会 解 回 塊
1885 1886 1887 1888 1889 1890 1891 1892 1893 1894
壊 廻 快 怪 悔 恢 懐 戒 拐 改
1901 1902 1903 1904 1905 1906 1907 1908 1909 1910 1911 1912 1913 1914 1915 1916 1917 1918 1919 1920 1921
魁 晦 械 海 灰 界 皆 絵 芥 蟹 開 階 貝 凱 劾 外 咳 害 崖 慨 概
1922 1923 1924 1925 1926 1927 1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942
涯 碍 蓋 街 該 鎧 骸 浬 馨 蛙 垣 柿 蛎 鈎 劃 嚇 各 廓 拡 撹 格
1943 1944 1945 1946 1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963
核 殻 獲 確 穫 覚 角 赫 較 郭 閣 隔 革 学 岳 楽 額 顎 掛 笠 樫
1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984
橿 梶 鰍 潟 割 喝 恰 括 活 渇 滑 葛 褐 轄 且 鰹 叶 椛 樺 鞄 株
1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994
兜 竃 蒲 釜 鎌 噛 鴨 栢 茅 萱
2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021
粥 刈 苅 瓦 乾 侃 冠 寒 刊 勘 勧 巻 喚 堪 姦 完 官 寛 干 幹 患
2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042
感 慣 憾 換 敢 柑 桓 棺 款 歓 汗 漢 澗 潅 環 甘 監 看 竿 管 簡
2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050 2051 2052 2053 2054 2055 2056 2057 2058 2059 2060 2061 2062 2063
緩 缶 翰 肝 艦 莞 観 諌 貫 還 鑑 間 閑 関 陥 韓 館 舘 丸 含 岸
2064 2065 2066 2067 2068 2069 2070 2071 2072 2073 2074 2075 2076 2077 2078 2079 2080 2081 2082 2083 2084
巌 玩 癌 眼 岩 翫 贋 雁 頑 顔 願 企 伎 危 喜 器 基 奇 嬉 寄 岐
2085 2086 2087 2088 2089 2090 2091 2092 2093 2094
希 幾 忌 揮 机 旗 既 期 棋 棄
2101 2102 2103 2104 2105 2106 2107 2108 2109 2110 2111 2112 2113 2114 2115 2116 2117 2118 2119 2120 2121
機 帰 毅 気 汽 畿 祈 季 稀 紀 徽 規 記 貴 起 軌 輝 飢 騎 鬼 亀
2122 2123 2124 2125 2126 2127 2128 2129 2130 2131 2132 2133 2134 2135 2136 2137 2138 2139 2140 2141 2142
偽 儀 妓 宜 戯 技 擬 欺 犠 疑 祇 義 蟻 誼 議 掬 菊 鞠 吉 吃 喫
2143 2144 2145 2146 2147 2148 2149 2150 2151 2152 2153 2154 2155 2156 2157 2158 2159 2160 2161 2162 2163
桔 橘 詰 砧 杵 黍 却 客 脚 虐 逆 丘 久 仇 休 及 吸 宮 弓 急 救
2164 2165 2166 2167 2168 2169 2170 2171 2172 2173 2174 2175 2176 2177 2178 2179 2180 2181 2182 2183 2184
朽 求 汲 泣 灸 球 究 窮 笈 級 糾 給 旧 牛 去 居 巨 拒 拠 挙 渠
2185 2186 2187 2188 2189 2190 2191 2192 2193 2194
虚 許 距 鋸 漁 僅 魚 亨 享 京

2201	2202	2203	2204	2205	2206	2207	2208	2209	2210	2211	2212	2213	2214	2215	2216	2217	2218	2219	2220	2221
供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教
2222	2223	2224	2225	2226	2227	2228	2229	2230	2231	2232	2233	2234	2235	2236	2237	2238	2239	2240	2241	2242
橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲
2243	2244	2245	2246	2247	2248	2249	2250	2251	2252	2253	2254	2255	2256	2257	2258	2259	2260	2261	2262	2263
極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
2264	2265	2266	2267	2268	2269	2270	2271	2272	2273	2274	2275	2276	2277	2278	2279	2280	2281	2282	2283	2284
謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰
2285	2286	2287	2288	2289	2290	2291	2292	2293	2294											
空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈											
2301	2302	2303	2304	2305	2306	2307	2308	2309	2310	2311	2312	2313	2314	2315	2316	2317	2318	2319	2320	2321
掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦
2322	2323	2324	2325	2326	2327	2328	2329	2330	2331	2332	2333	2334	2335	2336	2337	2338	2339	2340	2341	2342
袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景
2343	2344	2345	2346	2347	2348	2349	2350	2351	2352	2353	2354	2355	2356	2357	2358	2359	2360	2361	2362	2363
桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
2364	2365	2366	2367	2368	2369	2370	2371	2372	2373	2374	2375	2376	2377	2378	2379	2380	2381	2382	2383	2384
劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券
2385	2386	2387	2388	2389	2390	2391	2392	2393	2394											
剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲											
2401	2402	2403	2404	2405	2406	2407	2408	2409	2410	2411	2412	2413	2414	2415	2416	2417	2418	2419	2420	2421
検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元
2422	2423	2424	2425	2426	2427	2428	2429	2430	2431	2432	2433	2434	2435	2436	2437	2438	2439	2440	2441	2442
原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己
2443	2444	2445	2446	2447	2448	2449	2450	2451	2452	2453	2454	2455	2456	2457	2458	2459	2460	2461	2462	2463
庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
2464	2465	2466	2467	2468	2469	2470	2471	2472	2473	2474	2475	2476	2477	2478	2479	2480	2481	2482	2483	2484
伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯
2485	2486	2487	2488	2489	2490	2491	2492	2493	2494											
候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向											
2501	2502	2503	2504	2505	2506	2507	2508	2509	2510	2511	2512	2513	2514	2515	2516	2517	2518	2519	2520	2521
后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控
2522	2523	2524	2525	2526	2527	2528	2529	2530	2531	2532	2533	2534	2535	2536	2537	2538	2539	2540	2541	2542
攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞
2543	2544	2545	2546	2547	2548	2549	2550	2551	2552	2553	2554	2555	2556	2557	2558	2559	2560	2561	2562	2563
綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
2564	2565	2566	2567	2568	2569	2570	2571	2572	2573	2574	2575	2576	2577	2578	2579	2580	2581	2582	2583	2584
項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠
2585	2586	2587	2588	2589	2590	2591	2592	2593	2594											
黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込											
2601	2602	2603	2604	2605	2606	2607	2608	2609	2610	2611	2612	2613	2614	2615	2616	2617	2618	2619	2620	2621
此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉
2622	2623	2624	2625	2626	2627	2628	2629	2630	2631	2632	2633	2634	2635	2636	2637	2638	2639	2640	2641	2642
唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻
2643	2644	2645	2646	2647	2648	2649	2650	2651	2652	2653	2654	2655	2656	2657	2658	2659	2660	2661	2662	2663
宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
2664	2665	2666	2667	2668	2669	2670	2671	2672	2673	2674	2675	2676	2677	2678	2679	2680	2681	2682	2683	2684
材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵
2685	2686	2687	2688	2689	2690	2691	2692	2693	2694											
窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷											
2701	2702	2703	2704	2705	2706	2707	2708	2709	2710	2711	2712	2713	2714	2715	2716	2717	2718	2719	2720	2721
察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒
2722	2723	2724	2725	2726	2727	2728	2729	2730	2731	2732	2733	2734	2735	2736	2737	2738	2739	2740	2741	2742
散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司
2743	2744	2745	2746	2747	2748	2749	2750	2751	2752	2753	2754	2755	2756	2757	2758	2759	2760	2761	2762	2763
史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
2764	2765	2766	2767	2768	2769	2770	2771	2772	2773	2774	2775	2776	2777	2778	2779	2780	2781	2782	2783	2784
死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼
2785	2786	2787	2788	2789	2790	2791	2792	2793	2794											
歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時											
2801	2802	2803	2804	2805	2806	2807	2808	2809	2810	2811	2812	2813	2814	2815	2816	2817	2818	2819	2820	2821
次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍
2822	2823	2824	2825	2826	2827	2828	2829	2830	2831	2832	2833	2834	2835	2836	2837	2838	2839	2840	2841	2842
雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞
2843	2844	2845	2846	2847	2848	2849	2850	2851	2852	2853	2854	2855	2856	2857	2858	2859	2860	2861	2862	2863
舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
2864	2865	2866	2867	2868	2869	2870	2871	2872	2873	2874	2875	2876	2877	2878	2879	2880	2881	2882	2883	2884
酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒
2885	2886	2887	2888	2889	2890	2891	2892	2893	2894											
受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周											

2901	2902	2903	2904	2905	2906	2907	2908	2909	2910	2911	2912	2913	2914	2915	2916	2917	2918	2919	2920	2921
宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週
2922	2923	2924	2925	2926	2927	2928	2929	2930	2931	2932	2933	2934	2935	2936	2937	2938	2939	2940	2941	2942
酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑
2943	2944	2945	2946	2947	2948	2949	2950	2951	2952	2953	2954	2955	2956	2957	2958	2959	2960	2961	2962	2963
祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
2964	2965	2966	2967	2968	2969	2970	2971	2972	2973	2974	2975	2976	2977	2978	2979	2980	2981	2982	2983	2984
準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸
2985	2986	2987	2988	2989	2990	2991	2992	2993	2994											
助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償											
3001	3002	3003	3004	3005	3006	3007	3008	3009	3010	3011	3012	3013	3014	3015	3016	3017	3018	3019	3020	3021
勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承
3022	3023	3024	3025	3026	3027	3028	3029	3030	3031	3032	3033	3034	3035	3036	3037	3038	3039	3040	3041	3042
抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省
3043	3044	3045	3046	3047	3048	3049	3050	3051	3052	3053	3054	3055	3056	3057	3058	3059	3060	3061	3062	3063
硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3064	3065	3066	3067	3068	3069	3070	3071	3072	3073	3074	3075	3076	3077	3078	3079	3080	3081	3082	3083	3084
鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄
3085	3086	3087	3088	3089	3090	3091	3092	3093	3094											
状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾											
3101	3102	3103	3104	3105	3106	3107	3108	3109	3110	3111	3112	3113	3114	3115	3116	3117	3118	3119	3120	3121
拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎
3122	3123	3124	3125	3126	3127	3128	3129	3130	3131	3132	3133	3134	3135	3136	3137	3138	3139	3140	3141	3142
振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進
3143	3144	3145	3146	3147	3148	3149	3150	3151	3152	3153	3154	3155	3156	3157	3158	3159	3160	3161	3162	3163
針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
3164	3165	3166	3167	3168	3169	3170	3171	3172	3173	3174	3175	3176	3177	3178	3179	3180	3181	3182	3183	3184
逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数
3185	3186	3187	3188	3189	3190	3191	3192	3193	3194											
枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾											
3201	3202	3203	3204	3205	3206	3207	3208	3209	3210	3211	3212	3213	3214	3215	3216	3217	3218	3219	3220	3221
澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正
3222	3223	3224	3225	3226	3227	3228	3229	3230	3231	3232	3233	3234	3235	3236	3237	3238	3239	3240	3241	3242
清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席
3243	3244	3245	3246	3247	3248	3249	3250	3251	3252	3253	3254	3255	3256	3257	3258	3259	3260	3261	3262	3263
惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
3264	3265	3266	3267	3268	3269	3270	3271	3272	3273	3274	3275	3276	3277	3278	3279	3280	3281	3282	3283	3284
窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉
3285	3286	3287	3288	3289	3290	3291	3292	3293	3294											
浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線											
3301	3302	3303	3304	3305	3306	3307	3308	3309	3310	3311	3312	3313	3314	3315	3316	3317	3318	3319	3320	3321
繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅
3322	3323	3324	3325	3326	3327	3328	3329	3330	3331	3332	3333	3334	3335	3336	3337	3338	3339	3340	3341	3342
繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴
3343	3344	3345	3346	3347	3348	3349	3350	3351	3352	3353	3354	3355	3356	3357	3358	3359	3360	3361	3362	3363
阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
3364	3365	3366	3367	3368	3369	3370	3371	3372	3373	3374	3375	3376	3377	3378	3379	3380	3381	3382	3383	3384
操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻
3385	3386	3387	3388	3389	3390	3391	3392	3393	3394											
装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎											
3401	3402	3403	3404	3405	3406	3407	3408	3409	3410	3411	3412	3413	3414	3415	3416	3417	3418	3419	3420	3421
臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖
3422	3423	3424	3425	3426	3427	3428	3429	3430	3431	3432	3433	3434	3435	3436	3437	3438	3439	3440	3441	3442
其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕
3443	3444	3445	3446	3447	3448	3449	3450	3451	3452	3453	3454	3455	3456	3457	3458	3459	3460	3461	3462	3463
陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
3464	3465	3466	3467	3468	3469	3470	3471	3472	3473	3474	3475	3476	3477	3478	3479	3480	3481	3482	3483	3484
退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢
3485	3486	3487	3488	3489	3490	3491	3492	3493	3494											
濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只											
3501	3502	3503	3504	3505	3506	3507	3508	3509	3510	3511	3512	3513	3514	3515	3516	3517	3518	3519	3520	3521
叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探
3522	3523	3524	3525	3526	3527	3528	3529	3530	3531	3532	3533	3534	3535	3536	3537	3538	3539	3540	3541	3542
旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段
3543	3544	3545	3546	3547	3548	3549	3550	3551	3552	3553	3554	3555	3556	3557	3558	3559	3560	3561	3562	3563
男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
3564	3565	3566	3567	3568	3569	3570	3571	3572	3573	3574	3575	3576	3577	3578	3579	3580	3581	3582	3583	3584
逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗
3585	3586	3587	3588	3589	3590	3591	3592	3593	3594											
瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵											

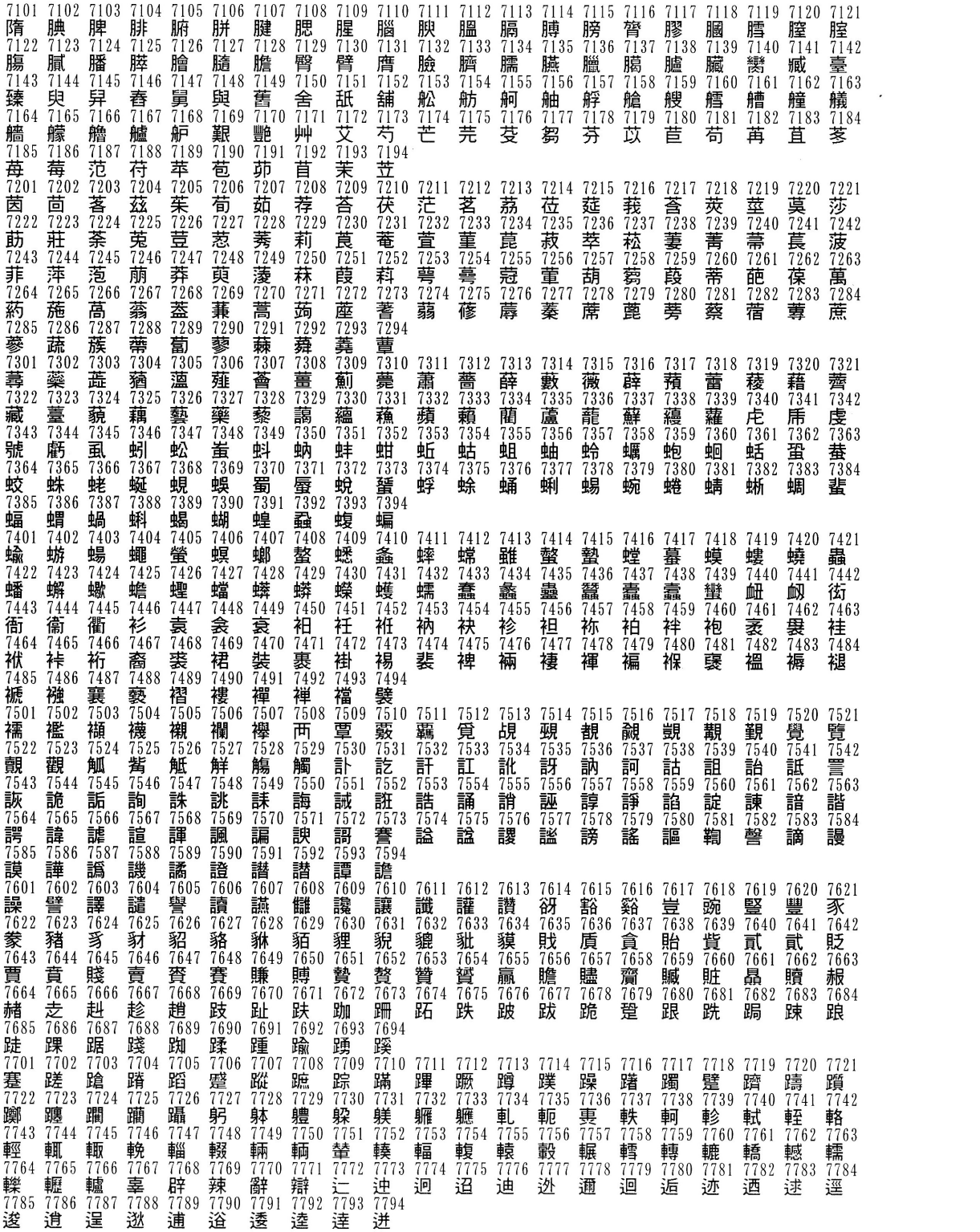
3601	3602	3603	3604	3605	3606	3607	3608	3609	3610	3611	3612	3613	3614	3615	3616	3617	3618	3619	3620	3621
帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜
3622	3623	3624	3625	3626	3627	3628	3629	3630	3631	3632	3633	3634	3635	3636	3637	3638	3639	3640	3641	3642
超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚
3643	3644	3645	3646	3647	3648	3649	3650	3651	3652	3653	3654	3655	3656	3657	3658	3659	3660	3661	3662	3663
痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
3664	3665	3666	3667	3668	3669	3670	3671	3672	3673	3674	3675	3676	3677	3678	3679	3680	3681	3682	3683	3684
釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯
3685	3686	3687	3688	3689	3690	3691	3692	3693	3694											
汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓											
3701	3702	3703	3704	3705	3706	3707	3708	3709	3710	3711	3712	3713	3714	3715	3716	3717	3718	3719	3720	3721
邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典
3722	3723	3724	3725	3726	3727	3728	3729	3730	3731	3732	3733	3734	3735	3736	3737	3738	3739	3740	3741	3742
填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顚	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬
3743	3744	3745	3746	3747	3748	3749	3750	3751	3752	3753	3754	3755	3756	3757	3758	3759	3760	3761	3762	3763
屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
3764	3765	3766	3767	3768	3769	3770	3771	3772	3773	3774	3775	3776	3777	3778	3779	3780	3781	3782	3783	3784
凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯
3785	3786	3787	3788	3789	3790	3791	3792	3793	3794											
燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到											
3801	3802	3803	3804	3805	3806	3807	3808	3809	3810	3811	3812	3813	3814	3815	3816	3817	3818	3819	3820	3821
董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞
3822	3823	3824	3825	3826	3827	3828	3829	3830	3831	3832	3833	3834	3835	3836	3837	3838	3839	3840	3841	3842
洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃
3843	3844	3845	3846	3847	3848	3849	3850	3851	3852	3853	3854	3855	3856	3857	3858	3859	3860	3861	3862	3863
橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
3864	3865	3866	3867	3868	3869	3870	3871	3872	3873	3874	3875	3876	3877	3878	3879	3880	3881	3882	3883	3884
奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼
3885	3886	3887	3888	3889	3890	3891	3892	3893	3894											
弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入											
3901	3902	3903	3904	3905	3906	3907	3908	3909	3910	3911	3912	3913	3914	3915	3916	3917	3918	3919	3920	3921
如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃
3922	3923	3924	3925	3926	3927	3928	3929	3930	3931	3932	3933	3934	3935	3936	3937	3938	3939	3940	3941	3942
廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶
3943	3944	3945	3946	3947	3948	3949	3950	3951	3952	3953	3954	3955	3956	3957	3958	3959	3960	3961	3962	3963
破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
3964	3965	3966	3967	3968	3969	3970	3971	3972	3973	3974	3975	3976	3977	3978	3979	3980	3981	3982	3983	3984
楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍	柏	泊	白	箔	粕
3985	3986	3987	3988	3989	3990	3991	3992	3993	3994											
舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦											
4001	4002	4003	4004	4005	4006	4007	4008	4009	4010	4011	4012	4013	4014	4015	4016	4017	4018	4019	4020	4021
函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏
4022	4023	4024	4025	4026	4027	4028	4029	4030	4031	4032	4033	4034	4035	4036	4037	4038	4039	4040	4041	4042
閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔
4043	4044	4045	4046	4047	4048	4049	4050	4051	4052	4053	4054	4055	4056	4057	4058	4059	4060	4061	4062	4063
繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4064	4065	4066	4067	4068	4069	4070	4071	4072	4073	4074	4075	4076	4077	4078	4079	4080	4081	4082	4083	4084
彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛
4085	4086	4087	4088	4089	4090	4091	4092	4093	4094											
樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美											
4101	4102	4103	4104	4105	4106	4107	4108	4109	4110	4111	4112	4113	4114	4115	4116	4117	4118	4119	4120	4121
鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬
4122	4123	4124	4125	4126	4127	4128	4129	4130	4131	4132	4133	4134	4135	4136	4137	4138	4139	4140	4141	4142
俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品
4143	4144	4145	4146	4147	4148	4149	4150	4151	4152	4153	4154	4155	4156	4157	4158	4159	4160	4161	4162	4163
彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4164	4165	4166	4167	4168	4169	4170	4171	4172	4173	4174	4175	4176	4177	4178	4179	4180	4181	4182	4183	4184
斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部
4185	4186	4187	4188	4189	4190	4191	4192	4193	4194											
封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服											
4201	4202	4203	4204	4205	4206	4207	4208	4209	4210	4211	4212	4213	4214	4215	4216	4217	4218	4219	4220	4221
福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞
4222	4223	4224	4225	4226	4227	4228	4229	4230	4231	4232	4233	4234	4235	4236	4237	4238	4239	4240	4241	4242
紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖
4243	4244	4245	4246	4247	4248	4249	4250	4251	4252	4253	4254	4255	4256	4257	4258	4259	4260	4261	4262	4263
碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4264	4265	4266	4267	4268	4269	4270	4271	4272	4273	4274	4275	4276	4277	4278	4279	4280	4281	4282	4283	4284
圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉
4285	4286	4287	4288	4289	4290	4291	4292	4293	4294											
宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋											

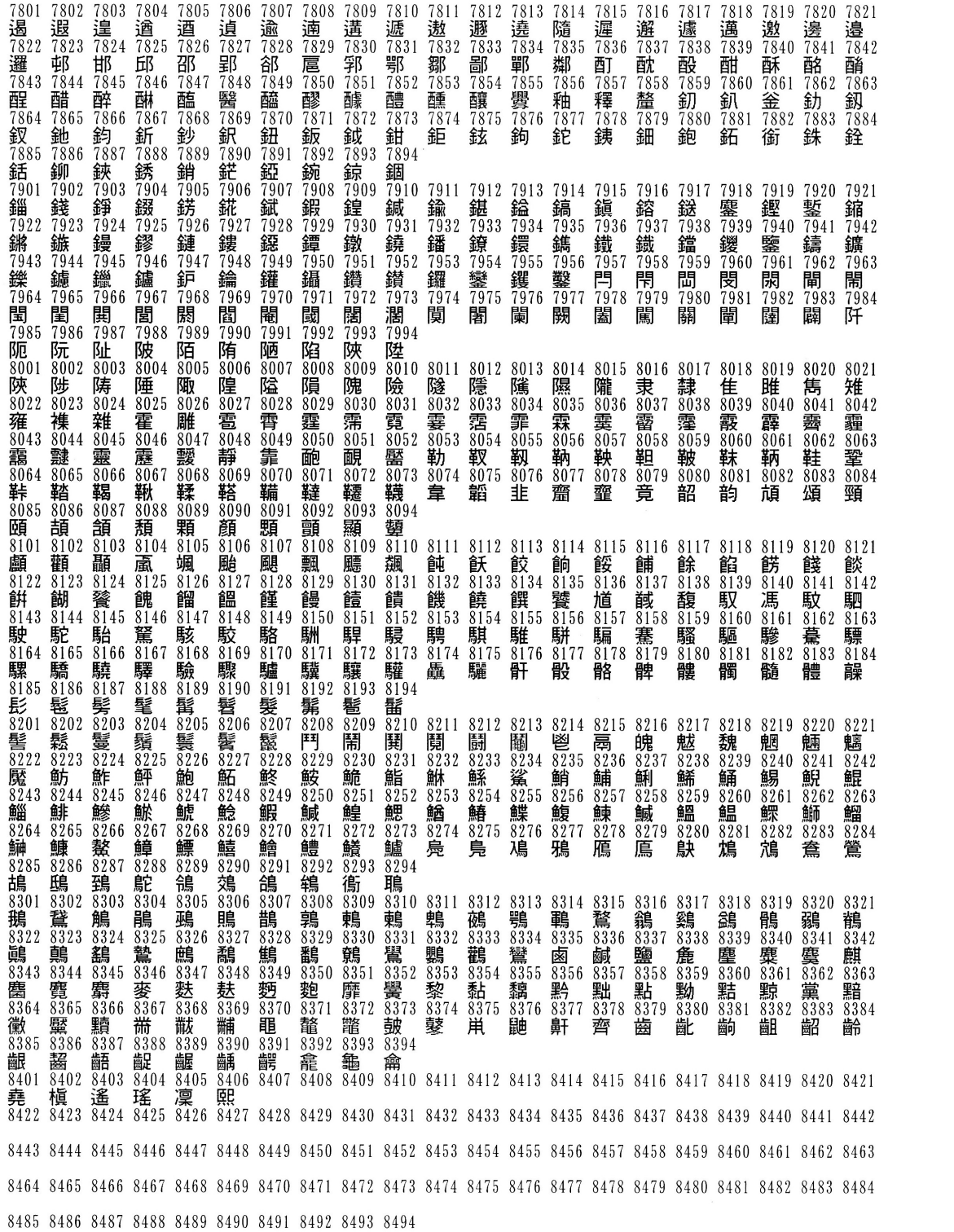
4301 4302 4303 4304 4305 4306 4307 4308 4309 4310 4311 4312 4313 4314 4315 4316 4317 4318 4319 4320 4321
法 泡 烹 砲 縫 胞 芳 萌 蓬 蜂 褒 訪 豊 邦 鋒 飽 鳳 鵬 乏 亡 傍
4322 4323 4324 4325 4326 4327 4328 4329 4330 4331 4332 4333 4334 4335 4336 4337 4338 4339 4340 4341 4342
剖 坊 妨 帽 忘 忙 房 暴 望 某 棒 冒 紡 肪 膨 謀 貌 貿 鉾 防 吠
4343 4344 4345 4346 4347 4348 4349 4350 4351 4352 4353 4354 4355 4356 4357 4358 4359 4360 4361 4362 4363
頬 北 僕 卜 墨 撲 朴 牧 睦 穆 釦 勃 没 殆 堀 幌 奔 本 翻 凡 盆
4364 4365 4366 4367 4368 4369 4370 4371 4372 4373 4374 4375 4376 4377 4378 4379 4380 4381 4382 4383 4384
摩 磨 魔 麻 埋 妹 昧 枚 毎 哩 槙 幕 膜 枕 鮪 柾 鱒 桝 亦 俣 又
4385 4386 4387 4388 4389 4390 4391 4392 4393 4394
抹 末 沫 迄 侭 繭 麿 万 慢 満
4401 4402 4403 4404 4405 4406 4407 4408 4409 4410 4411 4412 4413 4414 4415 4416 4417 4418 4419 4420 4421
漫 蔓 味 未 魅 巳 箕 岬 密 蜜 湊 蓑 稔 脈 妙 粍 民 眠 務 夢 無
4422 4423 4424 4425 4426 4427 4428 4429 4430 4431 4432 4433 4434 4435 4436 4437 4438 4439 4440 4441 4442
牟 矛 霧 鵡 椋 婿 娘 冥 名 命 明 盟 迷 銘 鳴 姪 牝 滅 免 棉 綿
4443 4444 4445 4446 4447 4448 4449 4450 4451 4452 4453 4454 4455 4456 4457 4458 4459 4460 4461 4462 4463
緬 面 麺 摸 模 茂 妄 孟 毛 猛 盲 網 耗 蒙 儲 木 黙 目 杢 勿 餅
4464 4465 4466 4467 4468 4469 4470 4471 4472 4473 4474 4475 4476 4477 4478 4479 4480 4481 4482 4483 4484
尤 戻 籾 貰 問 悶 紋 門 匁 也 冶 夜 爺 耶 野 弥 矢 厄 役 約 薬
4485 4486 4487 4488 4489 4490 4491 4492 4493 4494
訳 躍 靖 柳 薮 鏃 愉 愈 油 癒
4501 4502 4503 4504 4505 4506 4507 4508 4509 4510 4511 4512 4513 4514 4515 4516 4517 4518 4519 4520 4521
諭 輸 唯 佑 優 勇 友 宥 幽 悠 憂 揖 有 柚 湧 涌 猶 猷 由 祐 裕
4522 4523 4524 4525 4526 4527 4528 4529 4530 4531 4532 4533 4534 4535 4536 4537 4538 4539 4540 4541 4542
誘 遊 邑 郵 雄 融 夕 予 余 与 誉 輿 預 傭 幼 妖 容 庸 揚 揺 擁
4543 4544 4545 4546 4547 4548 4549 4550 4551 4552 4553 4554 4555 4556 4557 4558 4559 4560 4561 4562 4563
曜 楊 様 洋 溶 熔 用 窯 羊 耀 葉 蓉 要 謡 踊 遥 陽 養 慾 抑 欲
4564 4565 4566 4567 4568 4569 4570 4571 4572 4573 4574 4575 4576 4577 4578 4579 4580 4581 4582 4583 4584
沃 浴 翌 翼 淀 羅 螺 裸 来 莱 頼 雷 洛 絡 落 酪 乱 卵 嵐 欄 濫
4585 4586 4587 4588 4589 4590 4591 4592 4593 4594
藍 蘭 覧 利 吏 履 李 梨 理 璃
4601 4602 4603 4604 4605 4606 4607 4608 4609 4610 4611 4612 4613 4614 4615 4616 4617 4618 4619 4620 4621
痢 裏 裡 里 離 陸 律 率 立 葎 掠 略 劉 流 溜 琉 留 硫 粒 隆 竜
4622 4623 4624 4625 4626 4627 4628 4629 4630 4631 4632 4633 4634 4635 4636 4637 4638 4639 4640 4641 4642
龍 侶 慮 旅 虜 了 亮 僚 両 凌 寮 料 梁 涼 猟 療 瞭 稜 糧 良 諒
4643 4644 4645 4646 4647 4648 4649 4650 4651 4652 4653 4654 4655 4656 4657 4658 4659 4660 4661 4662 4663
遼 量 陵 領 力 緑 倫 厘 林 淋 燐 琳 臨 輪 隣 鱗 麟 瑠 塁 涙 累
4664 4665 4666 4667 4668 4669 4670 4671 4672 4673 4674 4675 4676 4677 4678 4679 4680 4681 4682 4683 4684
類 令 伶 例 冷 励 嶺 怜 玲 礼 苓 鈴 隷 零 霊 麗 齢 暦 歴 列 劣
4685 4686 4687 4688 4689 4690 4691 4692 4693 4694
烈 裂 廉 恋 憐 漣 煉 簾 練 聯
4701 4702 4703 4704 4705 4706 4707 4708 4709 4710 4711 4712 4713 4714 4715 4716 4717 4718 4719 4720 4721
蓮 連 錬 呂 魯 櫓 炉 賂 路 露 労 婁 廊 弄 朗 楼 榔 浪 漏 牢 狼
4722 4723 4724 4725 4726 4727 4728 4729 4730 4731 4732 4733 4734 4735 4736 4737 4738 4739 4740 4741 4742
篭 老 聾 蝋 郎 六 麓 禄 肋 録 論 倭 和 話 歪 賄 脇 惑 枠 鷲 亙
4743 4744 4745 4746 4747 4748 4749 4750 4751 4752 4753 4754 4755 4756 4757 4758 4759 4760 4761 4762 4763
亘 鰐 詫 藁 蕨 椀 湾 碗 腕
4764 4765 4766 4767 4768 4769 4770 4771 4772 4773 4774 4775 4776 4777 4778 4779 4780 4781 4782 4783 4784
4785 4786 4787 4788 4789 4790 4791 4792 4793 4794
4801 4802 4803 4804 4805 4806 4807 4808 4809 4810 4811 4812 4813 4814 4815 4816 4817 4818 4819 4820 4821
弋 丐 丕 个 丱 丶 丼 丿 乂 乖 乘 亂 亅 豫 事 舒 弍 于 亞 亟 亠
4822 4823 4824 4825 4826 4827 4828 4829 4830 4831 4832 4833 4834 4835 4836 4837 4838 4839 4840 4841 4842
亢 亰 亳 亶 从 仍 仄 仆 仂 仗 仞 仭 仟 价 伉 佚 估 佛 佝 佗 佇
4843 4844 4845 4846 4847 4848 4849 4850 4851 4852 4853 4854 4855 4856 4857 4858 4859 4860 4861 4862 4863
佶 侈 侏 侘 佻 佩 佰 侑 佯 來 侖 儘 俔 俟 俎 俘 俛 俑 俚 俐 俤
4864 4865 4866 4867 4868 4869 4870 4871 4872 4873 4874 4875 4876 4877 4878 4879 4880 4881 4882 4883 4884
俥 倚 倨 倔 倪 倥 倅 伜 俶 倡 倩 倬 俾 俯 們 倆 偃 假 會 偕 修
4885 4886 4887 4888 4889 4890 4891 4892 4893 4894
偈 做 偸 偬 偸 傀 傚 傅 傴 傲
4901 4902 4903 4904 4905 4906 4907 4908 4909 4910 4911 4912 4913 4914 4915 4916 4917 4918 4919 4920 4921
僉 僊 傳 僂 僖 僞 僥 僭 僣 僮 價 僵 儉 儁 儂 儖 儕 儔 儚 儡 儺
4922 4923 4924 4925 4926 4927 4928 4929 4930 4931 4932 4933 4934 4935 4936 4937 4938 4939 4940 4941 4942
儷 儼 儻 儿 兀 兒 兌 兔 兢 競 兩 兪 兮 冀 冂 冏 册 冉 冏 冑 冓
4943 4944 4945 4946 4947 4948 4949 4950 4951 4952 4953 4954 4955 4956 4957 4958 4959 4960 4961 4962 4963
冕 冖 冤 冠 冢 冩 冪 冫 决 冱 冲 冰 況 冽 凅 凉 凛 几 處 凩 凭
4964 4965 4966 4967 4968 4969 4970 4971 4972 4973 4974 4975 4976 4977 4978 4979 4980 4981 4982 4983 4984
凰 凵 凾 刃 刋 刔 刧 刼 刪 刮 刳 刹 剏 剄 剋 剌 剞 剔 剪 剴 剩
4985 4986 4987 4988 4989 4990 4991 4992 4993 4994
剳 剿 剽 劍 劒 劔 劖 劈 劑 辨

5001	5002	5003	5004	5005	5006	5007	5008	5009	5010	5011	5012	5013	5014	5015	5016	5017	5018	5019	5020	5021
瓣	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勰	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍
5022	5023	5024	5025	5026	5027	5028	5029	5030	5031	5032	5033	5034	5035	5036	5037	5038	5039	5040	5041	5042
匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅	卌	卉	卍	準	卡	卩	卮	卵	卻
5043	5044	5045	5046	5047	5048	5049	5050	5051	5052	5053	5054	5055	5056	5057	5058	5059	5060	5061	5062	5063
卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	篡	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叻	吁	吋
5064	5065	5066	5067	5068	5069	5070	5071	5072	5073	5074	5075	5076	5077	5078	5079	5080	5081	5082	5083	5084
呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呫	咒	呻	咀	呶	咄
5085	5086	5087	5088	5089	5090	5091	5092	5093	5094											
咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨											
5101	5102	5103	5104	5105	5106	5107	5108	5109	5110	5111	5112	5113	5114	5115	5116	5117	5118	5119	5120	5121
咫	哂	咤	咾	哂	哳	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哽	唆	唯	唧	唪	售	啜
5122	5123	5124	5125	5126	5127	5128	5129	5130	5131	5132	5133	5134	5135	5136	5137	5138	5139	5140	5141	5142
啅	啖	啗	唸	唳	唧	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喻	喇	喨
5143	5144	5145	5146	5147	5148	5149	5150	5151	5152	5153	5154	5155	5156	5157	5158	5159	5160	5161	5162	5163
嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5164	5165	5166	5167	5168	5169	5170	5171	5172	5173	5174	5175	5176	5177	5178	5179	5180	5181	5182	5183	5184
噫	噤	噱	噬	噪	噶	噲	噳	噴	噭	噻	噦	嚮	嚶	嚴	嚢	嚼	嚅	囃	囀	囈
5185	5186	5187	5188	5189	5190	5191	5192	5193	5194											
囓	囑	囓	口	囘	圄	圀	圃	圖	圉											
5201	5202	5203	5204	5205	5206	5207	5208	5209	5210	5211	5212	5213	5214	5215	5216	5217	5218	5219	5220	5221
圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圠	圩	圳	圾	圻	址	坏	坩	垂	垈	坡	垳	垉
5222	5223	5224	5225	5226	5227	5228	5229	5230	5231	5232	5233	5234	5235	5236	5237	5238	5239	5240	5241	5242
垓	垠	垳	垤	垪	垞	埃	埆	埔	埒	埓	埝	埽	堋	堉	堎	堝	堢	堡	塢	塋
5243	5244	5245	5246	5247	5248	5249	5250	5251	5252	5253	5254	5255	5256	5257	5258	5259	5260	5261	5262	5263
塹	毀	塒	堙	塹	墅	壛	壚	壗	奧	壞	墻	壜	墮	壅	壓	壑	壘	壙	壘	壜
5264	5265	5266	5267	5268	5269	5270	5271	5272	5273	5274	5275	5276	5277	5278	5279	5280	5281	5282	5283	5284
壟	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	奇
5285	5286	5287	5288	5289	5290	5291	5292	5293	5294											
奕	奐	奎	奚	奘	奢	奩	奧	奬	奩											
5301	5302	5303	5304	5305	5306	5307	5308	5309	5310	5311	5312	5313	5314	5315	5316	5317	5318	5319	5320	5321
奸	妁	妝	佞	佞	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬
5322	5323	5324	5325	5326	5327	5328	5329	5330	5331	5332	5333	5334	5335	5336	5337	5338	5339	5340	5341	5342
婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖
5343	5344	5345	5346	5347	5348	5349	5350	5351	5352	5353	5354	5355	5356	5357	5358	5359	5360	5361	5362	5363
嬲	嬾	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	孜	孺	宀
5364	5365	5366	5367	5368	5369	5370	5371	5372	5373	5374	5375	5376	5377	5378	5379	5380	5381	5382	5383	5384
它	宦	宸	寃	寇	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	尉	
5385	5386	5387	5388	5389	5390	5391	5392	5393	5394											
尓	尠	尤	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓											
5401	5402	5403	5404	5405	5406	5407	5408	5409	5410	5411	5412	5413	5414	5415	5416	5417	5418	5419	5420	5421
展	屏	孱	屬	屮	屺	岑	屹	峐	峇	峃	峯	岫	岻	岼	岬	岷	峅	岾	峇	峙
5422	5423	5424	5425	5426	5427	5428	5429	5430	5431	5432	5433	5434	5435	5436	5437	5438	5439	5440	5441	5442
峩	峽	峺	峭	嵎	峪	華	崛	崗	崙	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎
5443	5444	5445	5446	5447	5448	5449	5450	5451	5452	5453	5454	5455	5456	5457	5458	5459	5460	5461	5462	5463
嵫	嵬	嵖	嵩	嵎	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
5464	5465	5466	5467	5468	5469	5470	5471	5472	5473	5474	5475	5476	5477	5478	5479	5480	5481	5482	5483	5484
巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幣	幇	幵
5485	5486	5487	5488	5489	5490	5491	5492	5493	5494											
并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏											
5501	5502	5503	5504	5505	5506	5507	5508	5509	5510	5511	5512	5513	5514	5515	5516	5517	5518	5519	5520	5521
廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彝	弋
5522	5523	5524	5525	5526	5527	5528	5529	5530	5531	5532	5533	5534	5535	5536	5537	5538	5539	5540	5541	5542
弒	弓	弩	弭	弸	弼	彈	彌	彎	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	
5543	5544	5545	5546	5547	5548	5549	5550	5551	5552	5553	5554	5555	5556	5557	5558	5559	5560	5561	5562	5563
徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忽	怡	恠
5564	5565	5566	5567	5568	5569	5570	5571	5572	5573	5574	5575	5576	5577	5578	5579	5580	5581	5582	5583	5584
怙	怩	怩	怎	恕	恒	怕	怫	怦	怏	泳	恚	恁	恪	恣	悒	悒	恆	恍	恣	恃
5585	5586	5587	5588	5589	5590	5591	5592	5593	5594											
恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	悳	悃	悃	悚										
5601	5602	5603	5604	5605	5606	5607	5608	5609	5610	5611	5612	5613	5614	5615	5616	5617	5618	5619	5620	5621
悄	悛	悖	悗	悃	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	悴	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶
5622	5623	5624	5625	5626	5627	5628	5629	5630	5631	5632	5633	5634	5635	5636	5637	5638	5639	5640	5641	5642
惹	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	慍	慤	愧	慊	慝	慎	慰	愴	慱	慟
5643	5644	5645	5646	5647	5648	5649	5650	5651	5652	5653	5654	5655	5656	5657	5658	5659	5660	5661	5662	5663
慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慷	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憩	憬	憔	憚
5664	5665	5666	5667	5668	5669	5670	5671	5672	5673	5674	5675	5676	5677	5678	5679	5680	5681	5682	5683	5684
憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	懴	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿
5685	5686	5687	5688	5689	5690	5691	5692	5693	5694											
戁	戄	攝	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛											

5701 5702 5703 5704 5705 5706 5707 5708 5709 5710 5711 5712 5713 5714 5715 5716 5717 5718 5719 5720 5721
戛 戡 截 戮 戰 戲 戳 扁 扎 扞 扣 扛 扠 扨 扼 抂 抉 找 抒 抓 抖
5722 5723 5724 5725 5726 5727 5728 5729 5730 5731 5732 5733 5734 5735 5736 5737 5738 5739 5740 5741 5742
拔 抃 抔 拗 拑 抻 拯 拿 拆 擔 拈 拜 拌 拊 拂 拇 抛 拉 挌 拮 拱
5743 5744 5745 5746 5747 5748 5749 5750 5751 5752 5753 5754 5755 5756 5757 5758 5759 5760 5761 5762 5763
挐 拄 挈 拯 拾 捐 挾 捍 搜 捏 掖 掎 掀 掫 捩 捭 掏 掉 掟 掵 捫
5764 5765 5766 5767 5768 5769 5770 5771 5772 5773 5774 5775 5776 5777 5778 5779 5780 5781 5782 5783 5784
捩 掾 揩 揀 揆 揣 揉 插 揶 揄 搖 搴 搆 搓 搦 搶 攝 搗 揚 搏 摧
5785 5786 5787 5788 5789 5790 5791 5792 5793 5794
摯 摶 摎 攪 撕 撓 撥 撩 撈 撼
5801 5802 5803 5804 5805 5806 5807 5808 5809 5810 5811 5812 5813 5814 5815 5816 5817 5818 5819 5820 5821
據 搖 擅 擇 撻 擘 擂 摑 舉 擧 摘 擫 抬 擣 擦 攬 擷 擴 擲 擺 攀
5822 5823 5824 5825 5826 5827 5828 5829 5830 5831 5832 5833 5834 5835 5836 5837 5838 5839 5840 5841 5842
攣 攘 攜 攢 攤 攣 攫 攴 攵 攷 收 攸 畋 效 敖 敕 敍 敘 敞 敝 敲
5843 5844 5845 5846 5847 5848 5849 5850 5851 5852 5853 5854 5855 5856 5857 5858 5859 5860 5861 5862 5863
數 斂 斃 變 斛 斟 斫 斷 旆 旄 旁 旌 旋 旒 旛 旙 无 旡 旱 杲 昊
5864 5865 5866 5867 5868 5869 5870 5871 5872 5873 5874 5875 5876 5877 5878 5879 5880 5881 5882 5883 5884
昃 昇 杳 昵 昶 昴 昜 晏 晄 晉 晁 晞 晝 晤 晧 晨 晟 晢 晰 暈 暈
5885 5886 5887 5888 5889 5890 5891 5892 5893 5894
暎 暉 暄 暘 暝 曀 遲 曉 曖 曙
5901 5902 5903 5904 5905 5906 5907 5908 5909 5910 5911 5912 5913 5914 5915 5916 5917 5918 5919 5920 5921
曄 暸 曖 曚 曠 昡 曦 曩 曰 曳 曷 朏 朖 朞 朦 朧 霸 朮 朿 朵 杁
5922 5923 5924 5925 5926 5927 5928 5929 5930 5931 5932 5933 5934 5935 5936 5937 5938 5939 5940 5941 5942
朽 朷 杆 杞 杠 杙 杣 杤 枉 杰 枻 杼 杪 枌 枋 枒 枷 柯 枴 柬
5943 5944 5945 5946 5947 5948 5949 5950 5951 5952 5953 5954 5955 5956 5957 5958 5959 5960 5961 5962 5963
柬 枳 柩 枸 柤 柞 柝 柢 柮 枹 柎 柆 柧 槁 樝 華 框 栩 桀 桍 栲 桎
5964 5965 5966 5967 5968 5969 5970 5971 5972 5973 5974 5975 5976 5977 5978 5979 5980 5981 5982 5983 5984
梳 栫 桊 档 桫 椁 梟 梏 梭 梔 條 梆 梃 檮 梹 梵 桲 梱 棎 桱 棓
5985 5986 5987 5988 5989 5990 5991 5992 5993 5994
棔 棹 棊 棼 棘 棡 榜 榔 椳 梴
6001 6002 6003 6004 6005 6006 6007 6008 6009 6010 6011 6012 6013 6014 6015 6016 6017 6018 6019 6020 6021
椯 棧 棕 榇 椒 椄 棗 棣 椥 棹 棠 棯 椨 椪 椩 榔 棬 椪 椭 楹 楷 楀
6022 6023 6024 6025 6026 6027 6028 6029 6030 6031 6032 6033 6034 6035 6036 6037 6038 6039 6040 6041 6042
楸 楫 楔 楝 楮 椹 楴 椽 楙 椰 楡 楞 楝 榁 楪 榲 榮 槐 榿 槁 槓
6043 6044 6045 6046 6047 6048 6049 6050 6051 6052 6053 6054 6055 6056 6057 6058 6059 6060 6061 6062 6063
榾 槎 寨 槊 槝 榻 槃 榧 樠 橞 榠 榜 榕 榴 槞 樂 樛 槿 權 槨
6064 6065 6066 6067 6068 6069 6070 6071 6072 6073 6074 6075 6076 6077 6078 6079 6080 6081 6082 6083 6084
槲 檕 樅 榱 樞 槭 樔 槫 樊 樒 櫁 檑 檨 檻 櫟 檜 檑 檳 櫝 檣 欅 椭
6085 6086 6087 6088 6089 6090 6091 6092 6093 6094
橦 橈 樸 樢 檐 檍 檠 檄 檢 檣
6101 6102 6103 6104 6105 6106 6107 6108 6109 6110 6111 6112 6113 6114 6115 6116 6117 6118 6119 6120 6121
檗 蘗 檻 櫃 櫂 檸 檳 檬 欃 櫑 櫟 櫛 櫑 欋 櫻 欅 蘗 櫺 欒 欖 鬱
6122 6123 6124 6125 6126 6127 6128 6129 6130 6131 6132 6133 6134 6135 6136 6137 6138 6139 6140 6141 6142
欟 欸 款 盜 欹 飲 歇 歃 歉 歐 歙 歔 歛 鰍 歡 歸 歹 歿 殀 殄 殃
6143 6144 6145 6146 6147 6148 6149 6150 6151 6152 6153 6154 6155 6156 6157 6158 6159 6160 6161 6162 6163
殍 殘 殕 殞 殤 殪 殫 殯 殲 殱 殳 殷 殼 毆 毋 毓 氂 毬 毫 毳 毯
6164 6165 6166 6167 6168 6169 6170 6171 6172 6173 6174 6175 6176 6177 6178 6179 6180 6181 6182 6183 6184
氈 氉 氓 气 氛 氤 氣 汞 汕 汢 汪 沂 沍 沚 沁 沛 汾 汨 汳 沒 沐
6185 6186 6187 6188 6189 6190 6191 6192 6193 6194
泄 泱 泓 沽 泗 泅 泝 沮 沱 沾
6201 6202 6203 6204 6205 6206 6207 6208 6209 6210 6211 6212 6213 6214 6215 6216 6217 6218 6219 6220 6221
泅 泛 泯 坪 泪 洟 衍 洶 洫 洽 洸 洙 洵 洳 洒 洌 浣 涓 浚 浹
6222 6223 6224 6225 6226 6227 6228 6229 6230 6231 6232 6233 6234 6235 6236 6237 6238 6239 6240 6241 6242
浙 涎 涕 濤 涅 淹 渕 淵 涵 淇 淦 涸 淆 淬 淞 淌 淨 淒 淅 淺 淙
6243 6244 6245 6246 6247 6248 6249 6250 6251 6252 6253 6254 6255 6256 6257 6258 6259 6260 6261 6262 6263
淤 淥 淪 淮 渭 湮 渒 渙 湲 湟 渾 渣 湫 漾 漥 淶 淳 渟 湃 渺 湎 渤
6264 6265 6266 6267 6268 6269 6270 6271 6272 6273 6274 6275 6276 6277 6278 6279 6280 6281 6282 6283 6284
滿 渝 游 滊 溪 溘 滉 溷 滓 溽 溯 滄 瀏 滕 溏 溥 滂 漠 潁 漑
6285 6286 6287 6288 6289 6290 6291 6292 6293 6294
灌 滬 滔 漦 漿 滲 漱 滯 漲 滌
6301 6302 6303 6304 6305 6306 6307 6308 6309 6310 6311 6312 6313 6314 6315 6316 6317 6318 6319 6320 6321
漾 漓 滷 澆 潺 潸 澁 澀 潯 潛 濳 潭 濬 濕 濮 濛 潟 濃 澎 濁 濂 潦 澳 澣
6322 6323 6324 6325 6326 6327 6328 6329 6330 6331 6332 6333 6334 6335 6336 6337 6338 6339 6340 6341 6342
澡 澤 澹 濆 澪 濟 濕 濬 濔 濘 濱 濮 濛 瀉 瀋 濺 瀑 瀟 瀏 濾 瀛
6343 6344 6345 6346 6347 6348 6349 6350 6351 6352 6353 6354 6355 6356 6357 6358 6359 6360 6361 6362 6363
瀚 瀋 瀝 瀘 瀟 瀰 瀾 瀲 灑 灣 炙 炒 炯 烱 炬 炸 炳 炮 烟 烋 烝
6364 6365 6366 6367 6368 6369 6370 6371 6372 6373 6374 6375 6376 6377 6378 6379 6380 6381 6382 6383 6384
烙 焉 烽 焜 焙 煥 煦 熙 煦 煦 煌 煖 煬 熏 燻 熄 熕 熨 熬 爛 熹
6385 6386 6387 6388 6389 6390 6391 6392 6393 6394
熾 燒 燉 燔 燎 燠 燬 燧 燹 燼

6401	6402	6403	6404	6405	6406	6407	6408	6409	6410	6411	6412	6413	6414	6415	6416	6417	6418	6419	6420	6421
燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁
6422	6423	6424	6425	6426	6427	6428	6429	6430	6431	6432	6433	6434	6435	6436	6437	6438	6439	6440	6441	6442
犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜
6443	6444	6445	6446	6447	6448	6449	6450	6451	6452	6453	6454	6455	6456	6457	6458	6459	6460	6461	6462	6463
猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6464	6465	6466	6467	6468	6469	6470	6471	6472	6473	6474	6475	6476	6477	6478	6479	6480	6481	6482	6483	6484
玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	琶	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣
6485	6486	6487	6488	6489	6490	6491	6492	6493	6494											
瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱											
6501	6502	6503	6504	6505	6506	6507	6508	6509	6510	6511	6512	6513	6514	6515	6516	6517	6518	6519	6520	6521
瓠	瓣	瓩	瓧	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬
6522	6523	6524	6525	6526	6527	6528	6529	6530	6531	6532	6533	6534	6535	6536	6537	6538	6539	6540	6541	6542
甼	畄	畋	畔	畉	畛	畝	畚	畉	畤	畧	畫	畛	畸	當	疆	疇	畴	畳	畾	畳
6543	6544	6545	6546	6547	6548	6549	6550	6551	6552	6553	6554	6555	6556	6557	6558	6559	6560	6561	6562	6563
疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6564	6565	6566	6567	6568	6569	6570	6571	6572	6573	6574	6575	6576	6577	6578	6579	6580	6581	6582	6583	6584
痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆
6585	6586	6587	6588	6589	6590	6591	6592	6593	6594											
癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰											
6601	6602	6603	6604	6605	6606	6607	6608	6609	6610	6611	6612	6613	6614	6615	6616	6617	6618	6619	6620	6621
癶	癹	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖
6622	6623	6624	6625	6626	6627	6628	6629	6630	6631	6632	6633	6634	6635	6636	6637	6638	6639	6640	6641	6642
盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	眇	眈	眄	眩	眴	眷	眸	睎	睚	睛	睡	督	睹	睦
6643	6644	6645	6646	6647	6648	6649	6650	6651	6652	6653	6654	6655	6656	6657	6658	6659	6660	6661	6662	6663
睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6664	6665	6666	6667	6668	6669	6670	6671	6672	6673	6674	6675	6676	6677	6678	6679	6680	6681	6682	6683	6684
矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硎	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪
6685	6686	6687	6688	6689	6690	6691	6692	6693	6694											
磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬												
6701	6702	6703	6704	6705	6706	6707	6708	6709	6710	6711	6712	6713	6714	6715	6716	6717	6718	6719	6720	6721
磧	磚	磠	磴	磧	磯	磽	磴	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊
6722	6723	6724	6725	6726	6727	6728	6729	6730	6731	6732	6733	6734	6735	6736	6737	6738	6739	6740	6741	6742
禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱
6743	6744	6745	6746	6747	6748	6749	6750	6751	6752	6753	6754	6755	6756	6757	6758	6759	6760	6761	6762	6763
稻	稾	稷	稼	穂	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窃	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6764	6765	6766	6767	6768	6769	6770	6771	6772	6773	6774	6775	6776	6777	6778	6779	6780	6781	6782	6783	6784
竇	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竚	竓	竚	竰	竓	站	竚	竝	竡	竢	竭	竰	笂	笏
6785	6786	6787	6788	6789	6790	6791	6792	6793	6794											
笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐											
6801	6802	6803	6804	6805	6806	6807	6808	6809	6810	6811	6812	6813	6814	6815	6816	6817	6818	6819	6820	6821
筐	笄	筍	箏	筌	筅	筵	筥	筴	箕	箐	箋	箙	箠	箘	箟	箚	箍	箜	箒	箙
6822	6823	6824	6825	6826	6827	6828	6829	6830	6831	6832	6833	6834	6835	6836	6837	6838	6839	6840	6841	6842
箒	箏	箏	艀	篋	篁	篌	篏	歳	篆	篶	篩	簔	簔	簟	簞	簀	簇	簍	篳	篳
6843	6844	6845	6846	6847	6848	6849	6850	6851	6852	6853	6854	6855	6856	6857	6858	6859	6860	6861	6862	6863
篷	篆	篭	篶	篳	篶	簪	簟	簷	簫	簽	簿	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6864	6865	6866	6867	6868	6869	6870	6871	6872	6873	6874	6875	6876	6877	6878	6879	6880	6881	6882	6883	6884
籥	籬	粁	粗	粐	粤	粭	粢	粂	粨	粳	粳	粱	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糘	糘
6885	6886	6887	6888	6889	6890	6891	6892	6893	6894											
糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糸	糺											
6901	6902	6903	6904	6905	6906	6907	6908	6909	6910	6911	6912	6913	6914	6915	6916	6917	6918	6919	6920	6921
紂	紜	紕	紊	紬	紘	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絜	絏	絣	經	綉
6922	6923	6924	6925	6926	6927	6928	6929	6930	6931	6932	6933	6934	6935	6936	6937	6938	6939	6940	6941	6942
條	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤
6943	6944	6945	6946	6947	6948	6949	6950	6951	6952	6953	6954	6955	6956	6957	6958	6959	6960	6961	6962	6963
緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縦	縟	縉	縋	縢	繆	繻	纃	縵	縹	繃	縷
6964	6965	6966	6967	6968	6969	6970	6971	6972	6973	6974	6975	6976	6977	6978	6979	6980	6981	6982	6983	6984
縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續
6985	6986	6987	6988	6989	6990	6991	6992	6993	6994											
纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺											
7001	7002	7003	7004	7005	7006	7007	7008	7009	7010	7011	7012	7013	7014	7015	7016	7017	7018	7019	7020	7021
罅	罌	罍	罐	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罸	罸	罷	罷	羃	羆	羇	羌
7022	7023	7024	7025	7026	7027	7028	7029	7030	7031	7032	7033	7034	7035	7036	7037	7038	7039	7040	7041	7042
羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羹	羶	羸	譱	翅	翌	翊	翕	翔	翡	翳	翩	翳
7043	7044	7045	7046	7047	7048	7049	7050	7051	7052	7053	7054	7055	7056	7057	7058	7059	7060	7061	7062	7063
翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聯
7064	7065	7066	7067	7068	7069	7070	7071	7072	7073	7074	7075	7076	7077	7078	7079	7080	7081	7082	7083	7084
聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄
7085	7086	7087	7088	7089	7090	7091	7092	7093	7094											
胚	胖	脉	胯	脇	脛	脩	脣	脯	腋											





6-7 機能一覧

- 【書　式】
  - 印刷方向 ― 横置き/横書き、縦置き/縦書き
  - 枠囲み ― なし、あり
- 【スタイル】
  - 文字サイズ ― ２㎜半角、２㎜全角、３㎜半角、３㎜全角、６㎜半角、６㎜全角
  - 行　数 ― １行、２行
  - 文字間 ― 小、中、大
- 【長さ/余白】
  - 長　さ
    - 自　動
    - 指　定（8mm～１５０mm） ― 余　白
      - 左寄せ（２mm～５mm）
      - センタリング
- 【連　続】 ― １～１０
- 【連　番】
  - １０進（０～９）
  - １６進（０～Ｆ）
  - Ａ～Ｚ
  - ａ～ｚ
- 【ファイル】
  - 保　存
  - 呼出し
    - 新　規
    - 追　加
  - 削　除
    - １ファイル
    - 全ファイル
- 【記　号】
  - 記号１
  - 記号２
  - 記号３
  - 記号４
  - 区点コード入力
- 【取出し】

- 【オプション】
  - 補　正
    - 先　端（左２．５mm～右２．５mm）
    - 高　さ（上０．５mm～下０．５mm）
    - 半切り（浅め３～深め３）
    - 全切り（標準～深め３）
    - 表示濃度（薄～濃：９段階）
  - 印刷オプション
    - 印字濃度 ― １～５
    - 半切り設定 ― なし、あり ― カットライン設定なし、実線、点線
    - ６，９下線 ― なし、あり
    - 印字速度 ― 低速、標準、高速
  - メンテナンス
    - クリーニング
    - 強制全切り
    - フィード
    - 動作記録
- 【全文削除】
- 【印刷/印刷設定】
  - 印字媒体
    - チューブ
    - 熱収縮チューブ
    - 透明チューブ
    - ラベル
    - 4mm I.D. Strip
    - ラップアラウンドテープ

チューブ、熱収縮チューブ、透明チューブ、ラベル → サイズ選択 → 印刷本数１～１０

4mm I.D. Strip → 印刷本数１～１０

ラップアラウンドテープ → 印刷本数１～１０

6-8 おもな仕様

印字方式	熱転写方式
解像度	３００ｄｐｉ
印字速度	チューブ:高速モード25mm/秒　標準モード18.5mm/秒　低速モード12.5mm/秒 ラベル:高速モード25mm/秒　標準・低速モード12.5mm/秒
処理速度	高速モード約２７本/分 標準モード約２４本/分 低速モード約２０本/分 *チューブ印字でカット長２０㎜、３mm全角、５文字印字、半切りする。
インクリボン	リボンカセット（黒色、白色）長さ（黒：４０m、１００m、白：８５m）
印字文字サイズ	２mm、３mm、６mm（各サイズ全角、半角あり） *半角及び２mmは、漢字印字不可
文字種類	ＪＩＳ第１水準、ＪＩＳ第２水準、記号類
入力方式	ゴムキーボード
入力方法	ローマ字かな漢字変換入力、ひらがな入力、 英数字入力、区点コード入力、記号入力
辞書数	約５，０００語
表示方式	バックライト付き液晶表示器によるグラフィック表示 １６０×６４ドット
表示文字数	入力データ１０文字×２行（全角表示時）
メモリ容量	印字文字データ記憶部　約２，５００文字 ファイル保存記憶部　約15，000文字
カット方式	自動半切り、自動全切り
電源	ＡＣアダプタ　Ｎ１４５８４ ＡＣ１００Ｖ～２４０Ｖ　５０/６０Hz
動作環境	温度　１５℃～３２．５℃、湿度　１０％～８５％ *チューブウォーマ（オプション）装着時は５℃～１８℃の低温時でも使用可能
保管環境	温度　５℃～３５℃、湿度　１０％～９０％
最大消費電力	１２．５ｗ
本体寸法	幅（Ｗ）２５０㎜×奥行（Ｄ）３００㎜×高さ（Ｈ）８５㎜
本体質量	２．０ｋｇ

【印字媒体】

チューブ	ＰＶＣチューブ　内径Φ２．５㎜～５．２㎜　厚さ0.５㎜タイプ ※チューブは印字できることを確認してからご使用ください。
ラベルテープ	カセット（白色、黄色、銀色）　幅６mm、　９mm、１２mm 長さ３０m（銀色のみ２７m）
ラップアラウンドテープ	カセット（印字部のみ白色、その他透明）巻き長さ８m 長さ３３mm、幅：カット長設定により８mm～１５０mm設定可能
4mm I.D. Strip	カセット（白色）　幅４．０㎜　長さ５m　厚さ１．０㎜ ※4mmI.D.Stripは印字できることを確認してからご使用ください。

●その他の使用できる印字媒体についての詳細は、お求めの販売店にお問い合わせください。

●製品改良のため、予告なく仕様が変更されることがありますのでご了承ください。

カッタ動作記録

回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日
回	年　月　日

Canon

お客様ご相談窓口について

お客様相談センター
全国共通電話番号　**0570-08-0064**

受付時間　［平日］9:00～17:00
（土日、祝祭日と年末年始、弊社休業日を除く）

＊上記番号は0570から始まるナビダイヤルを利用しています。
＊ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4412 におかけください。

- 製品には保証書が同梱されています。必要な事項が記入されているかどうか確認の上、大切に保管してください。万一の故障のときの本体無償修理期間はご購入後半年間です。ただし、消耗品類(紙類、カセット等)は、保証の対象とはなりません。
- 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。
- その他アフターサービスなどについてご不明な点がありましたら、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは下記の修理対応窓口までご連絡ください。

キヤノンシステムアンドサポート株式会社
テクニカルリペアセンター
〒141-0032　東京都品川区大崎5-10-6 大崎ロジスティックビル4F　TEL 03-5496-0720

PUB. 4Y5-8218-100 © CANON FINETECH NISCA INC. 2011 - 2023